

牛島小学校校舎トイレ改修工事

図面リスト

意匠		電気設備		機械設備			
図番	名称	図番	名称	図番	名称		
A-00	図面リスト	A-31	管理特別教室棟 2、3階トイレ 平面詳細図（改修前）	E-01	電気設備特記仕様書（1）	M-01	機械設備 特記仕様書（1）
A-01	特記仕様書（その1）	A-32	管理特別教室棟 1階トイレ 平面詳細図（改修後）	E-02	電気設備特記仕様書（2）	M-02	機械設備 特記仕様書（2）
A-02	特記仕様書（その2）	A-33	管理特別教室棟 2、3階トイレ 平面詳細図（改修後）	E-03	案内図・配置図	M-03	給排水衛生設備 案内図・配置図（改修前）
A-03	特記仕様書（その3）	A-34	管理特別教室棟 1階トイレ 天井伏図（改修前・改修後）	E-04	キュービクル単線結線図（改修後）	M-04	給排水衛生設備 案内図・配置図（改修後）
A-04	特記仕様書（その4）	A-35	管理特別教室棟 2、3階トイレ 天井伏図（改修前・改修後）	E-05	幹線系統図（改修前）	M-05	給排水衛生設備 系統図（改修前）
A-05	特記仕様書（その5）	A-36	管理特別教室棟 1、2、3階トイレ 展開図（改修前）	E-06	幹線系統図（改修後）	M-06	給排水衛生設備 系統図（改修後）
A-06	特記仕様書（その6）	A-37	管理特別教室棟 1、2、3階トイレ 展開図（改修後）	E-07	分電盤図（改修前）	M-07	給排水衛生設備 系統図（仮設）
A-07	特記仕様書（その7）	A-38	管理特別教室棟 1～3階トイレ 断面矩計図（改修前・改修後）	E-08	分電盤図（1）	M-08	給排水衛生設備 衛生機器表（改修前・改修後）
A-08	特記仕様書（その8）	A-39	建具キープラン（改修前）	E-09	分電盤図（2）	M-09	給排水衛生設備 衛生器具表（改修前・改修後）
A-09	案内図・配置図	A-40	建具キープラン（改修後）	E-10	幹線動力設備 1階平面図（改修前）	M-10	給排水衛生設備 1階平面図（改修前）
A-10	内部仕上表（改修前・改修後）	A-41	建具表1（改修前）	E-11	幹線動力設備 2階平面図（改修前）	M-11	給排水衛生設備 2階平面図（改修前）
A-11	1階平面図（改修前）	A-42	建具表2（改修前）	E-12	幹線動力設備 3階平面図（改修前）	M-12	給排水衛生設備 3階平面図（改修前）
A-12	2階平面図（改修前）	A-43	建具表1（改修後）	E-13	幹線動力設備 4、R、PH階平面図（改修前）	M-13	給排水衛生設備 4、R、PH階平面図（改修前）
A-13	3階平面図（改修前）	A-44	建具表2（改修後）	E-14	幹線動力設備 1階平面図（改修後）	M-14	給排水衛生設備 1階平面図（改修後）
A-14	4階、R階、PH階平面図（改修前）	A-45	部分詳細図1	E-15	幹線動力設備 2階平面図（改修後）	M-15	給排水衛生設備 2階平面図（改修後）
A-15	1階平面図（改修後）	A-46	部分詳細図2	E-16	幹線動力設備 3階平面図（改修後）	M-16	給排水衛生設備 3階平面図（改修後）
A-16	2階平面図（改修後）	A-47	部分詳細図3	E-17	幹線動力設備 4、R、PH階平面図（改修後）	M-17	給排水衛生設備 4、R、PH階平面図（改修後）
A-17	3階平面図（改修後）	A-48	部分詳細図4	E-18	動力設備 受水槽廻り詳細図（改修前）	M-18	給排水衛生設備 受水槽廻り詳細図（改修前）
A-18	4階、R階、PH階平面図（改修後）	A-49	仮設計画配置図（参考図）	E-19	動力設備 受水槽廻り詳細図（改修後）	M-19	給排水衛生設備 受水槽廻り詳細図（改修後）
A-19	立面図（改修前、後）	A-50	1階仮設計画図（参考図）	E-20	照明器具姿図	M-20	給排水衛生設備 ポンプ室・高架水槽廻り平面詳細図（改修前）
A-20	普通教室棟（西棟） 1～4階トイレ 平面詳細図（改修前）	A-51	2～4階仮設計画図（参考図）	E-21	電灯設備 普通教室棟（西棟）1～4階トイレ詳細図（改修前）	M-21	給排水衛生設備 ポンプ室・高架水槽廻り平面詳細図（改修後）
A-21	普通教室棟（西棟） 1～4階トイレ 平面詳細図（改修後）			E-22	電灯設備 普通教室棟（西棟）1～4階トイレ詳細図（改修後）	M-22	給排水衛生設備 ポンプ室・高架水槽廻り平面詳細図（仮設）
A-22	普通教室棟（西棟） 1～4階トイレ 天井伏図（改修前・改修後）			E-23	電灯設備 普通教室棟（東棟）1～4階トイレ詳細図（改修前）	M-23	給排水衛生設備 普通教室棟（西棟） 1階トイレ平面詳細図（改修前）
A-23	普通教室棟（西棟） 1～4階トイレ 展開図（改修前・改修後）			E-24	電灯設備 普通教室棟（東棟）1～4階トイレ詳細図（改修後）	M-24	給排水衛生設備 普通教室棟（西棟） 2～4階トイレ平面詳細図（改修前）
A-24	普通教室棟（西棟） 1～4階トイレ 断面矩計図（改修前・改修後）			E-25	電灯設備 管理特別教室教室棟1階トイレ詳細図（改修前）	M-25	給排水衛生設備 普通教室棟（西棟） 1階トイレ 平面詳細図（改修後）
A-25	普通教室棟（東棟） 1～4階トイレ 平面詳細図（改修前）			E-26	電灯設備 管理特別教室教室棟2、3階トイレ詳細図（改修前）	M-26	給排水衛生設備 普通教室棟（西棟） 2～4階トイレ 平面詳細図（改修後）
A-26	普通教室棟（東棟） 1～4階トイレ 平面詳細図（改修後）			E-27	電灯設備 管理特別教室教室棟1階トイレ詳細図（改修後）	M-27	給排水衛生設備 普通教室棟（東棟） 1階トイレ平面詳細図（改修前）
A-27	普通教室棟（東棟） 1～4階トイレ 天井伏図（改修前・改修後）			E-28	電灯設備 管理特別教室教室棟2、3階トイレ詳細図（改修後）	M-28	給排水衛生設備 普通教室棟（東棟） 2～4階トイレ平面詳細図（改修前）
A-28	普通教室棟（東棟） 1～4階トイレ 展開図（改修前・改修後）			E-29	コンセント設備 管理特別教室教室棟1階トイレ詳細図（改修後）	M-29	給排水衛生設備 普通教室棟（東棟） 1階トイレ 平面詳細図（改修後）
A-29	普通教室棟（東棟） 1～4階トイレ 断面矩計図（改修前・改修後）			E-30	コンセント設備 管理特別教室教室棟2、3階トイレ詳細図（改修後）	M-30	給排水衛生設備 普通教室棟（東棟） 2～4階トイレ 平面詳細図（改修後）
A-30	管理特別教室棟 1階トイレ 平面詳細図（改修前）			E-31	コンセント設備 普通教室棟（東棟）1～4階トイレ詳細図（改修後）	M-31	給排水衛生設備 管理特別教室棟 1階トイレ平面詳細図（改修前）
				E-32	コンセント設備 普通教室棟（西棟）1～4階トイレ詳細図（改修後）	M-32	給排水衛生設備 管理特別教室棟 2、3階トイレ平面詳細図（改修前）
				E-33	仮設トイレ 電灯設備電源	M-33	給排水衛生設備 管理特別教室棟 1階トイレ 平面詳細図（改修後）
						M-34	給排水衛生設備 管理特別教室棟 2、3階トイレ 平面詳細図（改修後）
						M-35	給排水衛生設備 仮設トイレ平面図
						M-36	換気設備 機器表（改修前・改修後）
						M-37	換気設備 普通教室棟（西棟） 1～4階トイレ 平面詳細図（改修前）
						M-38	換気設備 普通教室棟（西棟） 1～4階トイレ 平面詳細図（改修後）
						M-39	換気設備 普通教室棟（東棟） 1～4階トイレ 平面詳細図（改修前）
						M-40	換気設備 普通教室棟（東棟） 1～4階トイレ 平面詳細図（改修後）
						M-41	換気設備 管理特別教室棟 1階トイレ 平面詳細図（改修前）
						M-42	換気設備 管理特別教室棟 2、3階トイレ 平面詳細図（改修前）
						M-43	換気設備 管理特別教室棟 1階トイレ 平面詳細図（改修後）
						M-44	換気設備 管理特別教室棟 2、3階トイレ 平面詳細図（改修後）

工事名 牛島小学校校舎トイレ改修 工事

特記仕様書

- I 工事概要
1. 工事場所 春日部市牛島1080番地
2. 敷地面積 37,802 m²
3. 工事種目 棟名称・構造・階数・延べ面積
普通教室棟・RC造・4階・4,604.0㎡
管理特別教室棟・RC造・3階・2,280.0㎡
4. 工事内容 普通教室棟、管理特別教室棟トイレ改修工事
普通教室棟：男女トイレ1~4階
管理特別教室棟：男女トイレ1~3階
・内装改修（乾式化、バリアフリー化を含む）、建具改修、トイレブース改修
・照明及び換気扇等の人感センサー式への更新
・洋便器への改修、給排水配管の更新、排水管高圧洗浄等
※図面記載事項は全て本工事とする。
5. 工期 契約工期 契約書による。ただし、令和6年8月26日(水)を目途とし、工事対象範囲のうち
少なくとも普通教室棟トイレ1系統以上を使用可能な状態とすること。
6. 工事範囲 ※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。

Table with 2 columns: 工事項目, 工事種目. Rows include 仮設工事, 防水改修工事, 外壁改修工事, 内装改修工事, 塗装改修工事, etc.

II 建築改修工事仕様

- (1) 質問回答書、本特記仕様書(改修)及び図面に記載されていない事項は、すべて「春日部市建築工事特別共通仕様書」(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事種目)(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。))及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事種目)(最新版)」(以下、「標準仕様書」という。))による。
(2) 改修標準仕様書及び標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等(条例を含む)と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。
(3) 本特記仕様書の表記
1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
3) 特記事項に記載の「...」内の表示番号は、「春日部市建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。
4) 特記事項に記載の「...」内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
5) 特記事項に記載の「...」内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
6) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載を省略する。また、()内は製品名を示す。
7) 本工事において、「環境物品等の調達に関する基本方針(令和5年2月24日変更閣議決定)」及び、「埼玉県グリーン調達・環境配慮契約推進方針(最新版)」による特定調達品目のうち、「判断基準」を満たす環境物品等(以下「特定調達物品等」という)を選択するよう努めるものとする。
8) 注は改修標準仕様書及び標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。

Main specification table with columns: 項目, 特記事項. Rows include ① 一般共通事項, ② 条件明示事項, ③ 工事実績情報の登録, etc.

Technical specifications and standards section including ⑫ 技能士, 19 化学物質の濃度測定, 20 中間検査, 21 完成図等, 22 保証書, 23 工事用図面, 24 その他, 25 仮設工事, 26 仮設間仕切り.

Material and construction details section including 仮設間仕切り, 5 監督員事務所, 6 現場表示板, 7 工事用水, 8 工事用電力, 9 工事用搬入路, 10 仮囲い, 11 交通誘導員, 12 快通トイレ, 13 防水改修工事, 14 防水層の種別, 15 断熱材, 16 仕上塗料, 17 屋根露出防水, 18 防水層の種別.

Header information table with fields: 日付, 工事名称 (牛島小学校校舎トイレ改修工事), 縮尺 (A1: -, A3: -), 図面名称 (特記仕様書(改修その1)), A-01

5 建具改修工事

Table with 5 main rows (1-5) detailing renovation work for doors, windows, and frames. Includes sub-sections for repair methods, materials, and performance standards.

Table with 5 main rows (6-10) detailing renovation work for stainless steel, wood, and metal frames. Includes sub-sections for materials, processing, and performance standards.

Table with 5 main rows (11-15) detailing renovation work for shutters, glass, and other components. Includes sub-sections for materials, types, and performance standards.

6 内装改修工事

Table with 5 main rows (16-20) detailing renovation work for interior walls, floors, and ceilings. Includes sub-sections for materials, methods, and performance standards.

8 合板等
「合板の日本農林規格」による普通合板
施工箇所 厚さ(mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 間伐材等の適用

「合板の日本農林規格」による構造用合板
施工箇所 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 厚さ(mm) 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用

「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板
施工箇所 厚さ(mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 間伐材等の適用

「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板
施工箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ(mm) 接着の程度 防虫処理の適用

「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板
施工箇所 厚さ(mm) 接着の程度 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理の適用

パーティクルボード
施工箇所 表面面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ(mm)

JAS Q360 に基づく構造用パネル
施工箇所 寸法(mm)

MDF
施工箇所 厚さ(mm) 表面面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分

9 接合具等
造作材の化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち・釘頭埋め木・つぶし頭釘打ち・釘頭隠し諸金物

10 接着剤
接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆
11 防虫・防蟻処理
薬剤の加圧注入による防虫・防蟻処理

12 内部間仕切輪組及び床組み
間仕切輪組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※杉又は松

13 窓、出入口その他
窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※元栓、水掛りの下枠及び敷居

14 軽量鉄骨天井下地
野縁等の種類 屋外(※25形・19形) 屋内(※19形・25形)
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔

15 軽量鉄骨地下地
スタッド、ランナーの種類
※表6.7.1により「スタッドの高さによる区分」に応じた種類

16 ビニル床シート
17 ビニル床タイル
種類 色柄 厚さ(mm) 備考

18 特殊機能床材
帯電防止床シート
種類() 性能() 厚さ(mm) ()

19 ビニル幅木
20 ゴム床タイル
種類・単層品・積層品
色柄()
厚さ(mm) 3.0・4.5・6.0・9.0

21 カーペット敷き
織り方 バイル形状
ウルトンカーペット
ダブルフェースカーペット

22 合成樹脂塗床
種類 施工箇所 工法 仕上げの種類
厚膜型塗床材(弾性外樹脂系塗床)

23 フローリング張り
フローリングのホルムアルデヒドの放散量等
※改修標準仕様書6.11.2.(2)による

24 畳敷き
種類 A種・B種・C種・D種(畳床:・KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N)
下地の種類 標準仕様書表12.6.1による床組

25 セッコロボード
その他のボード張り
種類 厚さ(mm) 規格等

26 壁紙張り
壁紙のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

27 モルタル塗り
モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料
既製目地材 ・設ける 施工箇所() 形状(※図示)

28 タイル張り
伸縮調整目地の位置
床タイル(※縦、横とも4m以内ごと)
床タイル以外(※図示)

29 セルフレベリング材
塗り
30 フリーアクセスフロア
施工箇所 構造 寸法(mm) 高さ(mm) 耐震性能 所定荷重(N) 表面仕上げ材 備考

31 可動間仕切
パネル材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

32 移動間仕切
構造形式 構成基材の種類 パネル表面仕上げ 遮音性 防火性能

33 トイレブース
パネル材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

34 手すり
材料の種類及び仕上げ
SUS304 表面処理 ※H程度

35 階段滑り止め	材料 ・ステンレス製 ・黄銅製押出型材 (20.2.7) ・アルミニウム製押出型材 形状 ※タイヤ製(タイヤの材質:ゴム又は合成樹脂等) ・タイヤス製 端部の形状 フラットエンド ・あり ・なし 寸法(幅) ・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度 取付け工法 ※接着工法 ・埋め込み工法	49 屋内掲示板 枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩化ビニルシート張り	50 洗面カウンター	51 防煙垂れ壁	52 収納家具	8 耐震改修工事	8 断熱・防露改修工事	9 屋上緑化改修工事	10 透水性アスファルト舗装改修工事
36 黒板及びホワイトボード	・黒板 区分 ※焼き付け 種類 ・ほうろう ・鋼製 色 ※緑 ・ホワイトボード ()	53 塗装改修工事	54 床材	55 床下調整	56 錆止め塗料塗	9 環境配慮改修工事	11 舗装版切断時		
37 表示	衝突防止表示 ※図示による 設置場所 ※図示による 形状・寸法 (・30φ) 材質 (・ステンレス製 ・塩ビシート) 設置しない 誘導標識、非常用出入口等表示 ※消防法に適合する市販品 室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等(案内用図記号はJIS Z 8210による) ※図示による	57 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	58 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	59 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	60 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	10 ①石粉じん濃度測定 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	11 ①受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ② 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。 ③ 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 ④ 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「 manifests」という。)により管理するものとする。		
38 タラップ	材質及び仕上げ (SUS304 (スリッ止め加工 ※あり ・なし) ・鋼製 表面処理 滑融塗膜つき (※標準仕様書表 14.2.21による種別 (※C種 ・種))	61 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	62 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	63 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	64 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	11 ①受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ② 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。 ③ 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 ④ 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「 manifests」という。)により管理するものとする。			
39 ブラインド	形式 操作 操作方式の種類 スラットの材質 寸法(幅) 寸法(高さ) スラットの形状 電動 窓の高さ取付箇所	65 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	66 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	67 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	68 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	11 ①受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ② 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。 ③ 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 ④ 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「 manifests」という。)により管理するものとする。			
40 ロールスクリーン	縦型ブラインドの材質 アルミブラインド 焼付塗装仕上げ クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 ④ とする	69 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	70 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	71 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	72 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	11 ①受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ② 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。 ③ 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 ④ 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「 manifests」という。)により管理するものとする。			
41 カーテン	操作方式 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式 幅、高さ、取付箇所 ・図示 材質 ・ガラス繊維製 ・合成 ・天然繊維製 品質等 その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による スクリーンの仕様 消防法で定める防火性能の表示があるもの ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は ④ とする	73 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	74 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	75 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	76 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	11 ①受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ② 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。 ③ 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 ④ 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「 manifests」という。)により管理するものとする。			
42 カーテンレール	材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押し出し成型材 ステンレス製 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形	77 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	78 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	79 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	80 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	11 ①受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ② 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。 ③ 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 ④ 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「 manifests」という。)により管理するものとする。			
43 ブラインドボックス及びカーテンボックス	溝幅×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示 材質 ・集材材(仕上げ) ・アルミニウム製 押し出し型材(市販品) 種類(標準仕様書表14.2.1) ・BC-1種 ・BC-2種 色合い ・標準色() ・特注色() ・鋼製(仕上げ)	81 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	82 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	83 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	84 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	11 ①受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ② 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。 ③ 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 ④ 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「 manifests」という。)により管理するものとする。			
44 天井点検口	材料 寸法 形式 備考 ○アルミニウム製 ・450×450 ・一般形 ・屋内外用 ○鍵付き ○ステンレス製 ・600×600 ○密閉形 ○屋内用	85 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	86 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	87 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	88 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	11 ①受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ② 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。 ③ 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 ④ 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「 manifests」という。)により管理するものとする。			
45 床点検口	材料 寸法 形式 備考 ○アルミニウム製 ・450×450 ・一般形 ・屋内外用 ○鍵付き ○ステンレス製 ・600×600 ○密閉形 ○屋内用	89 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	90 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	91 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	92 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	11 ①受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ② 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。 ③ 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 ④ 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「 manifests」という。)により管理するものとする。			
46 くつきマット	材質 寸法 備考 ・塩化ビニル又はゴム製 ・ステンレス製(SUS304) ・硬質アルミニウム合金製 ・硬質アルミニウム合金 ・ステンレス鋼(SUS304)製	93 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	94 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	95 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	96 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	11 ①受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ② 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。 ③ 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 ④ 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「 manifests」という。)により管理するものとする。			
47 流し台ユニット	材質 寸法(mm) 備考 W D H ・流し台 ・1200 ・550 ・800 市販品 ・1500 ・600 ・850 トラップ付き ・1800 ・650 天板ステンレス製 ・コンロ台 ・600 ・550 ・620 市販品 ・1200 ・600 ・670 パックガード有り ・900 ・650 天板ステンレス製	97 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	98 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	99 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	100 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	11 ①受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ② 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。 ③ 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 ④ 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「 manifests」という。)により管理するものとする。			
48 鋼製書架及び物品棚	品質・性能 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。 構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。 形状 ※図示 種類 規格等 JISによる種類 ・鋼製書架 JIS S 1039の規格による ・1種 ・2種 ・3種 ・鋼製物品棚 ・4種 ・5種 ・6種	101 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	102 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	103 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	104 ①材料 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	11 ①受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ② 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。 ③ 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 ④ 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「 manifests」という。)により管理するものとする。			

10 鉄筋工事	① 鉄筋	鉄筋の種類 (5.2.1) 種類の種類 呼び径(mm) 備考 ○SD295 ※D16以下 ・SD345 ※D19以上 形状等 (5.2.2) 種類 種類の種類 網目の形状、寸法、鉄線の径(mm) 使用部位 ・溶接金網 ・鉄筋格子 鉄筋の継手方法等 (5.3.4) 部位 継手方法 呼び径(mm) 柱、梁の主筋 ・ガス圧接 ・機械式継手 ※D19以上 耐力壁の鉄筋 ・重ね継手 基礎、耐圧スラブ、土圧壁 ・重ね継手 ・ガス圧接 その他の鉄筋() ・重ね継手 ○溶接継手 D10、D13 継手位置 ・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1) ・基礎梁主筋の継手位置 図5.2 図5.3 図5.4 ・図示による() 柱及び梁の重ね継手の長さ ・図示による() 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)3(1)(9)) ・図示による() 柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所には設ける部分の位置及び施工方法等 ・図示による()
	2 溶接金網	鉄筋の定着長さ (5.3.4) ・図示による() 機械式定着工法 運用場所 ・図示による() 種類 ・摩擦圧接接合 ・螺合グラウト固定 ・嵌合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による
	③ 鉄筋の継手	鉄筋の余長の長さ 構造関係共通図(配筋標準図)による。これによらない箇所は図示による。
	④ 鉄筋の定着	最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) (5.3.5) ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1) ・図示による() 柱及び梁の主筋にD29以上の使用 あり 適用箇所() 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) あり 適用箇所() ・最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm
	⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)	※図示による (5.3.7)
	6 各部配筋	圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10) 外観試験 ※行う(全ての圧接部) 抜取試験 ※超音波探傷試験(試験方法 標準仕様書5.4.10(f)(a)による) ・引張試験 試験方法 ※標準仕様書5.4.10(f)(b)による
	7 ガス圧接	適用箇所 (5.5.3、5) ・図示による() H12通告第1463号に適合する性能 ・A級 種類 ・ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・雄部ねじ加工継手 ・モルタル充填式継手 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 ・1ロットに対して()箇所 ・全数 試験項目 ※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3064(鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による 不合格となった場合の措置
	8 機械式継手	適用箇所 (5.5.3、5) ・図示による() H12通告第1463号に適合する性能 ・A級 溶接継手の工法 ・図示による() 鉄筋相互のあき ・標準仕様書5.3.5(4)による ・評定等の評価内容による ・図示による()
	9 溶接継手	

11
コンクリート工事

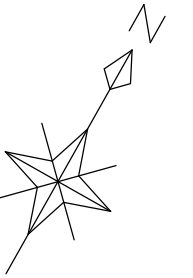
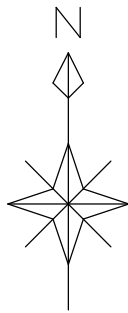
① コンクリートの種類等	種類 (6.2.1) ※I類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) ・II類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1~6.2.4) 設計基準強度 (N/mm ²) 気乾単位容積 (t/m ³) スラブ 適用箇所 ・24 2.3程度 ・15又は18・18 ○21 ・ ・ ・ ・ 構造体強度補正值(S) (6.3.2) ※標準仕様書 表6.3.2による 補正值 S=3 (月 日~月 日、月 日~月 日) S=6 (月 日~月 日、月 日~月 日) 種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所(※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g以下、かつ28日目で 402J/g以下のものとする。 ・高炉セメントB種 [G] 適用箇所(・1FLより下部(立上り部含む)) ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所(・)
② セメント	アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A ・B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m ³ 以下)
③ 骨材	○混和剤の種類 (6.3.1) 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による
④ 混和材料	打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 図示による() 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 図示による()
5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地	目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ※ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する 図示による()
6 湿潤養生	ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) 図示による()
7 コンクリートの仕上り	湿潤養生の期間 (6.7.2) ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 ()日 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.2) 種別 適用箇所 ・A種 ※図示による() ・B種 ※図示による() ・C種 ※図示による() コンクリートの仕上りの平たんさ 種別 適用箇所 ・a種 ※図示による() ・b種 ※図示による() ・c種 ※図示による()
8 打増し厚さ(打放し仕上げ部)	打増し厚さ (6.8.1) ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 図示による()
9 型枠	せき板の材料及び厚さ (6.8.2) ○合板(※12mm) [G] コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 図示による() ・MCR工法用シートの使用 適用箇所 図示による() 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 図示による() スリーブの材質・規格等 図示による()
10 軽量コンクリート	存置期間及び取外し (6.8.4) ※標準仕様書6.8.4による ・普通エコセメントの場合(※図示による()) 適用箇所 (6.10.1、2) 図示による() 種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積質量 ・標準仕様書 表6.10.1による スラブ ※21cm

11 寒中コンクリート	適用期間(月 日~月 日) (6.11.1、2) 構造体強度補正值(S)を換算温度を基に定める場合 ・図示による()、S=()
12 暑中コンクリート	適用期間(月 日~月 日) (6.12.2) 構造体強度補正值(S) ※0N/mm ² 図示による()、S=()
13 マスコンクリート	適用箇所 (6.13.1、2) ・図示による() セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり(標準仕様書6.13.2(2)(7)による) ・標準仕様書6.13.2(2)(4)による
14 無筋コンクリート	スラブ (6.14.1) ※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書表6.13.1による コンクリートの種類 (6.14.1) ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] 設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スラブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 図示による() 実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(g)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を書面(計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、T77法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
15 コンクリートの単位水量測定	

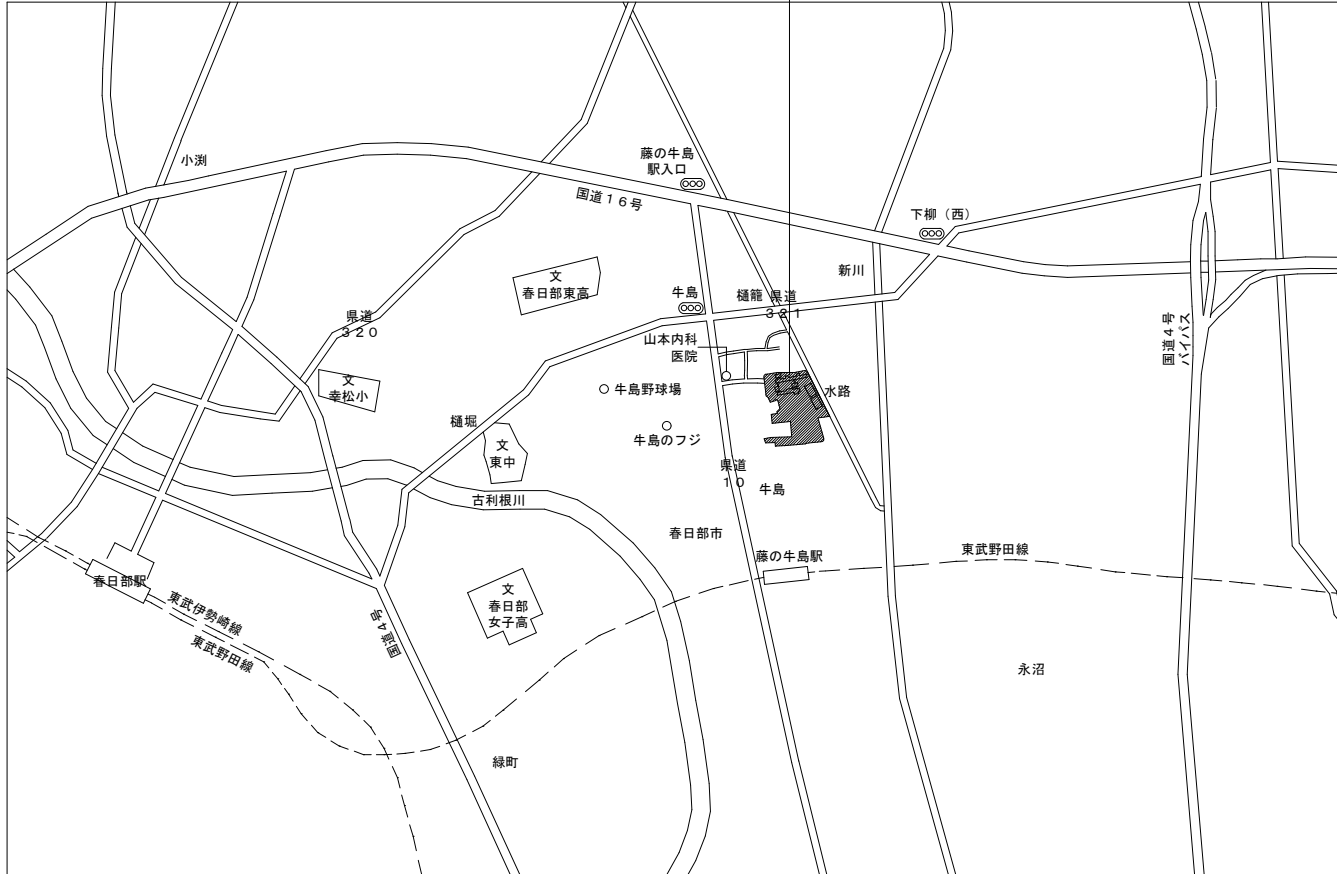
春日部市 学校教育課	日付	工事名称 牛島小学校校舎トイレ改修工事
	縮尺 A1: - A3: -	図面名称 特記仕様書(改修その6)
		A-06

8 耐震改修工事	(一般事項) 1 適用範囲	<ul style="list-style-type: none"> 改修標準仕様書 第8章 耐震改修工事 改修標準仕様書における第8章耐震改修工事以外の改修工事で第8章を引用している部分 <p>工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 部材打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 鉄骨ブレースの設置工事 柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) 柱補強工事(鋼板巻き工法又は巻帯巻き工法) 柱補強工事(連続繊維補強工法) 耐震スリット新設工事 免震改修工事 土工事及び地業工事 制振改修工事 	2 セメント	種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所(※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352 J/g以下、かつ28日目で402 J/g以下のものとする ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所()	5 普通ポルト	ポルト及びナットの材料 ・標準仕様書 表7.2.3(JIS附属書品)又は次による ポルトの規格は JIS B 1180 とする。 (ポルトの種類は、呼び径六角ポルト又は全ねじ六角ポルトとし、材料は鋼とする。ポルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ポルトの軸径の最大寸法は、ポルトの径の値以下とする。ナットの規格は、JIS B 7181 とする。ナットの種類は、六角ナットとし、材料は鋼とする。)	18 アンカーボルト等の設置	構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ・図示による () 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ・図示による () 建方(及び付属鉄骨)用アンカーボルトの保持及び埋込み工法(表7.10.1) 種別 A種 B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別(表7.10.2) 長さ種別 ※A種 B種																	
	2 既存部分の処理等	<p>既存構造体の撤去 [8.21.2][8.22.2][8.24.4][8.25.2]</p> <p>撤去範囲 図示による () はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 図示による ()</p> <p>[8.21.3][8.22.3][8.23.3][8.26.6][8.27.3]</p> <p>既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度及び範囲 ・既存柱、梁面 ・打継ぎ面の15~30%程度に、平均深さ2~5mm(最大7mm)程度の凹面を全体にわたってつける</p> <p>・既存壁 ・打継ぎ面の10~15%程度に、平均深さ2~5mm(最大7mm)程度の凹面を全体にわたってつける</p>	3 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 ※A B (コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m ³ 以下) [8.2.5]	6 アンカーボルト	<p>・構造用アンカーボルト (JIS B 1220) (7.2.4)(7.10.3)</p> <p>種類 ABR400 ABR490</p> <p>・建方用アンカーボルト (JIS G 3101)</p> <p>種類 SS400</p> <p>アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書7.2.3による</p> <p>ポルトの縁端距離、ポルト間隔、ゲージ等 ・図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 縁端距離及びポルト間隔) [8.13.2]</p>	19 溶融亜鉛めっき(基礎、主要構造部及びその他構造耐力上主要な部分に限る。)	種別等 [8.20.4]表8.20.1																	
3 撤去工事の施工内容	<p>※耐震壁等の増設に伴い、これらの増設部材が設置される構内既存仕上げ・躯体の撤去と土間等の一部を撤去する。</p> <p>※増設部材と接する既存コンクリート面は十分に目荒らしを行う。</p> <p>※塗り仕上げ又はこれに準ずる仕上げ材、及び躯体を撤去する場合は、カッターで切込みを付けてから撤去する。なお、躯体を撤去する場合は、両面からカッター切込みを付けてから撤去する。</p> <p>※撤去に際しては、廃棄物の処理に関する法律に準拠する。</p>	4 撤去工事における注意事項	<p>※コンクリート及び塗り仕上げを部分的に撤去する場合は、既存部分の仕上げに損傷を与えないよう充分注意する。特に塗り仕上げ、増設部材設置構内内の壁コンクリート及び土間コンクリート等の撤去に際しては、カッター等で切込みを付け、既存部分の保護を図る。</p> <p>※増設する部材に接する既存コンクリートは、十分に目荒らしを行い増設部材との一体化を図る。なお、目荒らしは、深さ6mm程度の凹凸で全体を荒らすようにする。はつり工事は構造躯体に悪影響を与えない方法で丁寧に行うこと。(電気ピックを用いる等)</p> <p>※コンクリート打設前に鈹磨、はつりがらを清掃し、数日前から充分に水濡れを行う。</p> <p>※既存の躯体状態の確認及び補修</p> <p>・石膏ボードについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に従い、原形のまま運搬し管理型最終処分場で処分すること。</p> <p>・石膏ボード、フレキシブルボード等石膏製品の撤去にあたっては、関係法令に従い、部材が破損しないようにはずしで行い、原形のまま運搬処分すること。</p> <p>・以下の天井材の撤去にあたっては、ボードが破損しないように、手はずで行うこと。</p> <p>・ビニル系スタイルの撤去にあたっては、関係法令に従い部材が破損しないように水濡れ後、手はずで行い、原形のまま飛散防止をし運搬処分すること。</p>	7 コンクリートの仕上げ	<p>合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ [8.1.4][8.2.7]</p> <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>適用箇所</th></tr> <tr><td>A種</td><td>※図示による ()</td></tr> <tr><td>B種</td><td>※図示による ()</td></tr> <tr><td>C種</td><td>※図示による ()</td></tr> </table> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ</p> <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>適用箇所</th></tr> <tr><td>a種</td><td>※図示による ()</td></tr> <tr><td>b種</td><td>※図示による ()</td></tr> <tr><td>c種</td><td>※図示による ()</td></tr> </table>	種別	適用箇所	A種	※図示による ()	B種	※図示による ()	C種	※図示による ()	種別	適用箇所	a種	※図示による ()	b種	※図示による ()	c種	※図示による ()	8 ターンバックル	種類 建築用ターンバックル ※羽子板ボルト 建築用ターンバックル類 ※羽子板式 ねじの呼び 図示による ()	(あと施工アンカー) 1 あと施工アンカー	仕様等 [8.2.4]
種別	適用箇所																								
A種	※図示による ()																								
B種	※図示による ()																								
C種	※図示による ()																								
種別	適用箇所																								
a種	※図示による ()																								
b種	※図示による ()																								
c種	※図示による ()																								
(鉄筋)	1 鉄筋	種類 [8.2.1]	8 打増し厚さ(打直し仕上げ部)	打増し厚さ ・打直し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) 20mm ・打直し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) 10mm、20mm	9 スタッド	頭付きスタッド (JIS B 1198) の種類等 [8.2.11][8.16.6]	2 あと施工アンカー工事	仕様の品質 ※有機系 無機系 アンカー筋の径及び埋込み長さ 図示による (「耐震改修共通事項」アンカー関係共通事項)																	
2 溶接金網	形状等 [8.2.2]	種類 [8.2.1]	9 型枠	せき板の材料及び厚さ ・合板(※12mm) [G] コンクリート打設時の充填性の確保のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を使用した型枠の使用 適用箇所 図示による () ・MCR工法用シートの使用 適用箇所 図示による () 打増し厚さ 20mm 打増し範囲 図示による ()	10 スタッド	呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所	性能確認試験 試験方法及び試験数 図示による ()																		
3 継手及び定着	継手方法等 [8.3.4][8.4.2~3]	種類 [8.2.1]	10 型枠の加工及び組立	シアコネクタをセパレーターとして使用 適用箇所 図示による ()	11 溶接作業者の技量付加試験	試験の要領 図示による ()	施工確認試験 試験方法 ※引張試験機による引張試験 確認強度 図示による ()																		
4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)	最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) 図示による(構造関係共通図(配筋標準図)表4.1)	種類 [8.2.1]	11 無筋コンクリート	コンクリートの種類 ※普通コンクリート	12 溶接接合	開先の形状 図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-2 溶接継手の種類別開先標準)	(グラウト工事) 1 柱底均しモルタル及び均しモルタル	柱底均しモルタル ※無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料及び割合 ※[8.2.12](1)(7)から(1)による																	
5 ガス圧接完了後の試験	外観試験は全ての圧接部で行う。 圧接部の確認試験 ※超音波探傷試験	種類 [8.2.1]	12 コンクリートの打込み工法等	補強工事 ・現場打ちコンクリート壁の増設工事 ・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)	13 溶接接合	開先の形状 図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-2 溶接継手の種類別開先標準)	2 耐震スリット	幅及び深さ 図示による () 設置箇所 図示による ()																	
6 圧接完了後の試験	外観試験 ※行う(全ての圧接部) 超音波探傷試験 ※行う(全ての圧接部)	種類 [8.2.1]	12 コンクリートの打込み工法等	補強工事 ・現場打ちコンクリート壁の増設工事 ・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)	14 溶接接合	開先の形状 図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-2 溶接継手の種類別開先標準)	3 充てり材の挿入及び周囲補修等	耐火材 使用箇所及び仕様 図示による () 遮音材 使用箇所及び仕様 図示による () 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修																	
7 割製補強筋	形状 種類 [8.21.6][8.22.7]	種類 [8.2.1]	12 コンクリートの打込み工法等	補強工事 ・現場打ちコンクリート壁の増設工事 ・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)	15 錆止め塗装	塗装の範囲 耐火被覆材の接着する面 図示による () 耐火被覆材の接着する面以外 ※[8.17.2](1)(7)~(4)以外の範囲 図示による () 塗料の種類 鉄鋼面に用いる塗料 屋外 ・[表7.4.1] A種 屋内 ・[表7.4.1] ()種 ・亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 ・[表7.4.2] ()種 ・鉄筋鉄骨コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限り) ※[表7.4.1] A種 ・耐火被覆材の接着する面へ塗装する場合の錆止め塗料 ・[表7.4.1] ()種 ・[表7.4.2] ()種	(耐震スリット新設工事) 1 施工前埋込み配管等の調査	既存撤去部の埋込み配管等の調査方法 ・鉄筋探知器(金属探知器)により調査し、鉄筋、配管類の位置に墨出を行う 調査方式 ・電磁波レーダ法(3D表示対応型) ・電磁波レーダ法又は電磁波誘導法 ・はつり出しによる																	
(コンクリート)	1 コンクリートの種類等	種類 [8.2.1]	12 コンクリートの打込み工法等	補強工事 ・現場打ちコンクリート壁の増設工事 ・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)	16 耐火被覆	種類、材料、工法等 [8.18.2~8]	2 耐震スリット	幅及び深さ 図示による () 設置箇所 図示による ()																	
		種類 [8.2.1]	12 コンクリートの打込み工法等	補強工事 ・現場打ちコンクリート壁の増設工事 ・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)	17 建方精度	種類、材料、工法等 [8.18.2~8]																			
		種類 [8.2.1]	12 コンクリートの打込み工法等	補強工事 ・現場打ちコンクリート壁の増設工事 ・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)																					

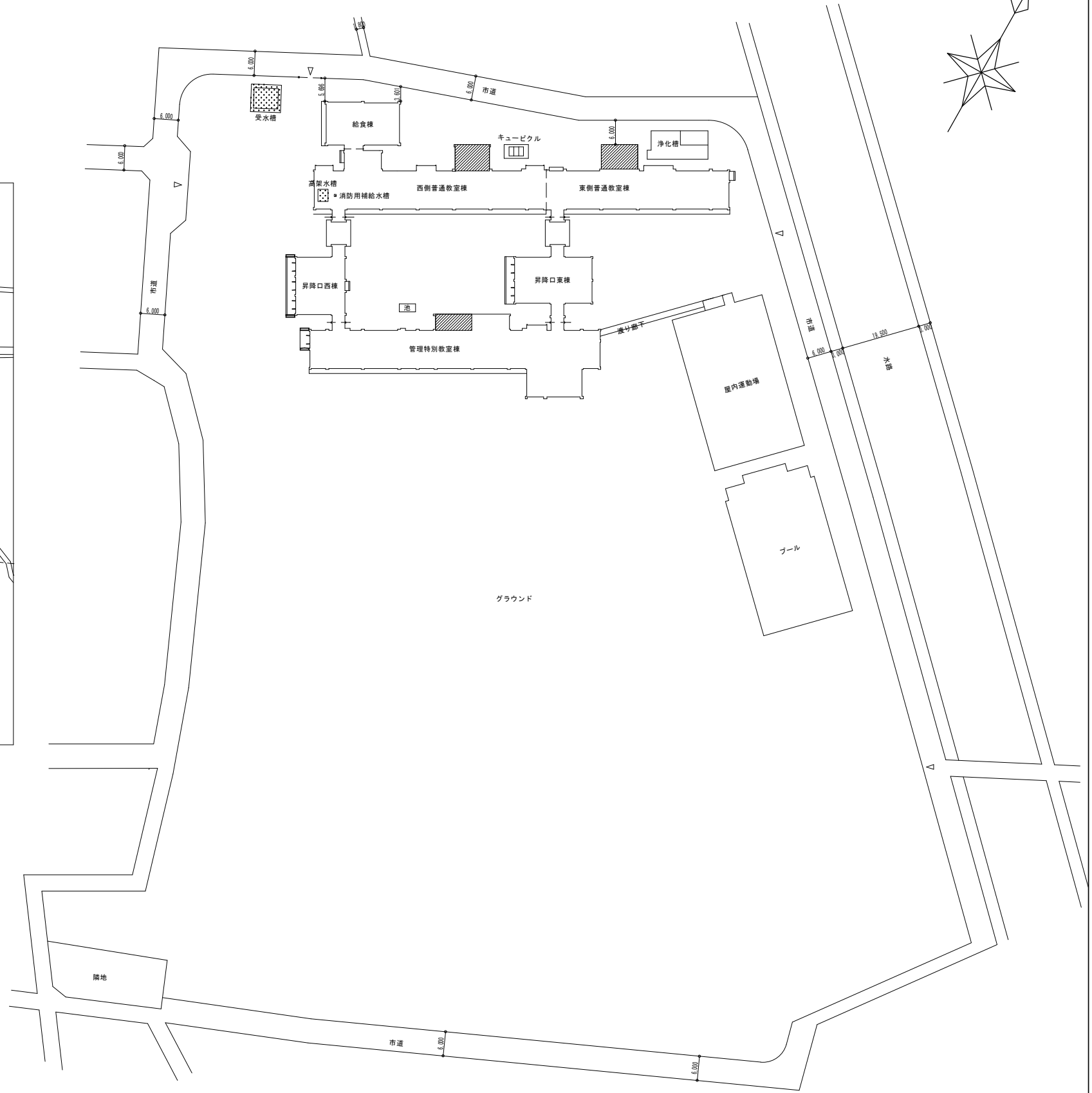
<p>(免震改修工事)</p>	<p>・別添の免震工事特記仕様書による</p>								
<p>(制振改修工事)</p>	<p>・別添の制振工事特記仕様書による</p>								
<p>(土工事及び地業工事)</p>	<p>1 既存杭の撤去等</p>	<p>撤去範囲及び撤去方法 図示による ()</p> <p>杭頭部等の処理 図示による ()</p> <p>既存杭の補強 図示による ()</p> <p>健全性の確認試験 図示による ()</p>	<p>[8.28.2]</p>						
<p>2 土工事</p>	<p>埋戻し及び盛土の種類</p> <p>・A種 適用場所 ()</p> <p>・B種 適用場所 ()</p> <p>・C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 ()</p> <p>・D種 適用場所 ()</p> <p>品質 細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。</p> <p>六価クロム溶出試験 行う</p> <p>建設発生土の処理 構内指示の場所に堆積 構内指示の場所に敷均し</p> <p>鋼矢板等の抜き跡の処理 ※※地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる</p> <p>山留め壁等の存置 行う(存置範囲 ※図示)</p>	<p>[8.28.3]</p>							
<p>3 地業工事</p>	<p>・杭地業 [8.2.15][8.28.4]</p> <p>支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む)</p> <p>・図示による ()</p> <p>杭の材料、工法、寸法、施工方法等</p> <p>・図示による ()</p> <p>試験杭の位置、本数、寸法、施工方法</p> <p>・図示による ()</p> <p>杭の載荷試験 適用(鉛直・水平)</p> <p>試験杭(位置、本数、載荷荷重、試験方法、報告書記載事項 ※図示)</p> <p>地盤の載荷試験 適用(※平板)</p> <p>試験位置、載荷荷重、試験方法、報告書記載事項 ※図示</p> <p>杭の溶接継手 あり(継手の箇所数、材料、工法等 ※図示)</p> <p>技能資格者の技量及び溶接部の確認 ※図示</p> <p>杭頭の処理等 する(処理方法(切断にともなう補強方法含む) ※図示)</p> <p>記録する施工状況等 図示による ()</p>	<p>[8.2.15][8.28.4]</p>							
	<p>・砂利地業 [8.2.15][8.28.4]</p> <p>材料 再生クラッシュラン ⑤ 切込砂利又は切込砕石</p> <p>施工範囲 図示による ()</p> <p>厚さ ※60mm</p>	<p>[8.2.15][8.28.4]</p>							
	<p>・砂地業 [8.2.15][8.28.4]</p> <p>材料 シルト 有機物等の混入しない綿固めに適した山砂、川砂又は砕砂</p> <p>施工範囲 図示による ()</p> <p>厚さ ※60mm</p>	<p>[8.2.15][8.28.4]</p>							
	<p>・捨てコンクリート地業 [8.11.1~3][8.28.4]</p> <p>材料 ※普通コンクリート</p> <p>設計基準強度 ※18N/mm²</p> <p>スランプ ※15cm又は18cm</p> <p>施工範囲 図示による ()</p> <p>厚さ ※50mm(※平たん仕上げ)</p>	<p>[8.11.1~3][8.28.4]</p>							





工事建物：春日部市立牛島小学校
 工事場所：春日部市牛島1080番地



案内図



- 凡例
-  : トイレ改修工事部分を表す。
 -  : 受水槽、高架水槽、消防用補給水槽を表す。

配置図

内部仕上表

改修前仕上表												
階	室名	床仕上		巾木	H	壁(腰)		天井				備考
		下地	仕上			下地	仕上	下地	仕上	廻り縁	CH	
1	普通教室棟 男子便所 女子便所	モルタル	24角磁器質磁'イタ'貼	110角 半磁器質タイル	100	コンクリート	モルタル塗金'フ'EP塗装 半磁器110角色タイル(腰壁)	LGS	フキシ'フ'タ' t=3.2 VP仕上	777	2640	衛生設備【撤去(設備工事)】 (木製建具、掃除用具入、扉、 床下点検口(7ヶ所共)、天井点検口、木製額縁、 トイレ'ス、ライニング)【撤去】
		踏込部分軽量コンクリート 軽量コンクリート + モルタル	ビ'ニ'系タイル貼 t=2.0			CB	モルタル塗金'フ'EP塗装 半磁器110角色タイル(腰壁)					
2 4	普通教室棟 男子便所 女子便所	モルタル	24角磁器質磁'イタ'貼	110角 半磁器質タイル	100	コンクリート	モルタル塗金'フ'EP塗装 半磁器110角色タイル(腰壁)	LGS	フキシ'フ'タ' t=3.2 VP仕上	777	2640	衛生設備【撤去(設備工事)】 (木製建具、掃除用具入、扉、天井点検口、 木製額縁、トイレ'ス、ライニング)【撤去】
		踏込部分軽量コンクリート 軽量コンクリート + モルタル	ビ'ニ'系タイル貼 t=2.0			CB	モルタル塗金'フ'EP塗装 半磁器110角色タイル(腰壁)					
1 4	普通教室棟 廊下	モルタル	ビ'ニ'系タイル貼 t=2.0	モルタル塗 金'フ'EP塗装	100	コンクリート	モルタル塗金'フ'EP塗装	LGS	PB t=9 EP塗装 一部有孔石膏'フ' t=9 EP塗装	777	2650	サイン撤去
1	管理特別教室棟 男子便所 女子便所	モルタル	24角磁器質磁'イタ'貼	110角 半磁器質タイル	100	コンクリート	モルタル塗金'フ'EP塗装 半磁器110角色タイル(腰壁)	LGS	有孔フキシ'フ'タ' t=3.2 VP仕上	777	2600	衛生設備【撤去(設備工事)】 (木製建具、掃除用具入、扉、 床下点検口(7ヶ所共)、天井点検口、木製額縁、 トイレ'ス、ライニング)【撤去】
		踏込部分軽量コンクリート 軽量コンクリート + モルタル	特殊塗床仕上			CB	モルタル塗金'フ'EP塗装 半磁器110角色タイル(腰壁)					
2 3	管理特別教室棟 男子便所 女子便所	モルタル	24角磁器質磁'イタ'貼	110角 半磁器質タイル	100	コンクリート	モルタル塗金'フ'EP塗装 半磁器110角色タイル(腰壁)	LGS	有孔フキシ'フ'タ' t=3.2 VP仕上	777	2600	衛生設備【撤去(設備工事)】 (木製建具、掃除用具入、扉、天井点検口、 木製額縁、トイレ'ス、ライニング)【撤去】
		踏込部分軽量コンクリート 軽量コンクリート + モルタル	特殊塗床仕上			CB	モルタル塗金'フ'EP塗装 半磁器110角色タイル(腰壁)					

改修後仕上表												
階	室名	床仕上		巾木	H	壁(腰)		天井				備考
		下地	仕上			下地	仕上	下地	仕上	廻り縁	CH	
1	普通教室棟 男子便所 女子便所 車椅子対応便所	乾式二重床	ハ'テ'イ'タ'タ' t=20 + 合板 t=15 ビ'ニ'床シート t=2.0	床材巻上げ ビ'ニ'床シート	100	既存モルタルの上、 LGS(65型)	耐水PB t=12.5 + 抗'イ'炎'性'フ'シ'ン'不燃化粧板 t=3.0	LGS	不燃化粧PB t=9.5	塩ビ製	2550	(床下点検口、天井点検口、木製額縁、トイレ'ス、ライニング' モ'フ'掛け、雑巾掛け)【新設】 衛生設備【新設(設備工事)】
		既存タイルの上、モルタル'リ'ング 踏込部分既存モルタル 撤去・新設	小便器前汚重部: トイレ専用防滑性ビ'ニ'床シート t=2.0			フ'イ'ン'グ(洗面器部): LGS下地、耐水合板 t=24の上、抗'イ'炎'性'フ'シ'ン'不燃化粧板 t=3.0 フ'イ'ン'グ(手すり・SK部): LGS下地、耐水合板 t=18の上、抗'イ'炎'性'フ'シ'ン'不燃化粧板 t=3.0 フ'イ'ン'グ(小便器部): LGS下地、耐水合板 t=12の上、抗'イ'炎'性'フ'シ'ン'不燃化粧板 t=3.0						
		既存のまま タイル撤去	下地調整 + EP-G塗装 モルタル補修 + EP-G塗装			下地調整 + EP-G塗装 モルタル補修 + EP-G塗装						
2 4	普通教室棟 男子便所 女子便所 車椅子対応便所	乾式二重床	ハ'テ'イ'タ'タ' t=20 + 合板 t=15 ビ'ニ'床シート t=2.0	床材巻上げ ビ'ニ'床シート	100	既存モルタルの上、 LGS(65型)	耐水PB t=12.5 + 抗'イ'炎'性'フ'シ'ン'不燃化粧板 t=3.0	LGS	不燃化粧PB t=9.5	塩ビ製	2550	(床下点検口、天井点検口、木製額縁、トイレ'ス、ライニング' モ'フ'掛け、雑巾掛け)【新設】 衛生設備【新設(設備工事)】
		既存タイルの上、モルタル'リ'ング 踏込部分既存モルタル 撤去・新設	小便器前汚重部: トイレ専用防滑性ビ'ニ'床シート t=2.0			フ'イ'ン'グ(洗面器部): LGS下地、耐水合板 t=24の上、抗'イ'炎'性'フ'シ'ン'不燃化粧板 t=3.0 フ'イ'ン'グ(手すり・SK部): LGS下地、耐水合板 t=18の上、抗'イ'炎'性'フ'シ'ン'不燃化粧板 t=3.0 フ'イ'ン'グ(小便器部): LGS下地、耐水合板 t=12の上、抗'イ'炎'性'フ'シ'ン'不燃化粧板 t=3.0						
		既存のまま タイル撤去	下地調整 + EP-G塗装 モルタル補修 + EP-G塗装			下地調整 + EP-G塗装 モルタル補修 + EP-G塗装						
1 4	普通教室棟 廊下	既存のまま	下地調整の上、 防滑性ビ'ニ'床シート t=2.0	下地調整の上 EP-G塗装	100	既存のまま	下地調整 + EP-G塗装	LGS	不燃化粧PB t=9.5	塩ビ製	2550	ビクトサイン
1	管理特別教室棟 男子便所 女子便所	乾式二重床	ハ'テ'イ'タ'タ' t=20 + 合板 t=15 ビ'ニ'床シート t=2.0	床材巻上げ ビ'ニ'床シート	100	既存モルタルの上、 LGS(65型)	耐水PB t=12.5 + 抗'イ'炎'性'フ'シ'ン'不燃化粧板 t=3.0	LGS	不燃化粧PB t=9.5	塩ビ製	2510	(床下点検口、天井点検口、木製額縁、トイレ'ス、ライニング' モ'フ'掛け、雑巾掛け)【新設】 衛生設備【新設(設備工事)】 ビクトサイン
		既存タイルの上、モルタル'リ'ング 踏込部分既存モルタル 撤去・新設	小便器前汚重部: トイレ専用防滑性ビ'ニ'床シート t=2.0			フ'イ'ン'グ(洗面器部): LGS下地、耐水合板 t=24の上、抗'イ'炎'性'フ'シ'ン'不燃化粧板 t=3.0 フ'イ'ン'グ(手すり・SK部): LGS下地、耐水合板 t=18の上、抗'イ'炎'性'フ'シ'ン'不燃化粧板 t=3.0 フ'イ'ン'グ(小便器部): LGS下地、耐水合板 t=12の上、抗'イ'炎'性'フ'シ'ン'不燃化粧板 t=3.0						
		既存のまま タイル撤去	下地調整 + EP-G塗装 モルタル補修 + EP-G塗装			下地調整 + EP-G塗装 モルタル補修 + EP-G塗装						
2 3	管理特別教室棟 男子便所 女子便所	乾式二重床	ハ'テ'イ'タ'タ' t=20 + 合板 t=15 ビ'ニ'床シート t=2.0	床材巻上げ ビ'ニ'床シート	100	既存モルタルの上、 LGS(65型)	耐水PB t=12.5 + 抗'イ'炎'性'フ'シ'ン'不燃化粧板 t=3.0	LGS	不燃化粧PB t=9.5	塩ビ製	2510	(床下点検口、天井点検口、木製額縁、トイレ'ス、ライニング' モ'フ'掛け、雑巾掛け)【新設】 衛生設備【新設(設備工事)】 ビクトサイン
		既存タイルの上、モルタル'リ'ング 踏込部分既存モルタル 撤去・新設	小便器前汚重部: トイレ専用防滑性ビ'ニ'床シート t=2.0			フ'イ'ン'グ(洗面器部): LGS下地、耐水合板 t=24の上、抗'イ'炎'性'フ'シ'ン'不燃化粧板 t=3.0 フ'イ'ン'グ(手すり・SK部): LGS下地、耐水合板 t=18の上、抗'イ'炎'性'フ'シ'ン'不燃化粧板 t=3.0 フ'イ'ン'グ(小便器部): LGS下地、耐水合板 t=12の上、抗'イ'炎'性'フ'シ'ン'不燃化粧板 t=3.0						
		既存のまま タイル撤去	下地調整 + EP-G塗装 モルタル補修 + EP-G塗装			下地調整 + EP-G塗装 モルタル補修 + EP-G塗装						

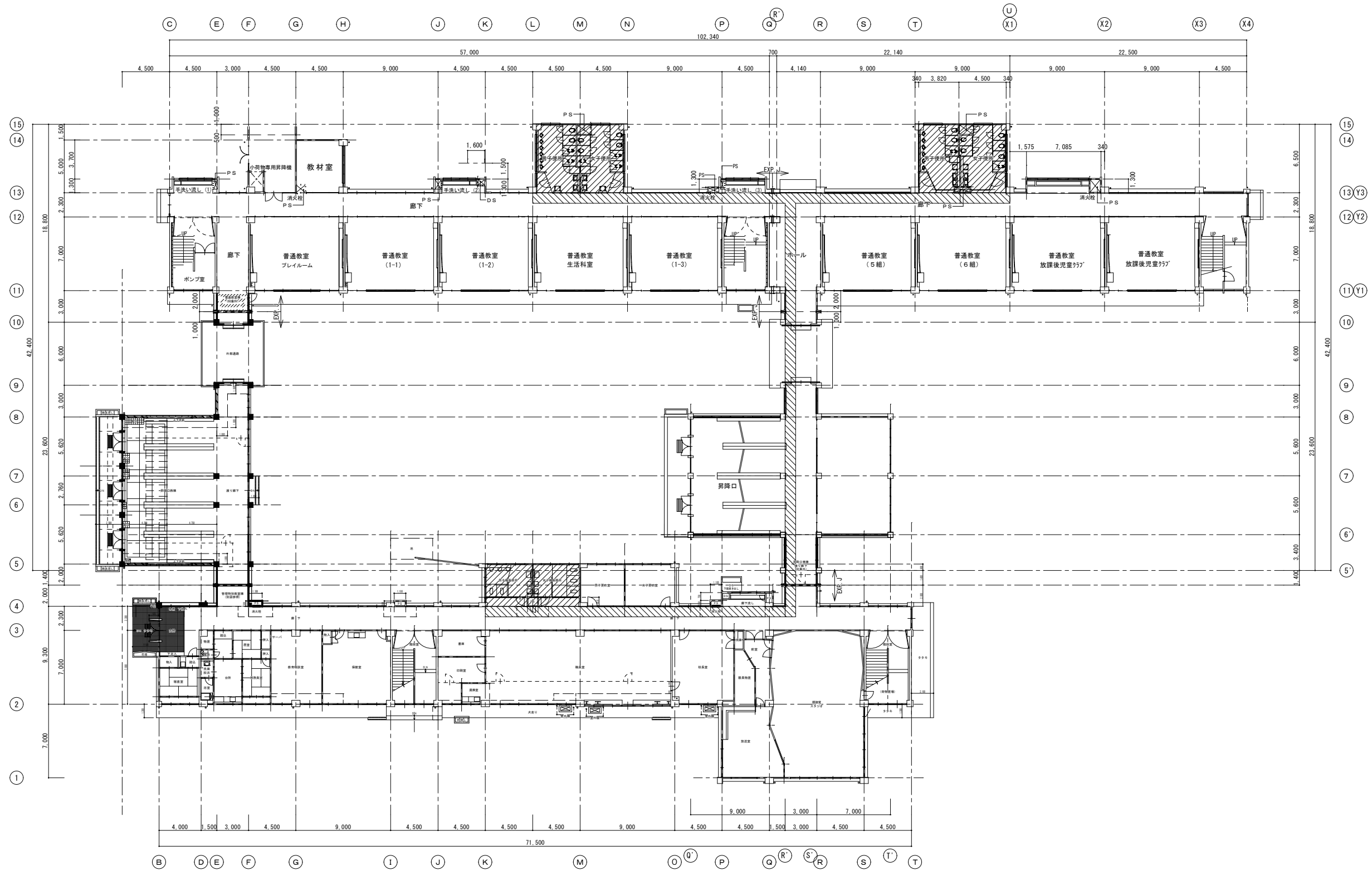
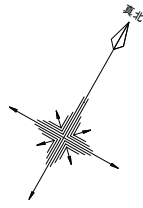
材料・材料略号	
AL	7&ミ'コ'ム
ALC	軽量気泡コンクリート
AS	7&7'メ'ト
RC	鉄筋コンクリート
CB	コンクリート'ロ'ック
FA	7'リ'ア'タ'ク'ス'7'ロ'ア'
GW	グ'ラ'ウ'ン'グ(ボ'ー'ド')
LGS	軽量鉄骨
GL	GL'ボ'ー'ド'
PB	石'コ'ス'ト'
PLB	石'コ'ス'ト'ボ'ー'ド'

材料・材料略号	
PC	プ'レ'キャストコンクリート
PVC	塩化ビ'ニ'ル
RW	ロック'ウ'ール
S	チ'ー'ム
SGL	配管用炭素鋼管
ST	ステン'ス'チ'ー'ル
VP	硬質塩化ビ'ニ'ル管
W	木質
RS	セ'メント'押'出'成型板
SL	セ'メント'リ'ング'材
UB	ユニ'バ'ス

塗装種別略号	
OP	油性調合ベ'ィ'ト塗
SOP	合成樹脂調合ベ'ィ'ト塗
ALP	7&ニ'コ'ム'ベ'ィ'ト塗
FE	7&酸樹脂エ'ポ'キシ'塗
OS	オ'キ'シ'ド'塗
OSW	オ'キ'シ'ド'・ウ'レ'タン'塗
OSCL	オ'キ'シ'ド'・ウ'レ'タン'・ウ'レ'タン'塗
UE	2'種'ウ'レ'タン'塗
UEC	2'種'ウ'レ'タン'・ウ'レ'タン'塗
CL	ウ'レ'タン'塗
LE	ウ'レ'タン'塗

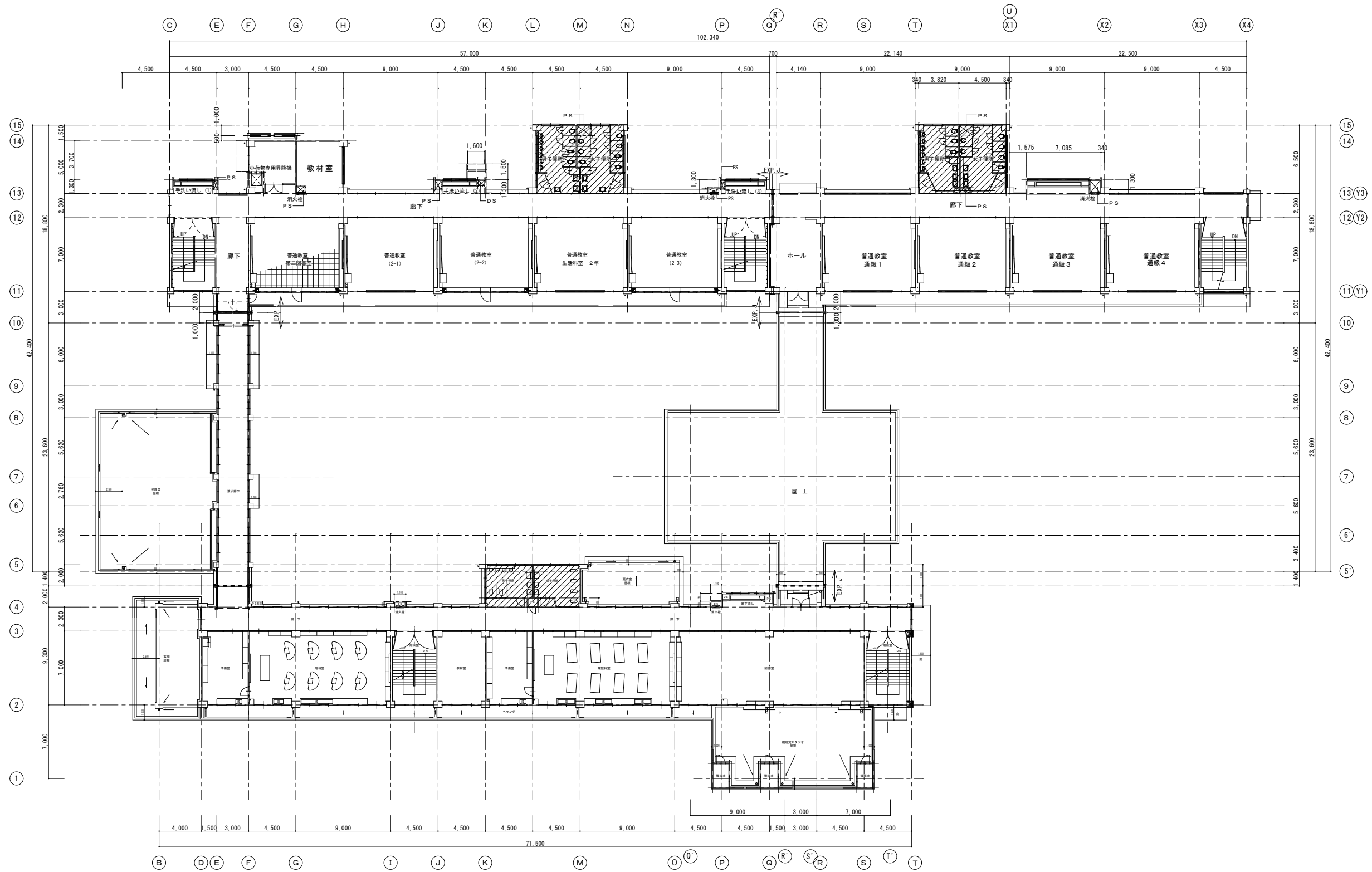
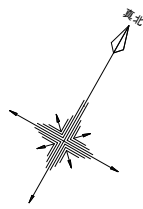
塗装種別略号	
AE	7&リ'ネ'タル'塗
VE	塩化ビ'ニ'ル'塗
EP-1	JIS K5663 1'種'塗
EP-2	JIS K5663 2'種'塗
AB-E	7&樹脂'粘'付'塗
PP	オ'キ'シ'ド'樹脂'塗
EP	合成樹脂エ'ポ'キシ'塗
OSV	オ'キ'シ'ド'塗

その他	
H	高さ
W	巾
D	深さ
T	厚さ
R	半径
EXP-J	エ'キ'ス'ト'ジョ'イント
EV	エレ'ベ'ーター
CD	コンクリート'ボ'ー'ト




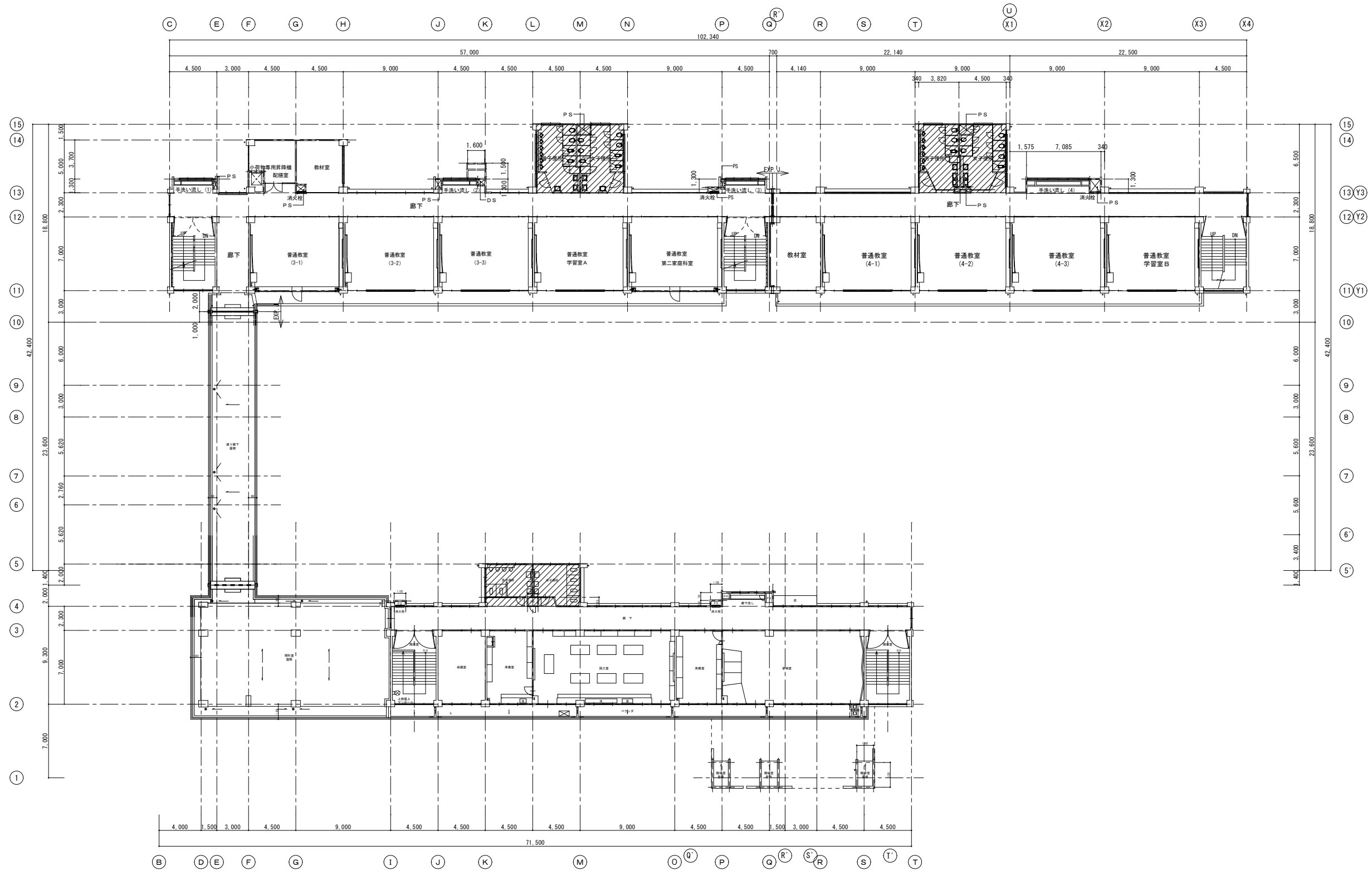
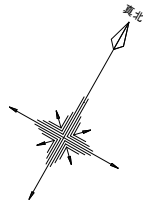
1階平面図 (改修前) S=1/200

- : トイレ改修工事範囲
- : 天井改修工事範囲



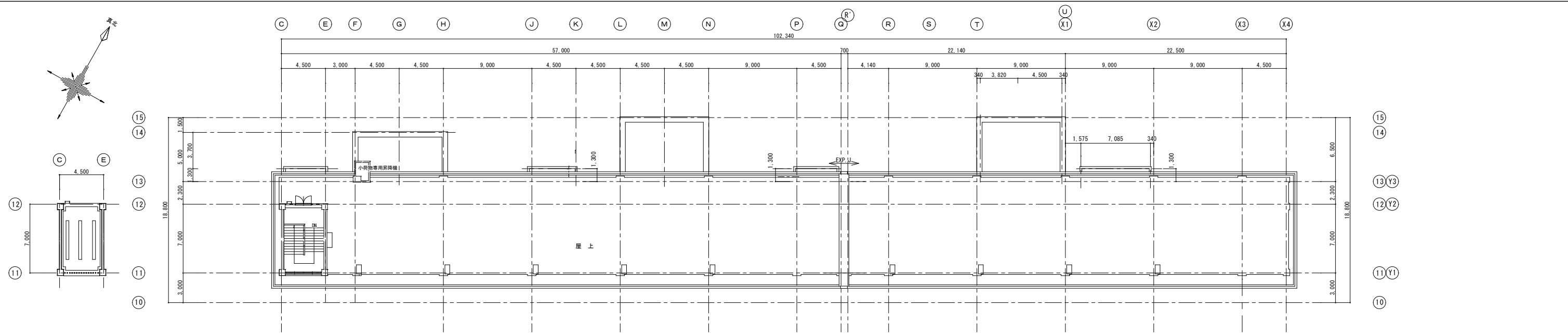
2階平面図 (改修前) S=1/200

 : トイレ改修工事範囲



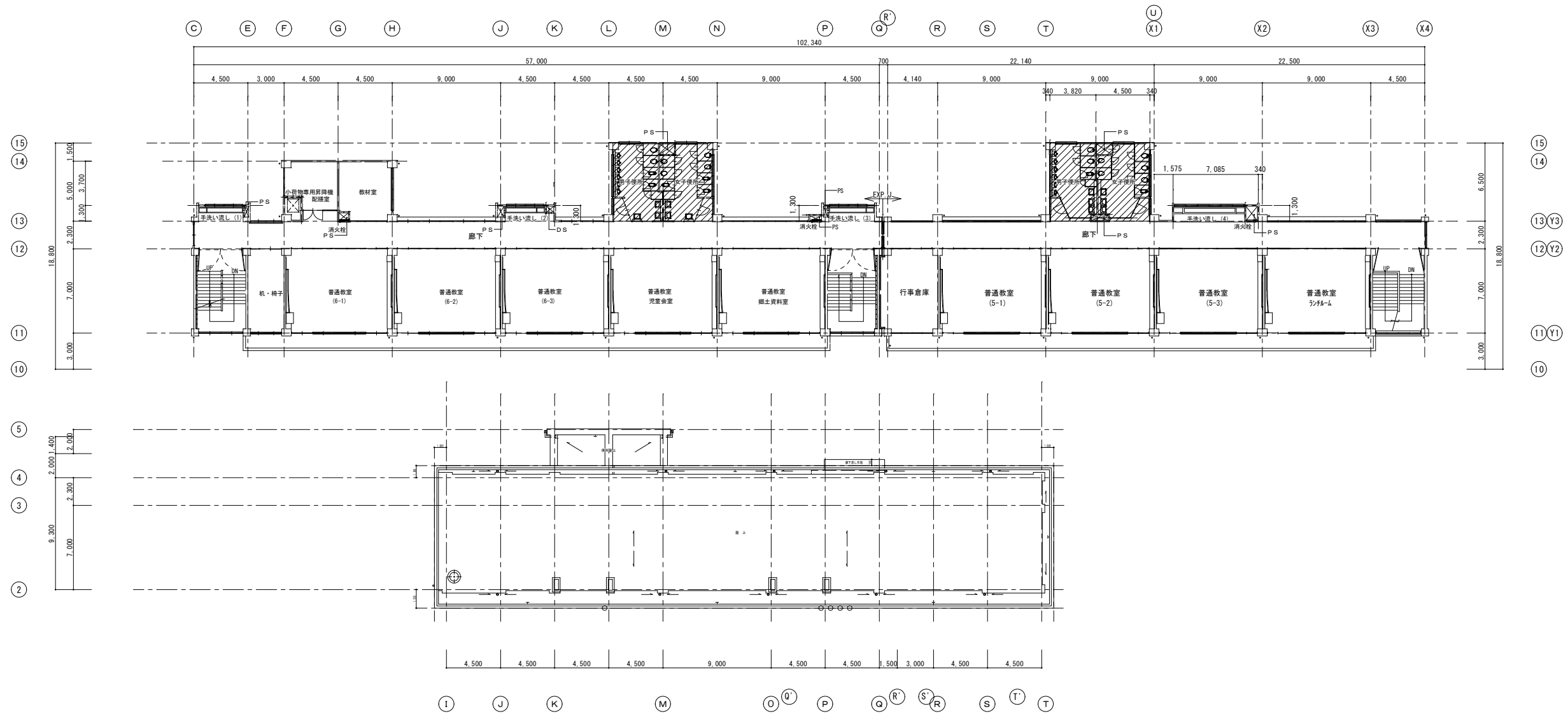
3階平面図 (改修前) S=1/200

: トイレ改修工事範囲



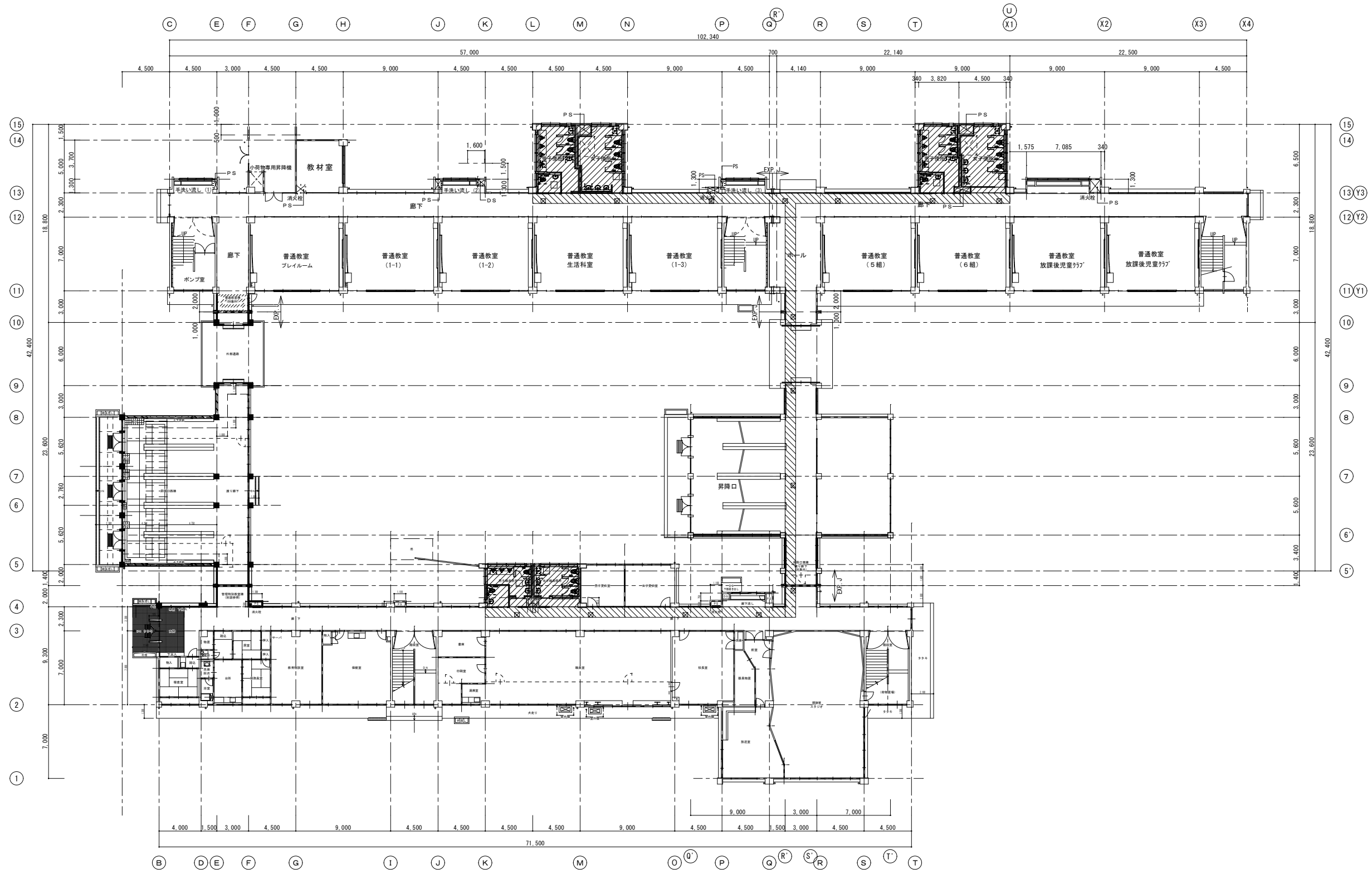
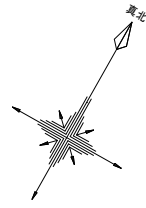
PH階平面図 (改修前) S=1/200

R階平面図 (改修前) S=1/200



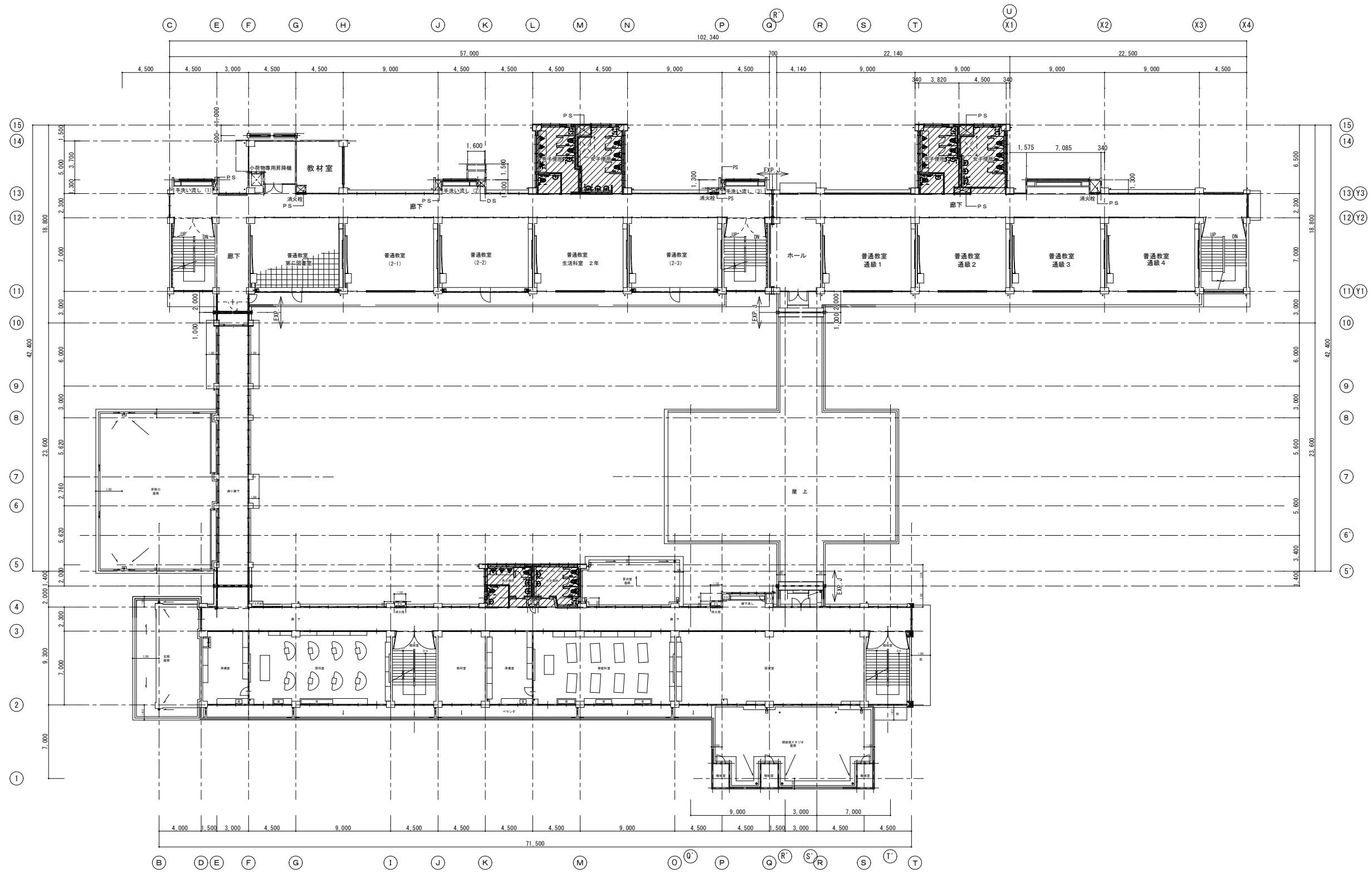
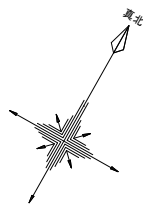
4階平面図 (改修前) S=1/200

: トイレ改修工事範囲




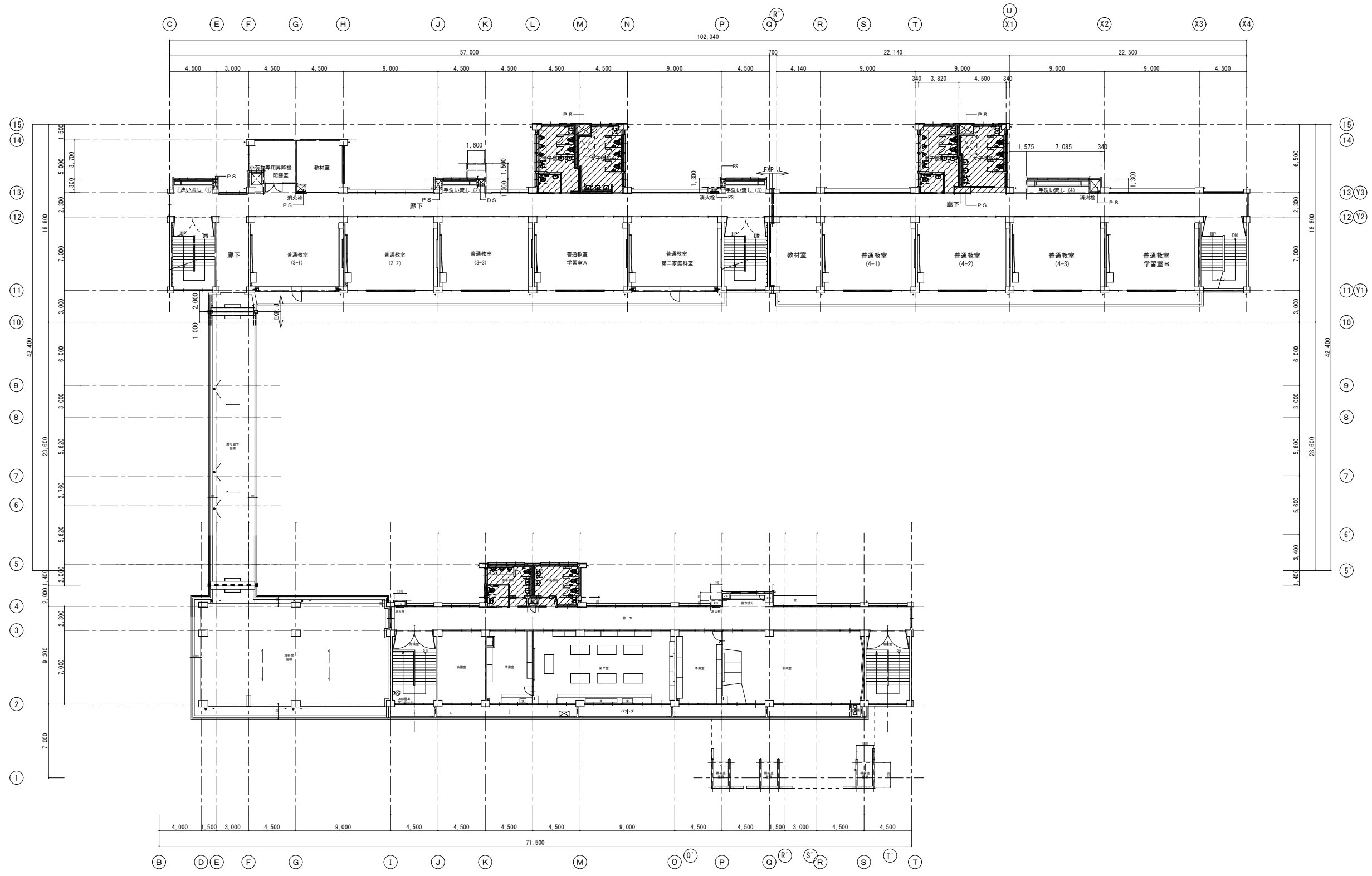
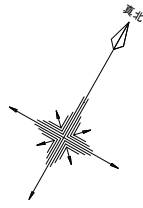
1階平面図 (改修後) S=1/200

- : トイレ改修工事範囲
- : 天井改修工事範囲
- : 廊下内新規天井点検口 (15箇所)




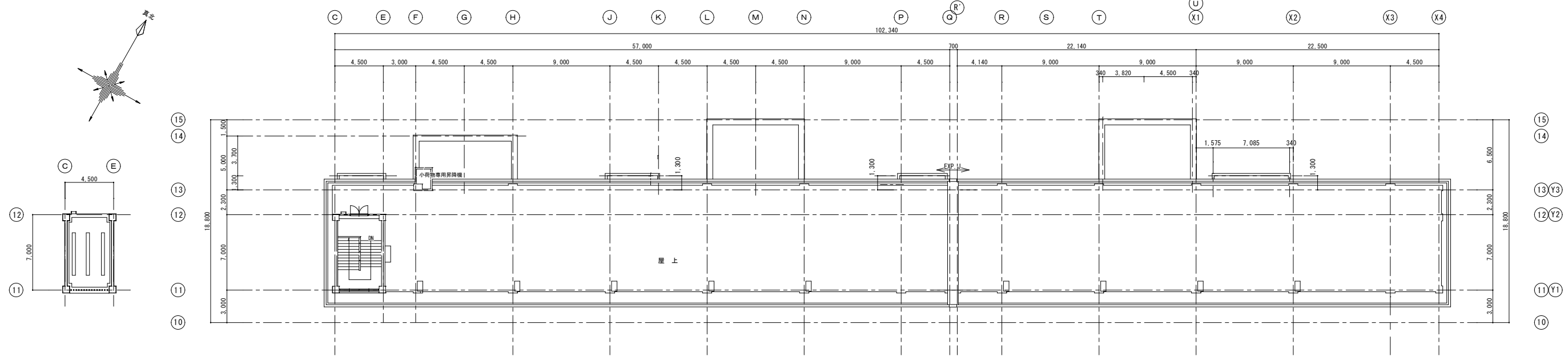
2階平面図 (改修後) S=1/200

 : トイレ改修工事範囲



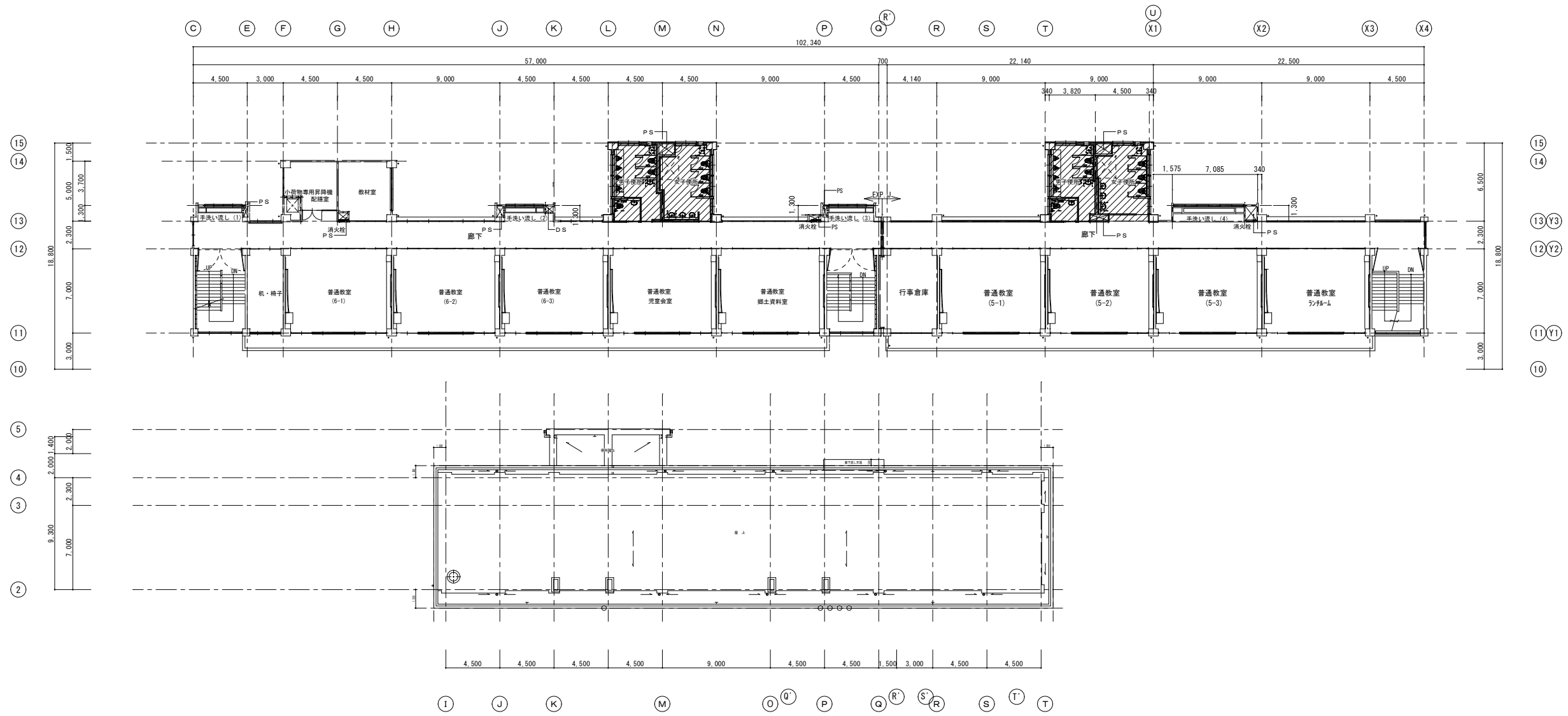
3階平面図 (改修後) S=1/200

 : トイレ改修工事範囲



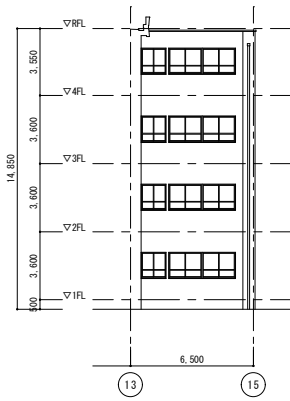
PH階平面図 (改修後) S=1/200

R階平面図 (改修後) S=1/200

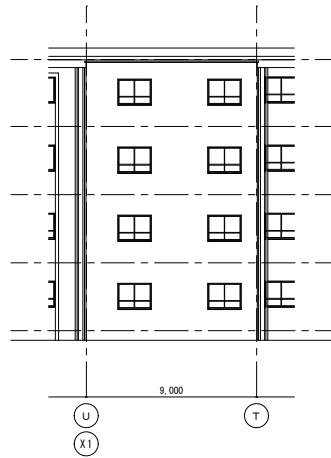


4階平面図 (改修後) S=1/200

: トイレ改修工事範囲



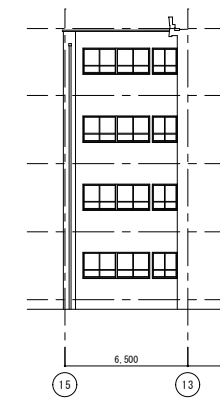
普通教室棟 L(T)通り立面図 (改修前・後) S=1/200



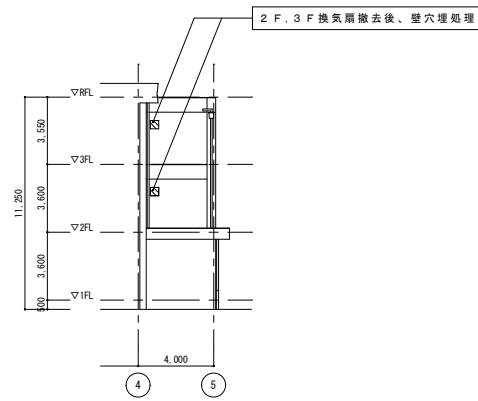
普通教室棟(西棟)北側立面図 (改修前・後) S=1/200



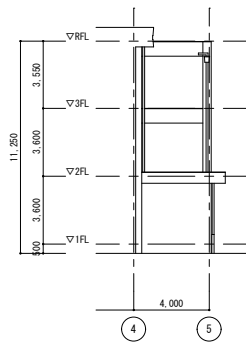
普通教室棟(東棟)北側立面図 (改修前・後) S=1/200



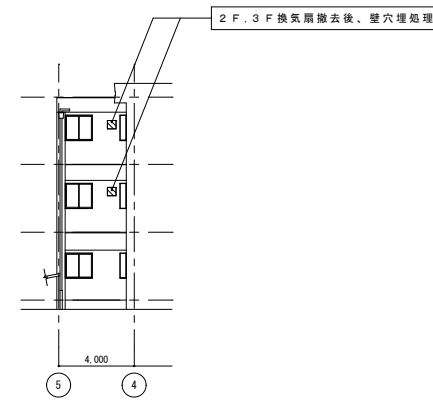
普通教室棟 N(U)通り立面図 (改修前・後) S=1/200



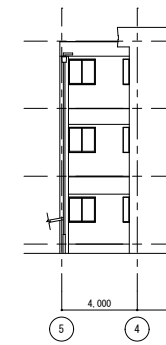
管理特別教室棟 O通り立面図 (改修前) S=1/200



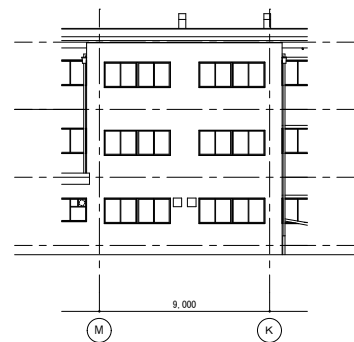
管理特別教室棟 O通り立面図 (改修後) S=1/200



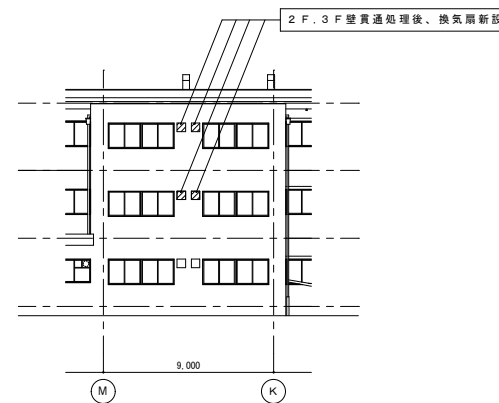
管理特別教室棟 K通り立面図 (改修前) S=1/200



管理特別教室棟 K通り立面図 (改修後) S=1/200



管理特別教室棟北側立面図 (改修前) S=1/200

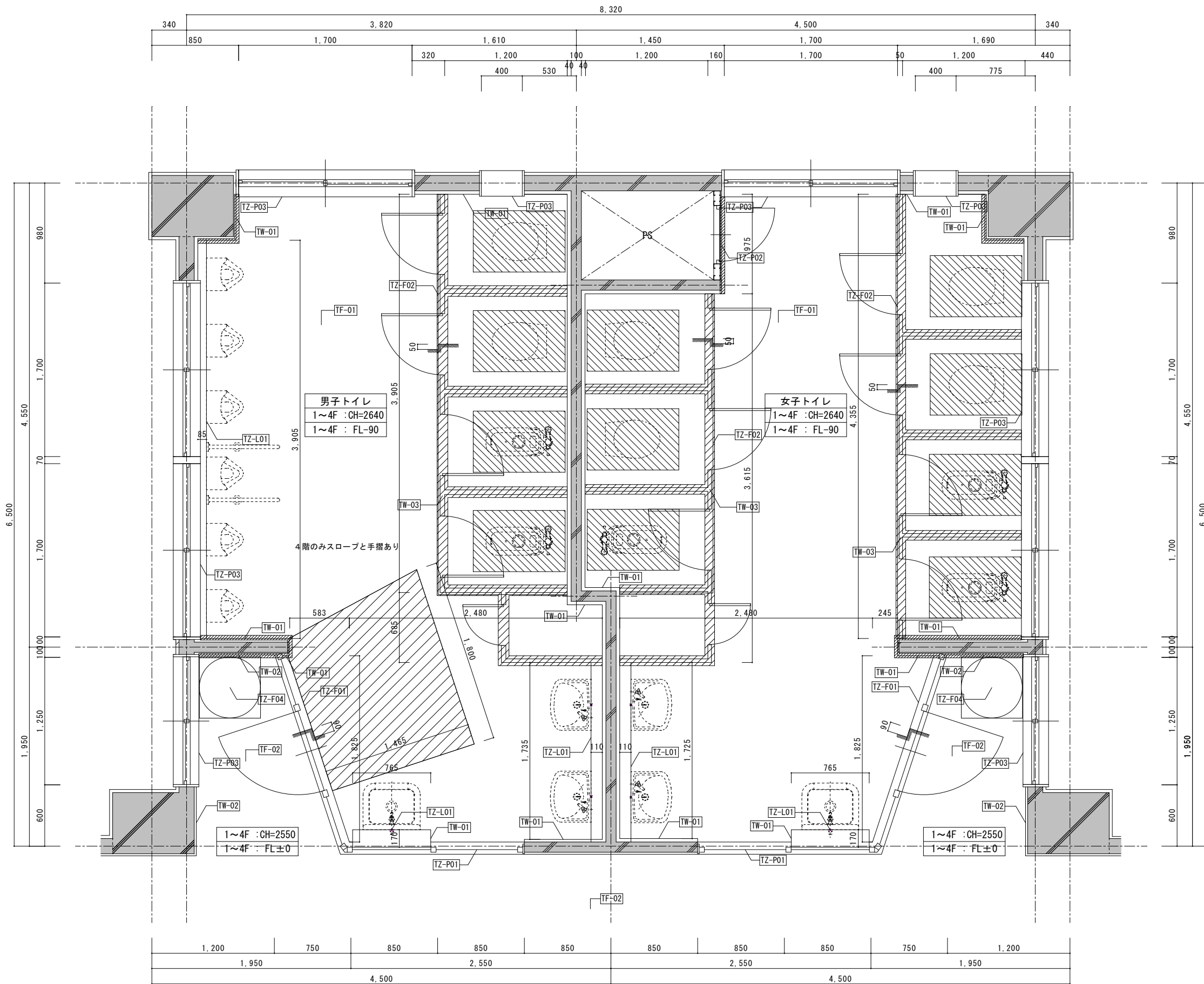


管理特別教室棟北側立面図 (改修後) S=1/200

普通教室棟 外部仕上		
外 壁	コンクリート打放しアクリルシン吹付 下地処理の上 アクリルシリコン系遮熱塗装	既存のまま
柱 型	コンクリート打放しアクリルシン吹付	既存のまま
梁 型	下地処理の上 アクリルシリコン系遮熱塗装	既存のまま
外 巾 木	モルタル塗り金コテの上 樹脂モルタル塗布	既存のまま
壁 種	壁種：VP管 100φ (カラー)	既存のまま
その他		

管理特別教室棟 外部仕上		
外 壁	コンクリート打放しアクリルシン吹付	既存のまま
柱 型	コンクリート打放しアクリルシン吹付	既存のまま
梁 型	コンクリート打放しアクリルシン吹付	既存のまま
外 巾 木	モルタル塗り金コテ	既存のまま
壁 種	壁種：硬質塩ビ管 100φ 支持金物鉄製	既存のまま
その他		

凡例
 : 新設部分を表す。
 : 撤去部分を表す。



床撤去凡例	撤去項目仕様
TF-01	24角磁器質セラミック貼[セラミックス系下地共] (既存のまま)
TF-02	ビニル系タイル貼
TF-03	
特記事項	
[斜線]: 既存便器撤去床スラブ復旧部分を示す。	
[点線]: 既存スラブ撤去部分を示す。(4階のみ)	

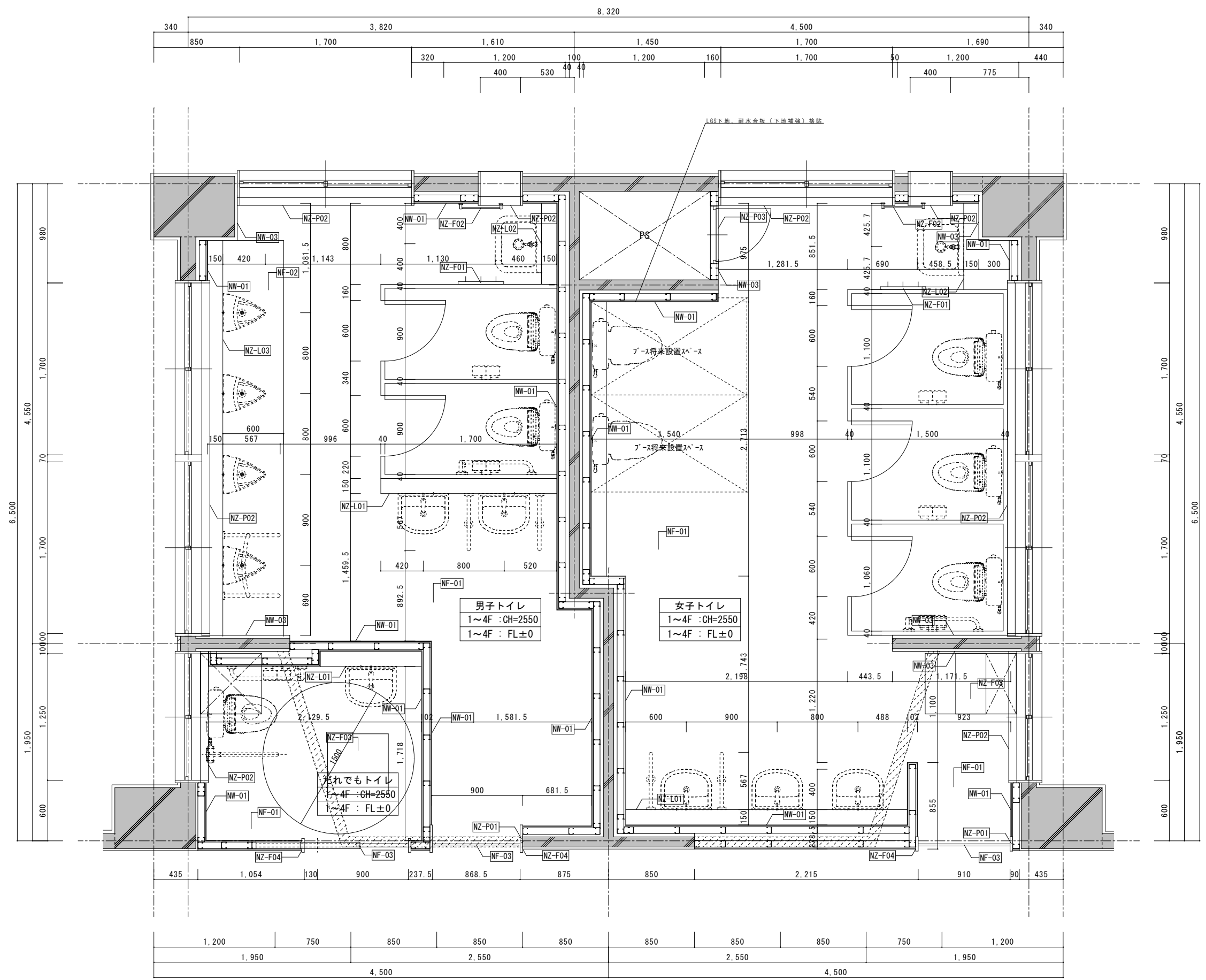
壁撤去凡例	撤去項目仕様
TW-01	半磁器110角色タイル[腰壁] (一部撤去)
TW-02	セラミックス系タイルの上、EP塗装
TW-03	トルブレス
特記事項	
[斜線]: 壁撤去範囲を示す。	
[点線]: タイル撤去範囲を示す。	

天井撤去凡例	撤去項目仕様
※天井伏図参照	

建具・造作物撤去凡例	撤去項目仕様
ラインニング	TZ-L01 立上り: コンクリートブロック下地、タイル張り 天板: タイル張り
家具その他	TZ-F01 櫃: 人研ブロック 100x100
	TZ-F02 櫃: 人研ブロック 100x50 (既存のまま)
	TZ-F03 床下点検口枠共 (1階のみ)
	TZ-F04 掃除用具入れ
	TZ-F05 スチール製建具 (四方枠、欄間共)
建具	TZ-P01 スチール製建具 (四方枠、欄間共)
	TZ-P02 鋼製建具
	TZ-P03 木製額縁

凡例	
[斜線]	コンクリート壁
[点線]	廊下部トイレ改修工事範囲外を示す
[丸]	トイレ 一部屋名を示す。
[CH=2,600]	天井高さを示す。
[FL=100]	フロアの高さを示す。

普通教室棟 (西棟) 1~4階トイレ平面詳細図 (改修前) S=1/20



床新設凡例	新設項目仕様
NF-01	ビニル床シート t=2.0
NF-02	トイレ専用防滑性ビニル床シート t=2.0
NF-03	床見切材 (ステンレス製)
特記事項	
床下地 1~4F: 600mmリッパの上、置床	
1~4F: 段差部ステンレス目地部分を示す。	

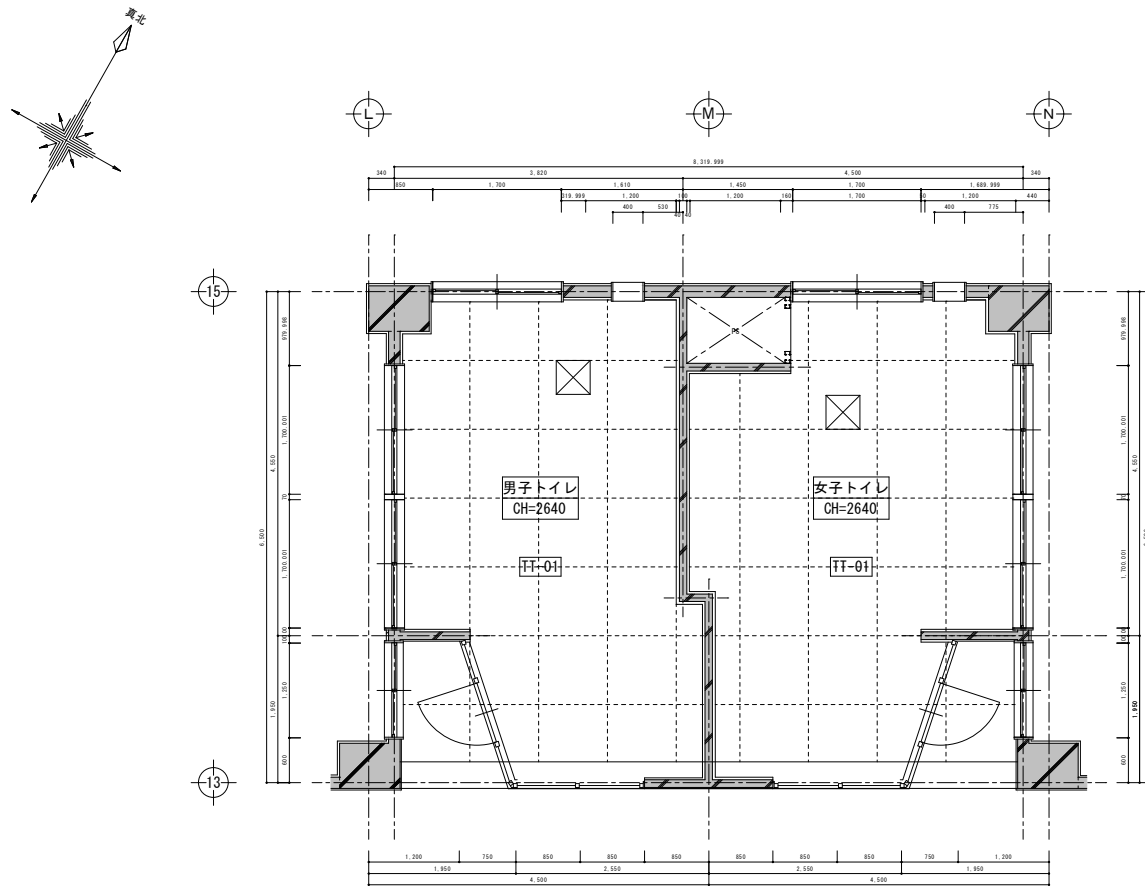
壁新設凡例	新設項目仕様
NW-01	耐水PB t=12.5+化粧珪酸カルシウム板 t=6.0
NW-02	
NW-03	既存壁下地処理の上、EP-G塗装 タイル部撤去もみれ補修の上EP-G塗装
特記事項	

建具・造作物新設凡例	新設項目仕様	
ライティング	NZ-L01	壁 (洗面器部): LGS下地、耐水合板 t=24の上、 抗ウイルス性珪酸カルシウム板 t=3.0 天板: フォリウムスチロールフォーム t=20 端部R付
	NZ-L02	壁 (手すり・SK部): LGS下地、耐水合板 t=18の上、 抗ウイルス性珪酸カルシウム板 t=3.0 天板: フォリウムスチロールフォーム t=20 端部R付
	NZ-L03	壁 (小便器部): LGS下地、耐水合板 t=12の上、 抗ウイルス性珪酸カルシウム板 t=3.0 天板: フォリウムスチロールフォーム t=20 端部R付
家具その他	NZ-F01	モップ掛け
	NZ-F02	雑巾掛け (位置が開閉口に干渉の場合は木製額縁下に設置)
	NZ-F03	床下点検口 (1階のみ)
	NZ-F04	ビクトリア
建具	NZ-P01	三方枠: 亜鉛メッキ鋼板 EP-G塗装
	NZ-P02	木製額縁 EP-G塗装 (新設)
	NZ-P03	スチール7

凡例	
	コンクリート壁
	LGS下地壁
	廊下部トイレ改修工事範囲外を示す
	トイレ 部屋名称を示す。
	CH=2.400 天井高さを示す。
	FL=100 床からの高さを示す。

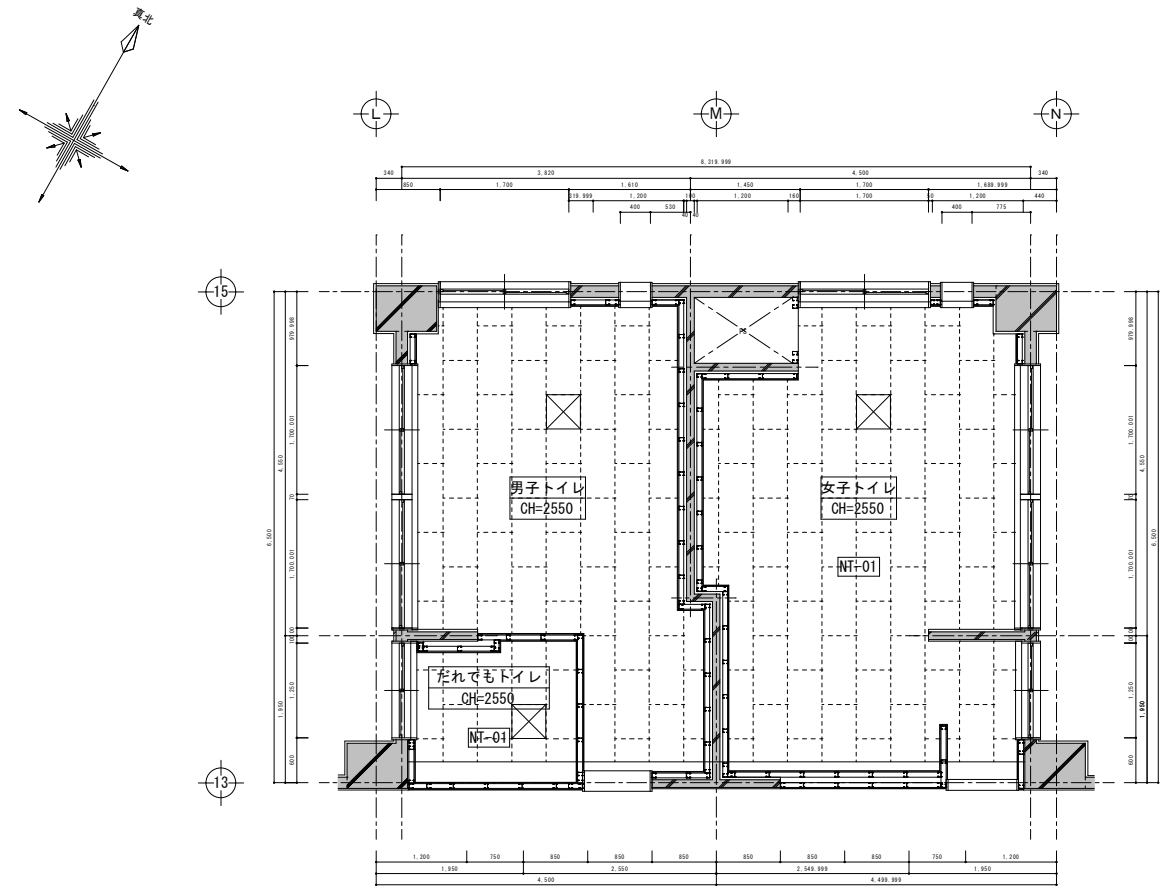
※廊下床見切り部撤去後: ビニル系タイル (t=2.0、既存同色) による復旧とする (300mm程度の範囲を見込む)

普通教室棟 (西棟) 1~4階トイレ平面詳細図 (改修後) S=1/20



普通教室棟（西棟） 1階トイレ天井伏図（改修前） S=1/50

天井撤去凡例	撤去項目仕様
TT-01	フキシア' 麻'-t' t=3.2[軽量鉄骨下地、廻縁共]
☒	450角 天井点検口 (7#枠)



普通教室棟（西棟） 1階トイレ天井伏図（改修後） S=1/50

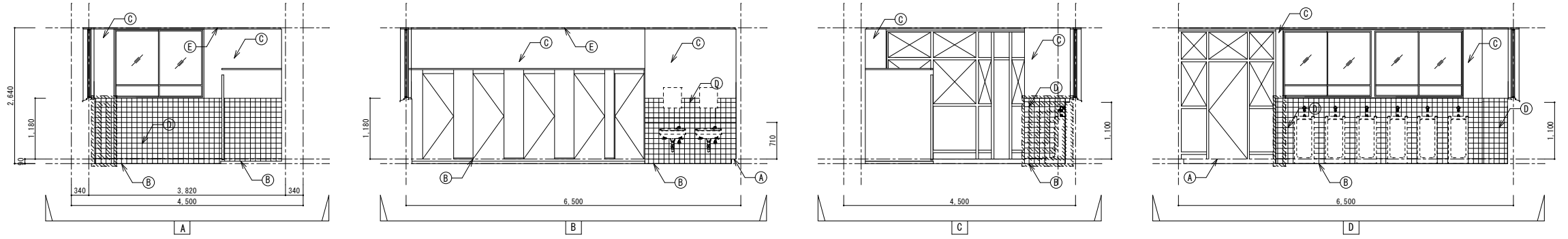
天井新設凡例	新設項目仕様
NT-01	不燃化粧PB t=9.5[塩t' 製廻縁、軽量鉄骨下地]
☒	450角 天井点検口 (7#枠) ※設置位置は設備と調整

凡例

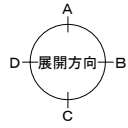
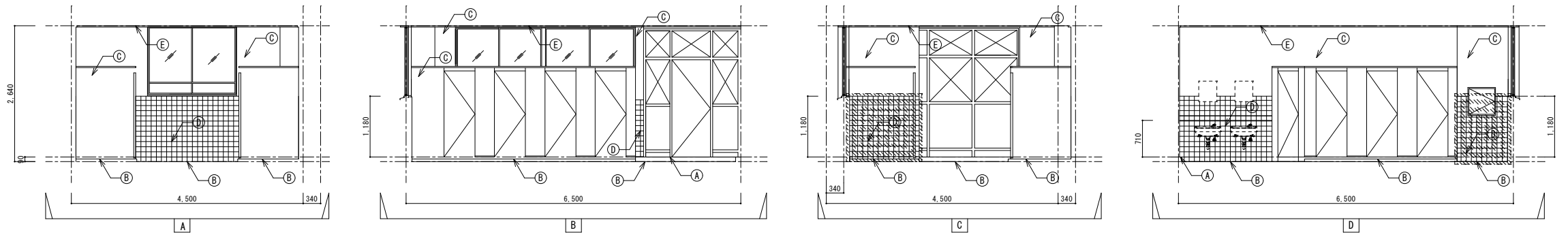
	コンクリート壁
	LGS下地壁
	事務室 部屋名称を示す。 CH=2,400 天井高さを示す。

男子トイレ

仕上凡例			
床	ビニル系タイル貼 t=2 【タイル貼り下地、軽量コンクリート共】	既存のまま	A
壁	25角磁器質タイル貼【タイル貼り下地共】	既存のまま	B
	タイル金網 EP-II	既存のまま	C
腰壁	半磁器110角タイル タイル撤去範囲を示す。	一部撤去	D
天井	有孔アクリル板 t=3.2 EP-I	撤去	E
廻り縁	アクリル	撤去	
フィン	立上り：OB下地、タイル張り 天板：110角タイル	撤去	F
備考	HVLPスプレー	撤去	
	木製建具	撤去	
	木製扉	撤去	
	欄干：人研アクリル 100×100	撤去	
	欄干：人研アクリル 45×45	既存のまま	
	床下点検口移設（1階のみ）	撤去	
	掃除用具入れ	撤去	

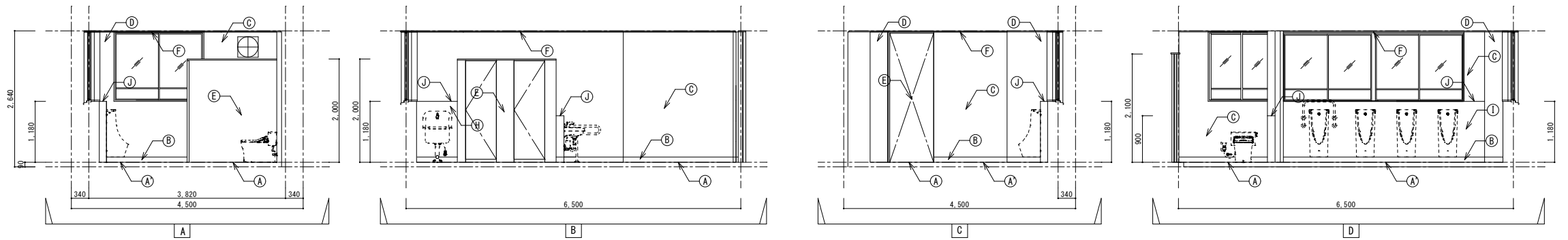


女子トイレ

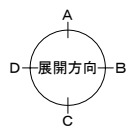
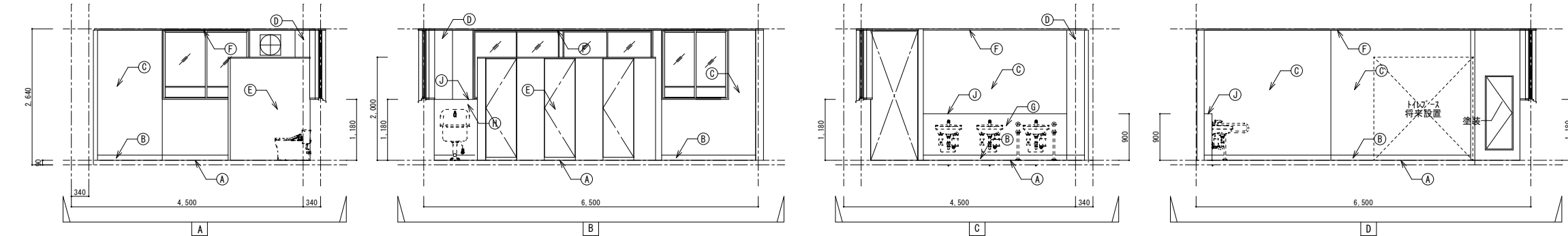



男子トイレ・だれでもトイレ

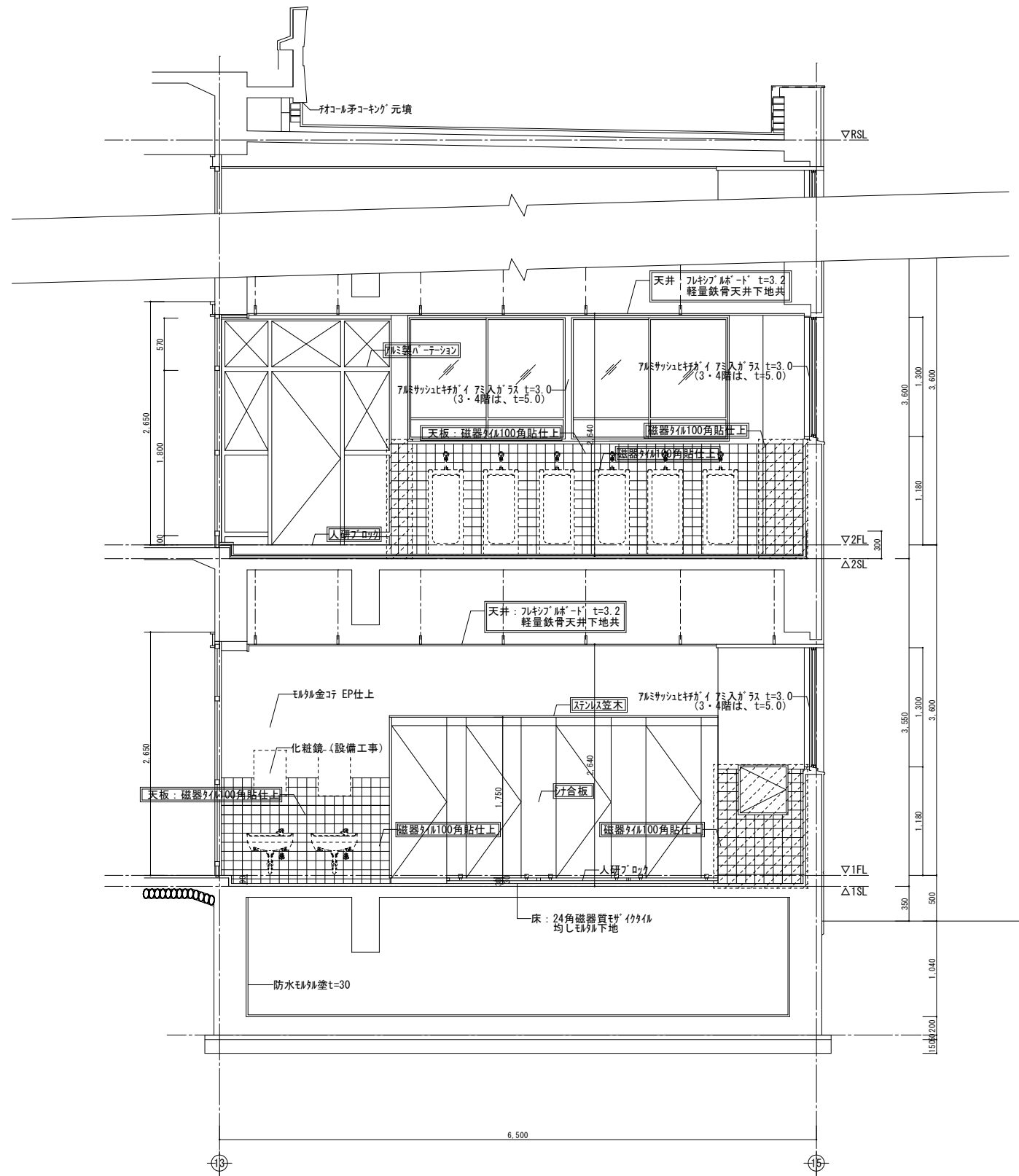
仕上凡例			
床	既存タイルの上、タイル「リリ」 乾式二重床：「リリ」タイル t=20 + 合板 t=18の上、ビニル床シート t=2.0	A	
	既存タイルの上、タイル「リリ」 乾式二重床：「リリ」タイル t=20 + 合板 t=15の上、HV専用防汚性ビニル床シート t=2.0	A'	
巾木	ビニル床シート巻上げ (壁見切り材押入) h=100	B	
壁	LGS下地、耐水PB t=12.5の上、 化粧タイル貼り t=6.0	C	
	タイル補修 + EP-G塗装 タイル撤去部タイル補修の上EP-G塗装	D	
アクリル	高圧ポリウレタン化粧板	E	
天井	LGS下地、不燃化粧PB t=9.5	F	
廻り縁	塩ビ製		
フィン	壁(洗面器部)：LGS下地、耐水合板 t=24の上、 抗汚性ポリウレタン化粧板 t=3.0	G	
	壁(手すり・SK部)：LGS下地、耐水合板 t=18の上、 抗汚性ポリウレタン化粧板 t=3.0	H	
	壁(小便器部)：LGS下地、耐水合板 t=12の上、 抗汚性ポリウレタン化粧板 t=3.0	I	
備考	天板：タイルシステム t=20 端部R付	J	
	汚塵部：HV専用防汚性ビニル床シート t=2.0		
	モップ掛け・雑巾掛け		
	床下点検口（汚物新設）（1階のみ）		
	天井点検口（新設）		
	木製扉 EP-G塗装		
	三方枠、遮断扉 EP-G塗装		
	換気扇木枠（新設）		



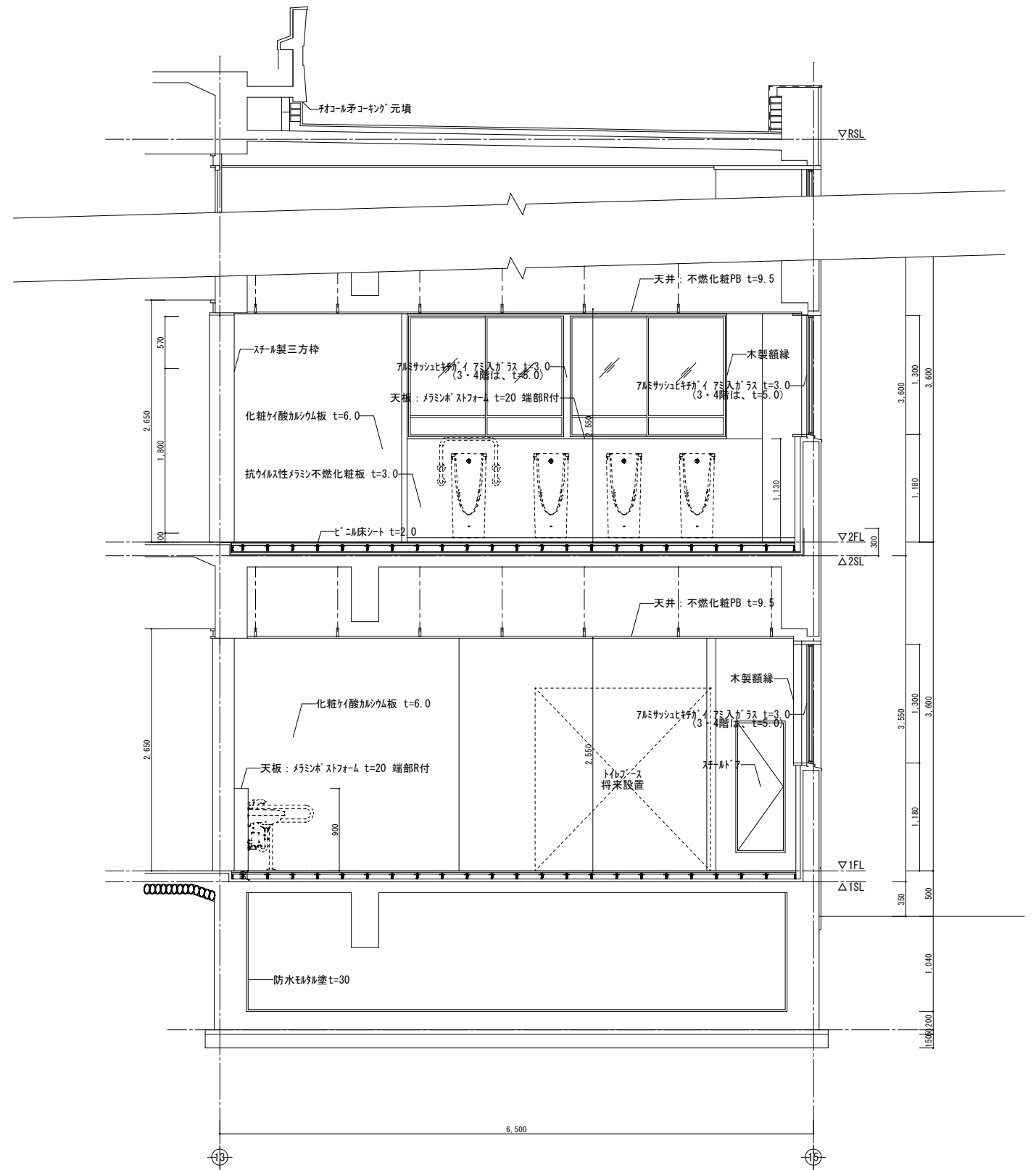
女子トイレ



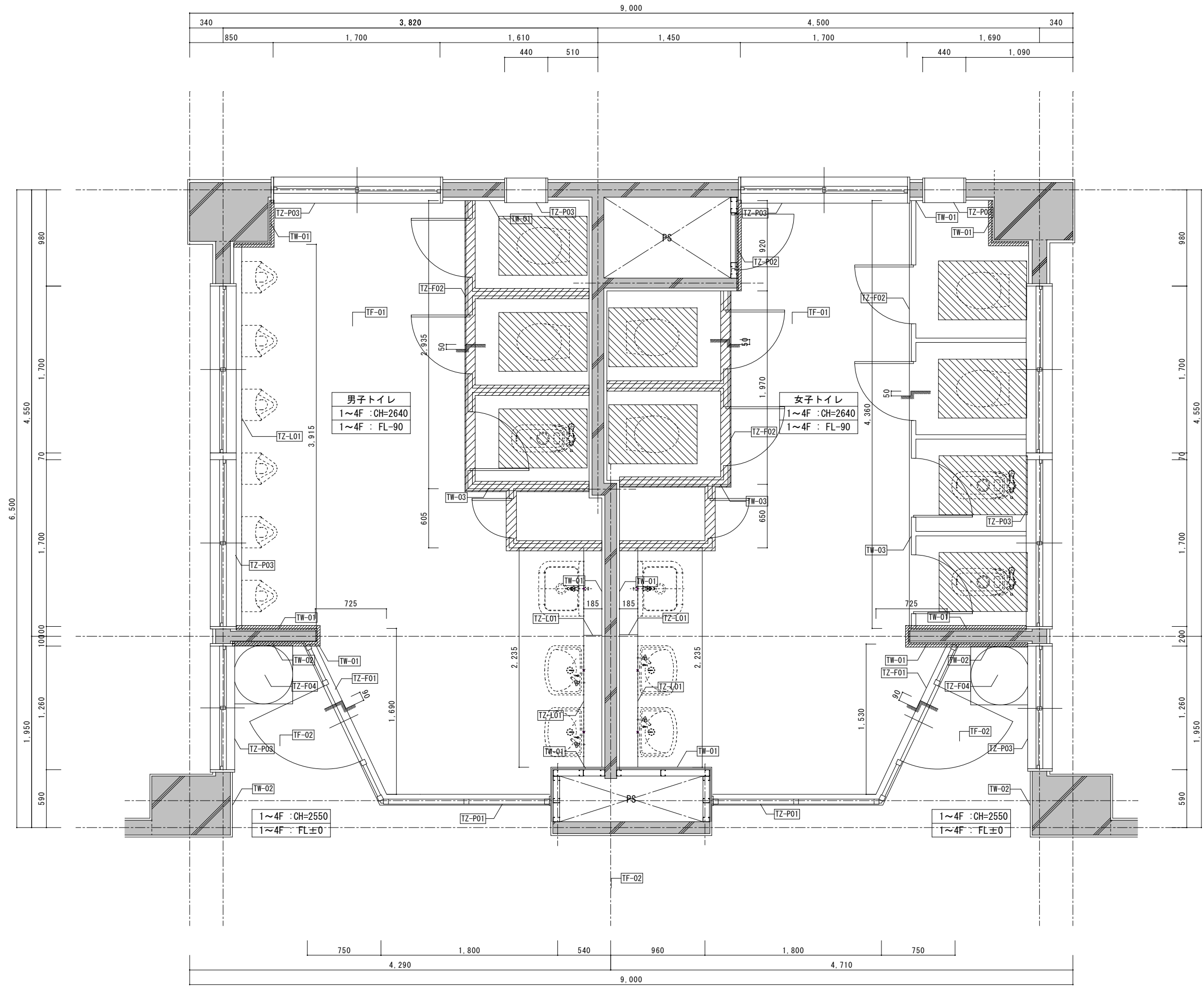
凡例
 撤去



断面矩計図 (改修前) S=1/30



断面矩計図 (改修後) S=1/30



床撤去凡例	撤去項目仕様
TF-01	24角磁器質モザイクタイル貼[モザイク下地共] (既存のまま)
TF-02	ビニル系タイル貼
TF-03	
特記事項	
[斜線]: 既存便器撤去床スラブ復旧部分を示す。	

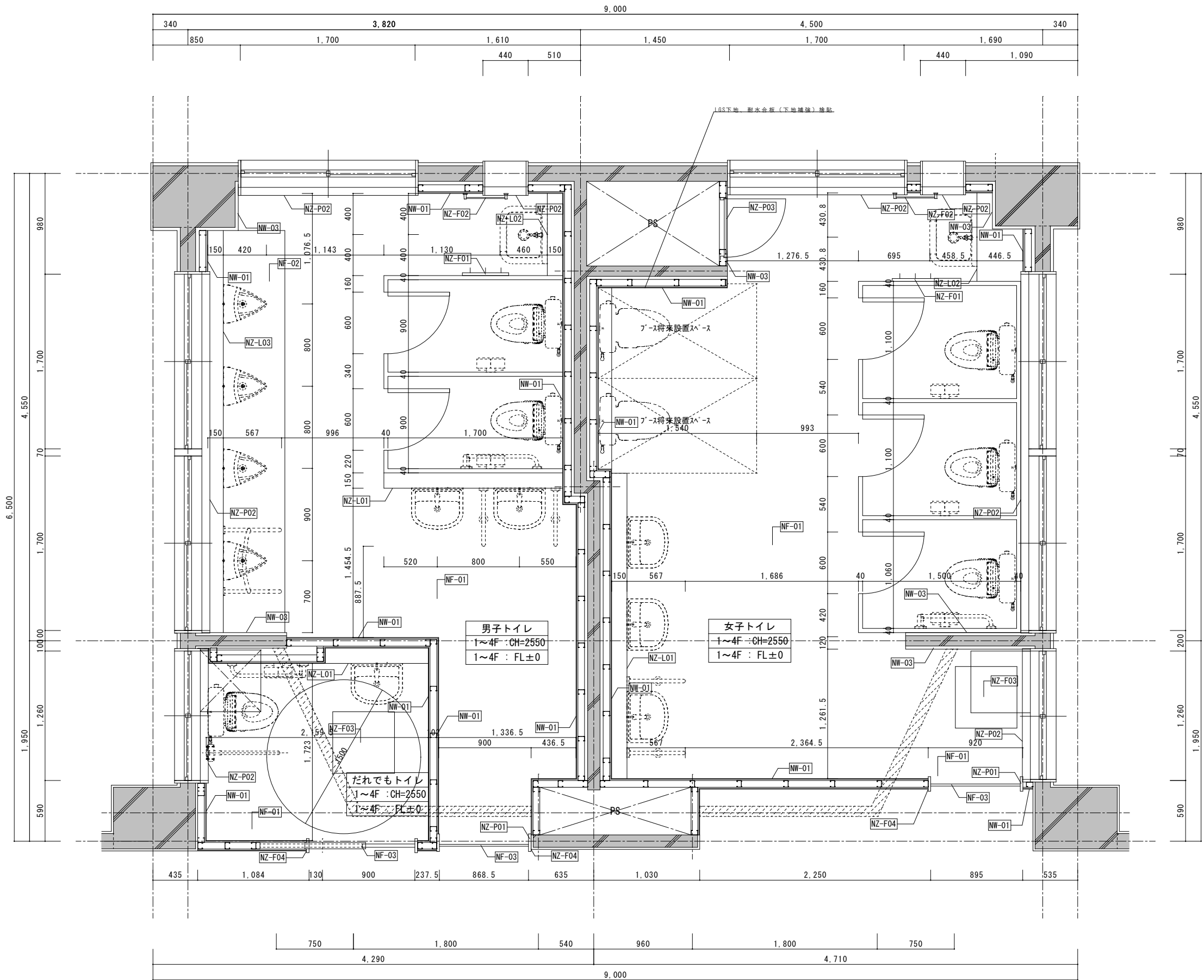
壁撤去凡例	撤去項目仕様
TW-01	半磁器110角色タイル[腰壁] (一部撤去)
TW-02	モザイクの上、EP塗装
TW-03	トイレース
特記事項	
[斜線]: 壁撤去範囲を示す。	
[点線]: タイル撤去範囲を示す。	

天井撤去凡例	撤去項目仕様
	※天井伏図参照

建具・造作物撤去凡例	撤去項目仕様
ライニング	TZ-L01 立上り: コンクリートブロック下地、タイル張り 天板: タイル張り
家具その他	TZ-F01 櫃: 人研ブロック 100x100
	TZ-F02 櫃: 人研ブロック 100x50 (既存のまま)
	TZ-F03
	TZ-F04 床下点検口枠共 (1階のみ)
	TZ-F05 掃除用具入れ
建具	TZ-P01 スチール製建具 (四方枠、欄間共)
	TZ-P02 鋼製建具
	TZ-P03 木製額縁

凡例	
[斜線]	コンクリート壁
[点線]	廊下部トイレ改修工事範囲外を示す
[○]	トイレ
CH=2,400	洗面名称を示す。
天	天井高さを示す。
±100	FLからの高さを示す。

普通教室棟 (東棟) 1~4階トイレ平面詳細図 (改修前) S=1/20



床新設凡例	新設項目仕様
NF-01	ビニル床シート t=2.0
NF-02	トイレ専用防滑性ビニル床シート t=2.0
NF-03	床見切材 (ステンレス)
特記事項	
床下地 1~4F: 600mm 'リンク' の上、置床	
100mm: 段差部ステンレス目地部分を示す。	

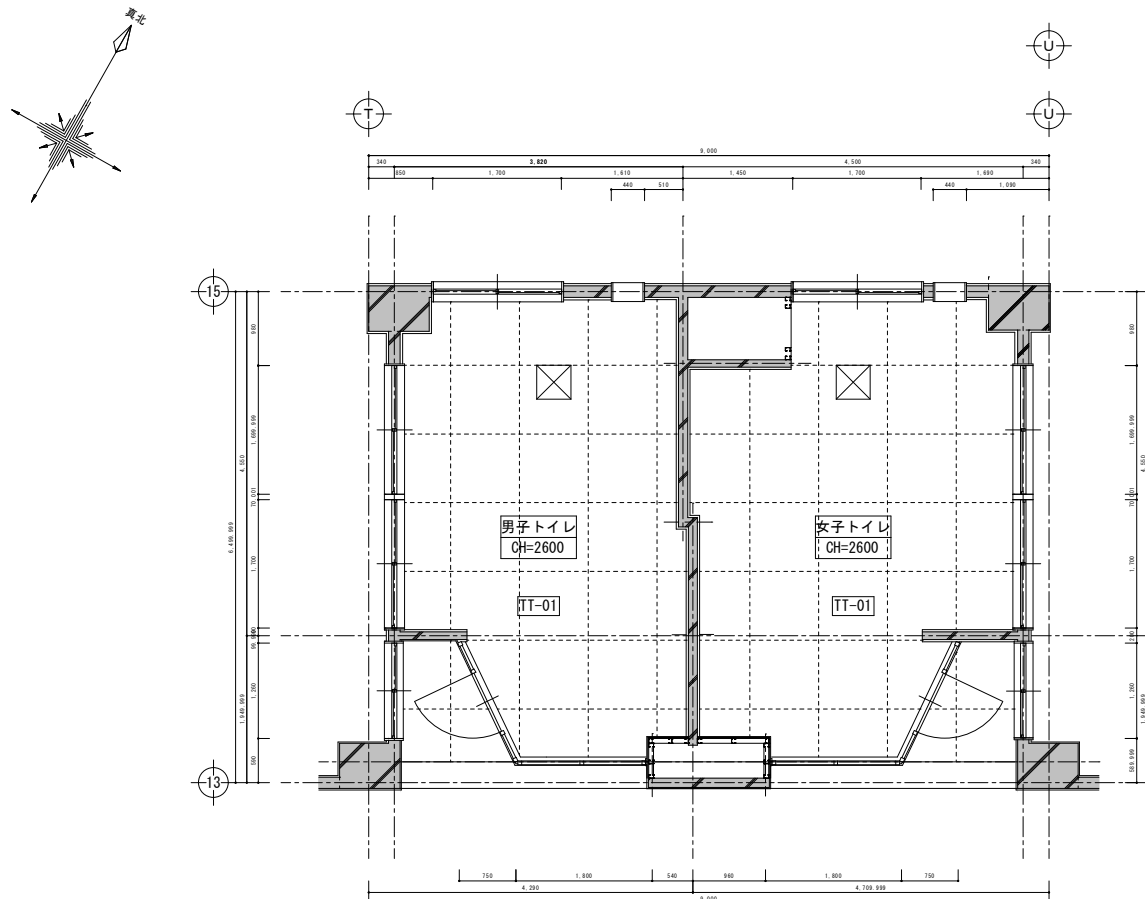
壁新設凡例	新設項目仕様
NW-01	耐水PB t=12.5+化粧珪酸カルシウム板 t=6.0
NW-02	
NW-03	既存壁下地処理の上、EP-G塗装 タイル部撤去もみれ補修の上EP-G塗装
特記事項	

建具・造作物新設凡例	新設項目仕様	
ラインナップ	NZ-L01	壁 (洗面器部): LGS下地、耐水合板 t=24の上、 抗ウイルス性珪酸カルシウム板 t=3.0 天板: フォーム ストフォーム t=20 端部R付
	NZ-L02	壁 (手すり・SK部): LGS下地、耐水合板 t=18の上、 抗ウイルス性珪酸カルシウム板 t=3.0 天板: フォーム ストフォーム t=20 端部R付
	NZ-L03	壁 (小便器部): LGS下地、耐水合板 t=12の上、 抗ウイルス性珪酸カルシウム板 t=3.0 天板: フォーム ストフォーム t=20 端部R付
家具その他	NZ-F01	タオル掛け (位置が開口部に干渉の場合は木製額縁下に設置)
	NZ-F02	雑巾掛け (位置が開口部に干渉の場合は木製額縁下に設置)
	NZ-F03	床下点検口 (1階のみ)
	NZ-F04	ビタグラフ
建具	NZ-P01	三方枠: 亜鉛メッキ鋼板 EP-G塗装
	NZ-P02	木製額縁 EP-G塗装 (新設)
	NZ-P03	ステンレス

凡例	
	コンクリート壁
	LGS下地壁
	廊下部トイレ改修工事範囲外を示す
	トイレ 部屋名称を示す。
	CH=2.400 天井高さを示す。
	FL=0 床からの高さを示す。

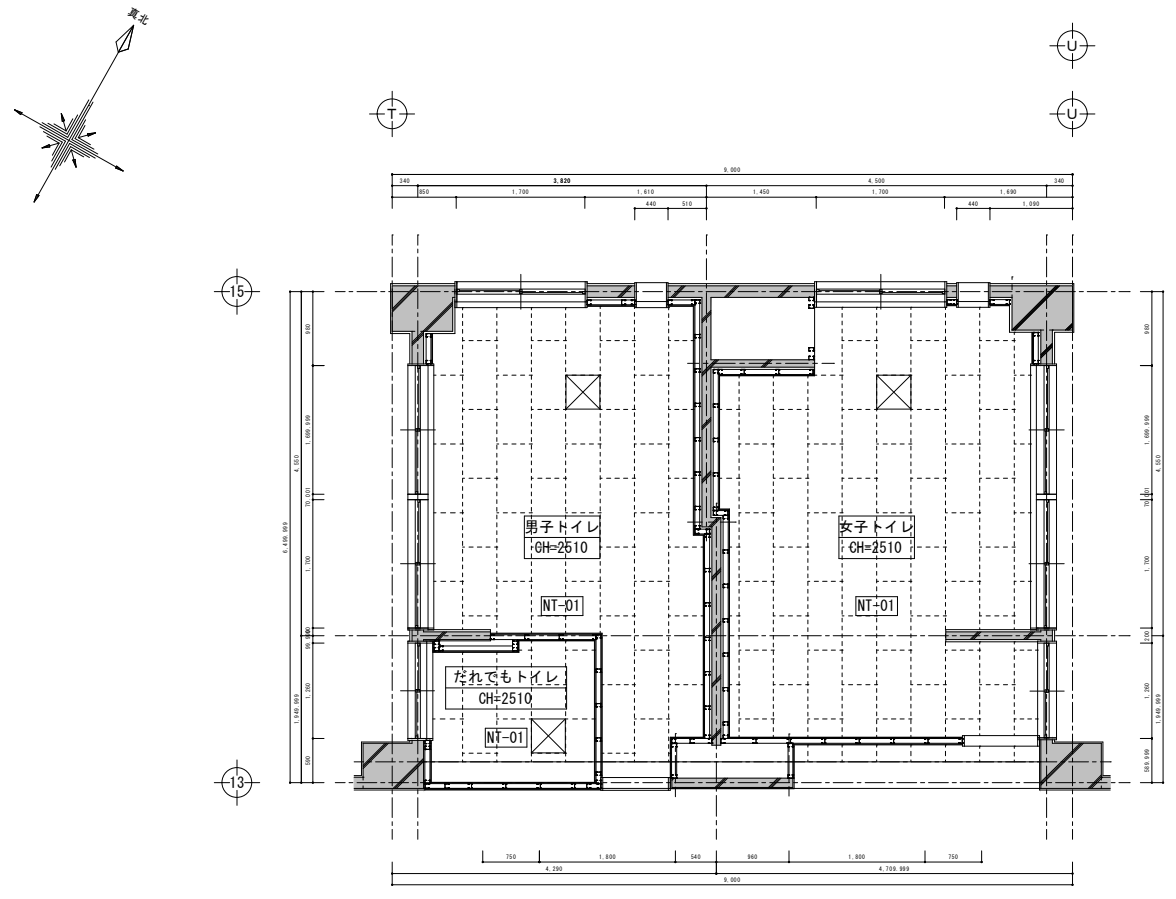
※廊下床見切り撤去後復旧: ビニル系タイル (t=2.0、既存同色) による復旧とする (300mm程度の範囲を見込む)

普通教室棟 (東棟) 1~4階トイレ平面詳細図 (改修後) S=1/20



普通教室棟（東棟） 1階トイレ天井伏図（改修前） S=1/50

天井撤去凡例	撤去項目仕様
TT-01	有孔フレキシブル [®] t=3.2〔軽量鉄骨下地、廻縁共〕
☒	450角 天井点検口 (7A仕様)



普通教室棟（東棟） 1階トイレ天井伏図（改修後） S=1/50

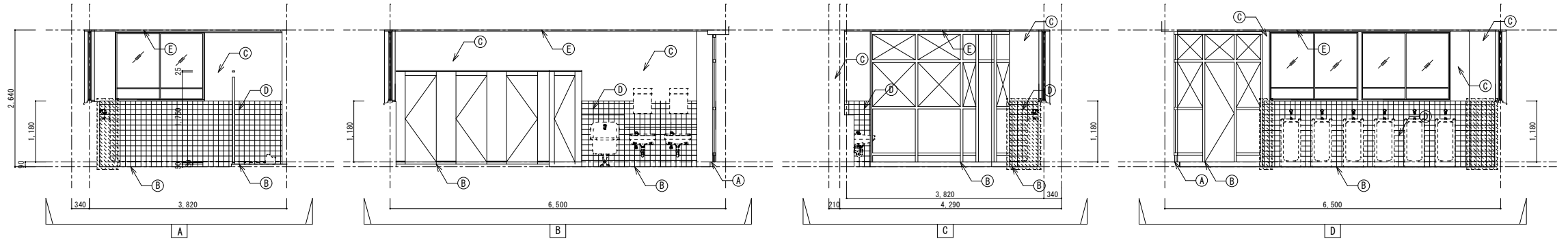
天井新設凡例	新設項目仕様
NT-01	不燃化粧PB t=9.5〔塩 [®] 製廻縁、軽量鉄骨下地〕
☒	450角 天井点検口 (7A仕様) ※設置位置は設備と調整

凡例

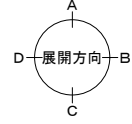
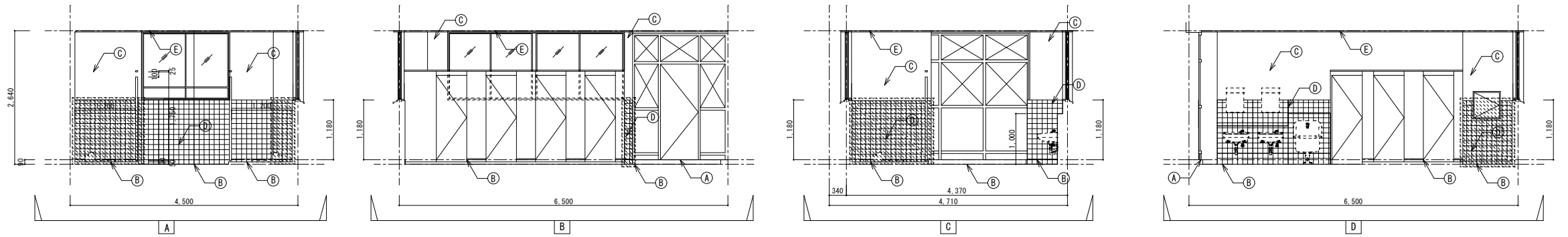
	コンクリート壁
	LGS下地壁
	事務室 部屋名称を示す。 CH=2,400 天井高さを示す。

男子トイレ

仕上凡例			
床	ビニル系タイル t=2 [磁器タイル下地、軽量コンクリート共]	既存のまま	A
壁	磁器タイル下地24角磁器タイル t=10貼	既存のまま	B
壁	磁器タイル下地110角タイル タイル撤去範囲を示す。	一部撤去	D
天井	有孔タイル t=3.2 EP-II	撤去	E
廻り縁	プラスチック	撤去	
ライティング	立上り：OB下地、タイル張り 天板：110角タイル	撤去	F
備考	トイレ	撤去	
	木製建具	撤去	
	木製扉	撤去	
	扉：入研アロック 100×100	撤去	
	扉：入研アロック 45×45	既存のまま	
	床下点検口移設（1階のみ）	撤去	
	掃除用具入れ	撤去	

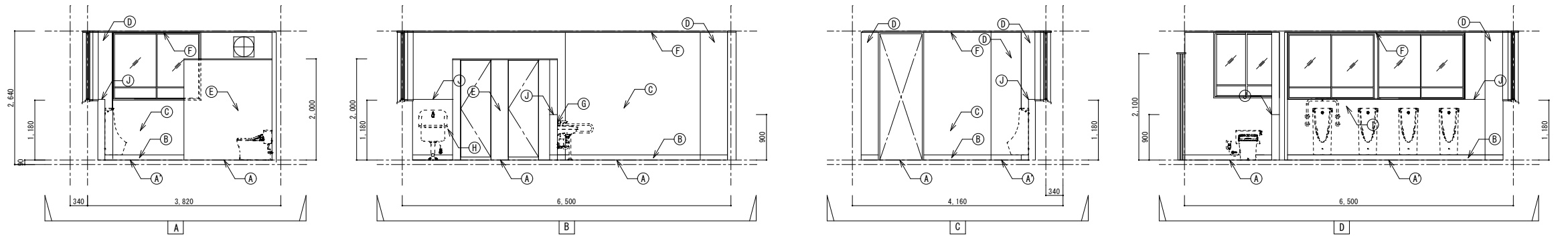


女子トイレ

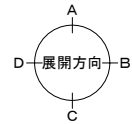
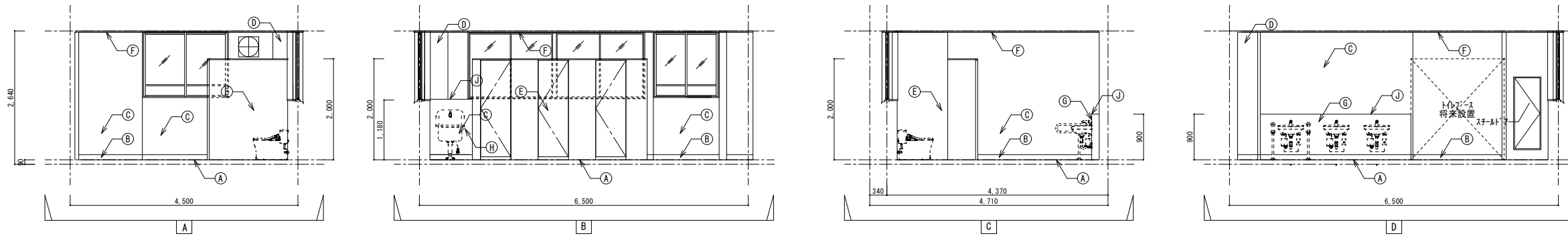


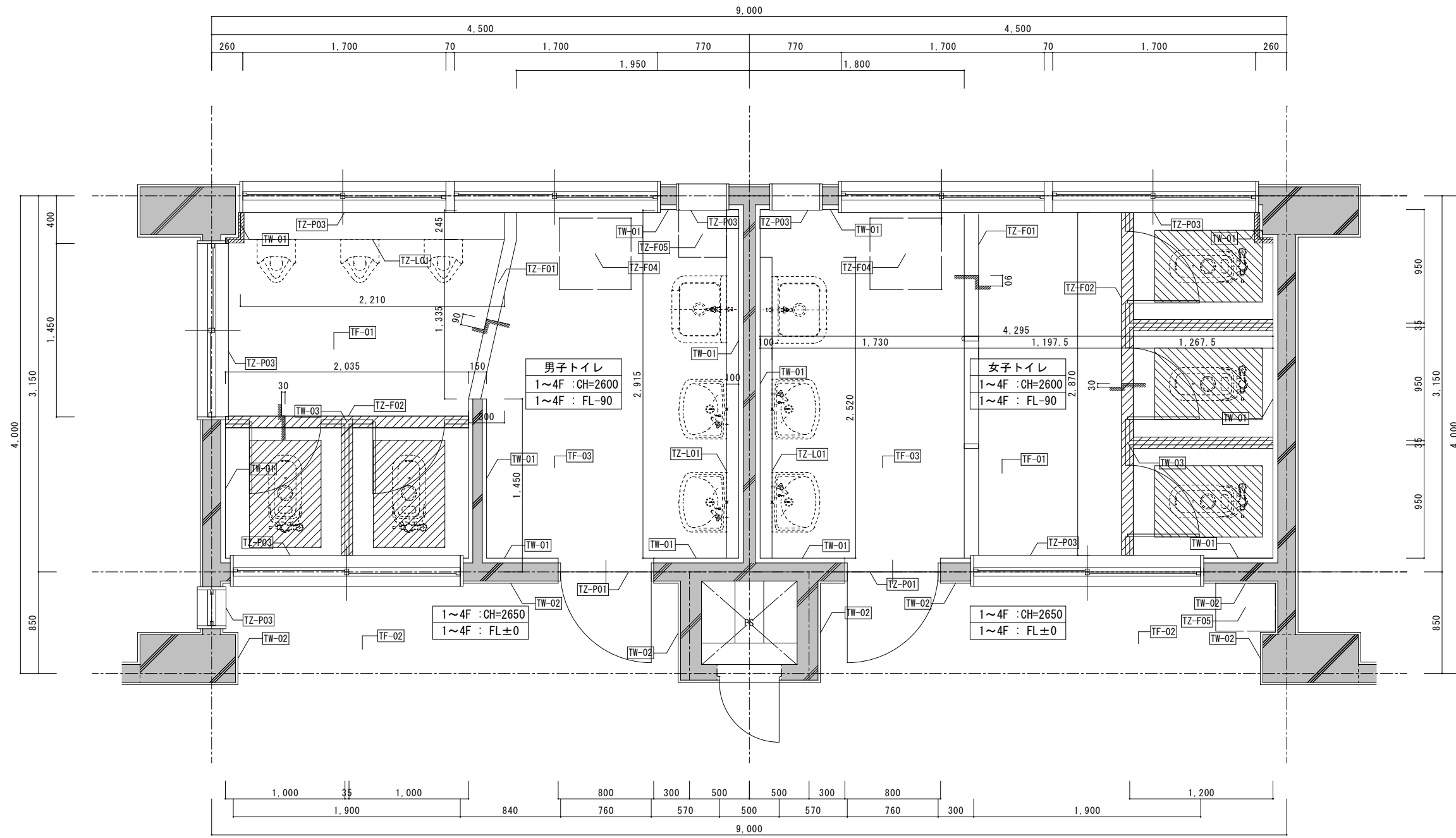
男子トイレ・だれでもトイレ

仕上凡例			
床	既存タイルの上、タイル「ワグ」 乾式二重床：パナチタイル t=20 + 合板 t=15の上、ビニル床シート t=2.0		A
床	既存タイルの上、タイル「ワグ」 乾式二重床：パナチタイル t=20 + 合板 t=15の上、タイル専用防滑性ビニル床シート t=2.0		A'
巾木	ビニル床シート巻上げ (壁見切り材押え) h=100		B
壁	LGS下地、耐水合板 t=12.5の上、 化粧珪藻土板 t=6.0		C
壁	タイル補修 + EP-G塗装 タイル撤去部もタイル補修の上EP-G塗装		D
ガラス	高圧タイル樹脂化粧板		E
天井	LGS下地、不燃化粧PB t=9.5		F
廻り縁	塩ビ製		
ライティング	壁(洗面器部)：LGS下地、耐水合板 t=24の上、 抗汚性タイル不燃化粧板 t=3.0		G
	壁(手すり・SK部)：LGS下地、耐水合板 t=18の上、 抗汚性タイル不燃化粧板 t=3.0		H
	壁(小便器部)：LGS下地、耐水合板 t=12の上、 抗汚性タイル不燃化粧板 t=3.0		I
	天板：タイルタイル t=20 端部R付		J
備考	汚塵部：タイル用防滑性ビニル床シート t=2.0		
	巾掛・雑巾掛け		
	床下点検口（7分枠新設）（1階のみ）		
	天井点検口（新設）		
	木製扉 EP-G塗装		
	三方枠：亜鉛付鋼板 EP-G塗装		
	換気扇木枠（新設）		



女子トイレ





床撤去凡例	撤去項目仕様
TF-01	24角磁器質モザイクタイル貼[モザイク下地共] (既存のまま)
TF-02	ビニル系タイル貼
TF-03	プラスチック床長尺物
特記事項	
[斜線]: 既存便器撤去床入り部 復旧部分を示す。	

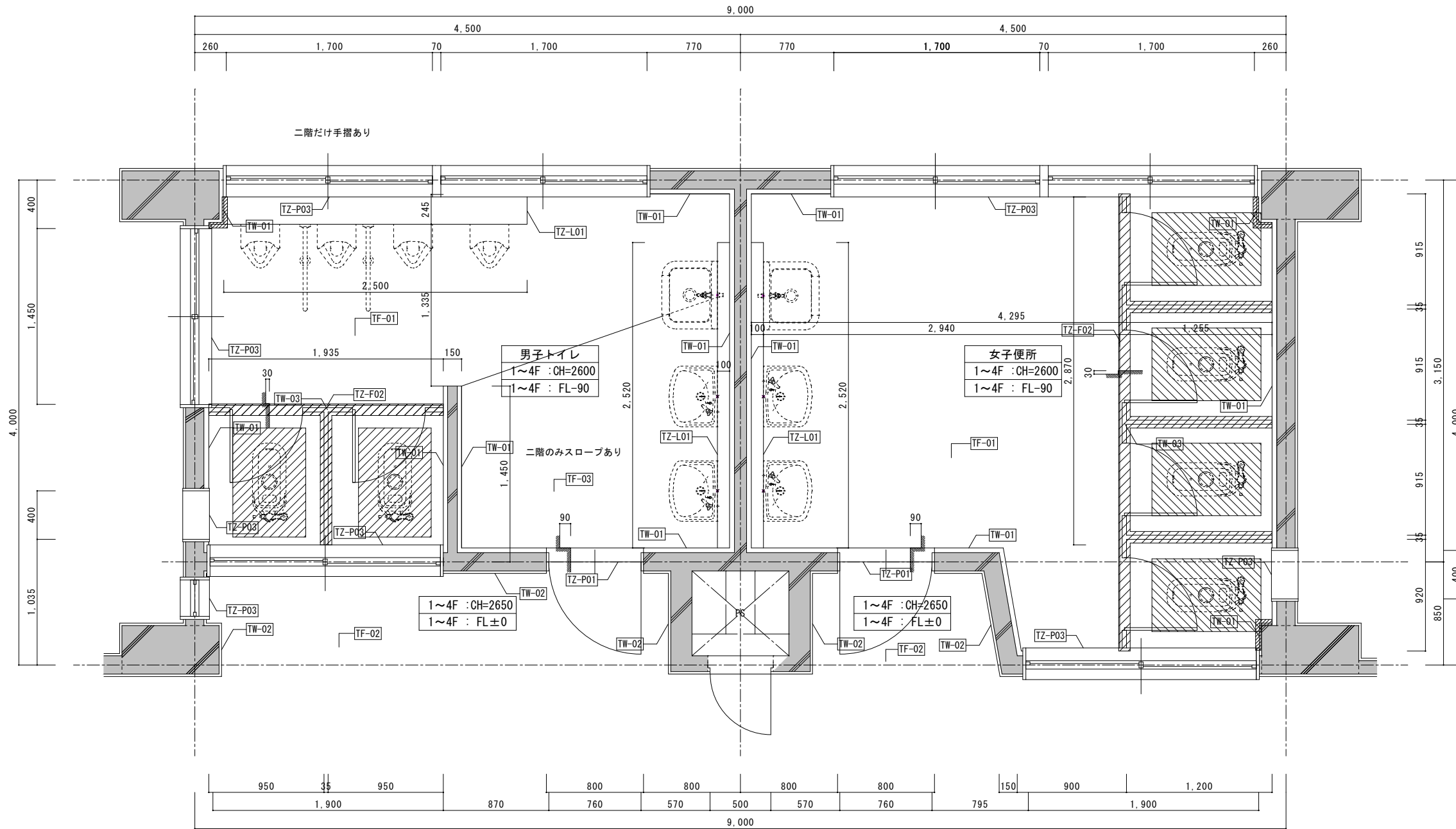
壁撤去凡例	撤去項目仕様
TW-01	半磁器110角色タイル[腰壁] (一部撤去)
TW-02	モザイク金網の上、EP塗装
TW-03	トイレース
特記事項	
[斜線]: 壁撤去範囲を示す。	
[斜線]: タイル撤去範囲を示す。	

天井撤去凡例	撤去項目仕様
※天井伏図参照	

建具・造作物撤去凡例	撤去項目仕様
ライニング	TZ-L01 立上り、コンクリートブロック下地、タイル張り 天板：タイル張り
家具その他	TZ-F01 櫃：人研ブロック 100x100
	TZ-F02 櫃：人研ブロック 100x50 (既存のまま)
	TZ-F03 床下点検口枠共 (1階のみ)
	TZ-F04 掃除用具入れ
	TZ-F05 スチール製建具 (四方枠、欄間共)
建具	TZ-P01 鋼製建具
	TZ-P02 鋼製建具
	TZ-P03 木製額縁

凡例	
[斜線]	コンクリート壁
[斜線]	廊下部トイレ改修工事範囲外を示す
[斜線]	トイレ 館名を示す。 CH=2,400 天井高さを示す。 +100 FLからの高さを示す。

管理特別教室棟 1階トイレ平面詳細図 (改修前) S=1/20



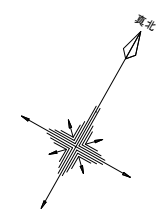
床撤去凡例	撤去項目仕様
TF-01	24角磁器質モザイクタイル貼[モザイク下地共] (既存のまま)
TF-02	ビニル系タイル貼
TF-03	シタ-コンクリート
特記事項	
〰〰〰: 既存便器撤去スラブ復旧部分を示す。	

壁撤去凡例	撤去項目仕様
TW-01	半磁器110角色タイル[腰壁] (一部撤去)
TW-02	モザイクの上、EP塗装
TW-03	トルブ-ス
特記事項	
〰〰〰: 壁撤去範囲を示す。	
〰〰〰〰: タイル撤去範囲を示す。	

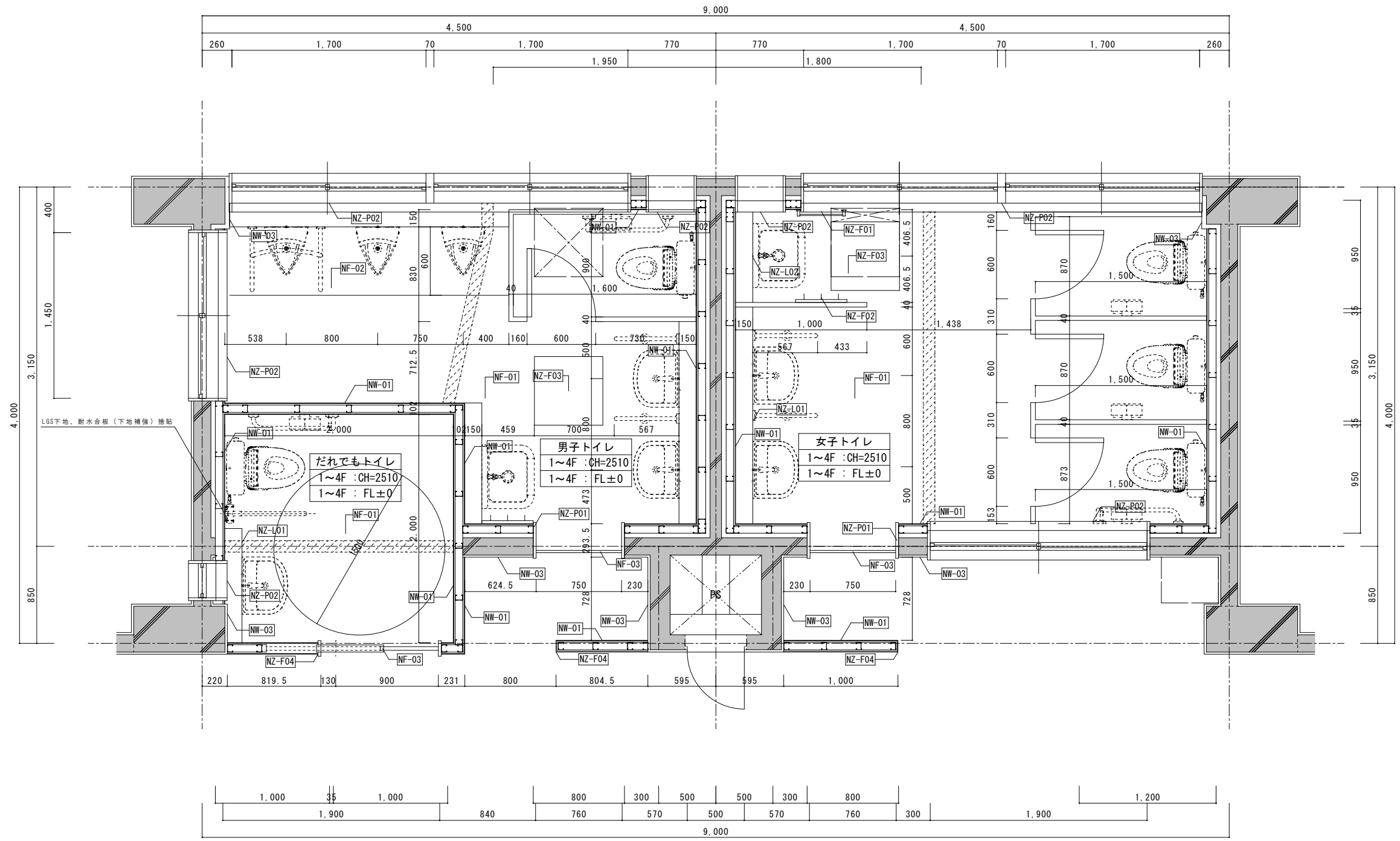
天井撤去凡例	撤去項目仕様
※天井伏図参照	

建具・造作物撤去凡例	撤去項目仕様
ライニング	TZ-L01 立上り: コンクリートブロック下地、タイル張り 天板: タイル張り
家具その他	TZ-F01 櫃: 人研ブロック 100x100
	TZ-F02 櫃: 人研ブロック 100x50 (既存のまま)
	TZ-F03 床下点検口枠共 (1階のみ)
	TZ-F05 掃除用具入れ
	TZ-P01 スチール製建具 (四方枠、欄間共)
建具	TZ-P02 鋼製建具
	TZ-P03 木製額縁

凡例	
〰〰〰	コンクリート壁
〰〰〰〰	廊下部トイレ改修工事範囲外を示す
〰〰〰	トイレ
CH=2,400	一部壁高さを示す。
FL=100	天井高さを示す。
FL=100	フロアの高さを示す。



管理特別教室棟 2、3階トイレ平面詳細図 (改修前) S=1/20



床新設凡例	新設項目仕様
NF-01	ビニル床シート t=2.0
NF-02	トイレ専用防滑性ビニル床シート t=2.0
NF-03	床見切材 (ステンレス製)
特記事項	
床下地 珪砂レンガの上、置床	
※この工種: 段差部ステンレス目地部分を示す。	

壁新設凡例	新設項目仕様
NW-01	耐水PB t=12.5+化粧珪砂レンガ板 t=6.0
NW-02	
NW-03	既存壁下地処理の上、EP-G塗装 タイル部撤去タイル補修の上EP-G塗装
特記事項	

建具・造作物新設凡例	新設項目仕様	
ライニング	NZ-L01	壁 (洗面器部): LGS下地、耐水合板 t=24の上、 抗カビ性珪砂レンガ化粧板 t=3.0 天板: フォミノフォーム t=20 端部R付
	NZ-L02	壁 (手すり・SK部): LGS下地、耐水合板 t=18の上、 抗カビ性珪砂レンガ化粧板 t=3.0 天板: フォミノフォーム t=20 端部R付
	NZ-L03	壁 (小便器部): LGS下地、耐水合板 t=12の上、 抗カビ性珪砂レンガ化粧板 t=3.0 天板: フォミノフォーム t=20 端部R付
家具その他	NZ-F01	モップ掛け
	NZ-F02	雑巾掛け (位置が開閉口に干渉の場合は木製額縁下に設置)
	NZ-F03	床下点検口 (1階のみ)
	NZ-F04	ビクトリア
建具	NZ-P01	三方枠: 亜鉛メッキ鋼板 EP-G塗装
	NZ-P02	木製額縁 EP-G塗装 (新設)
	NZ-P03	スチール7

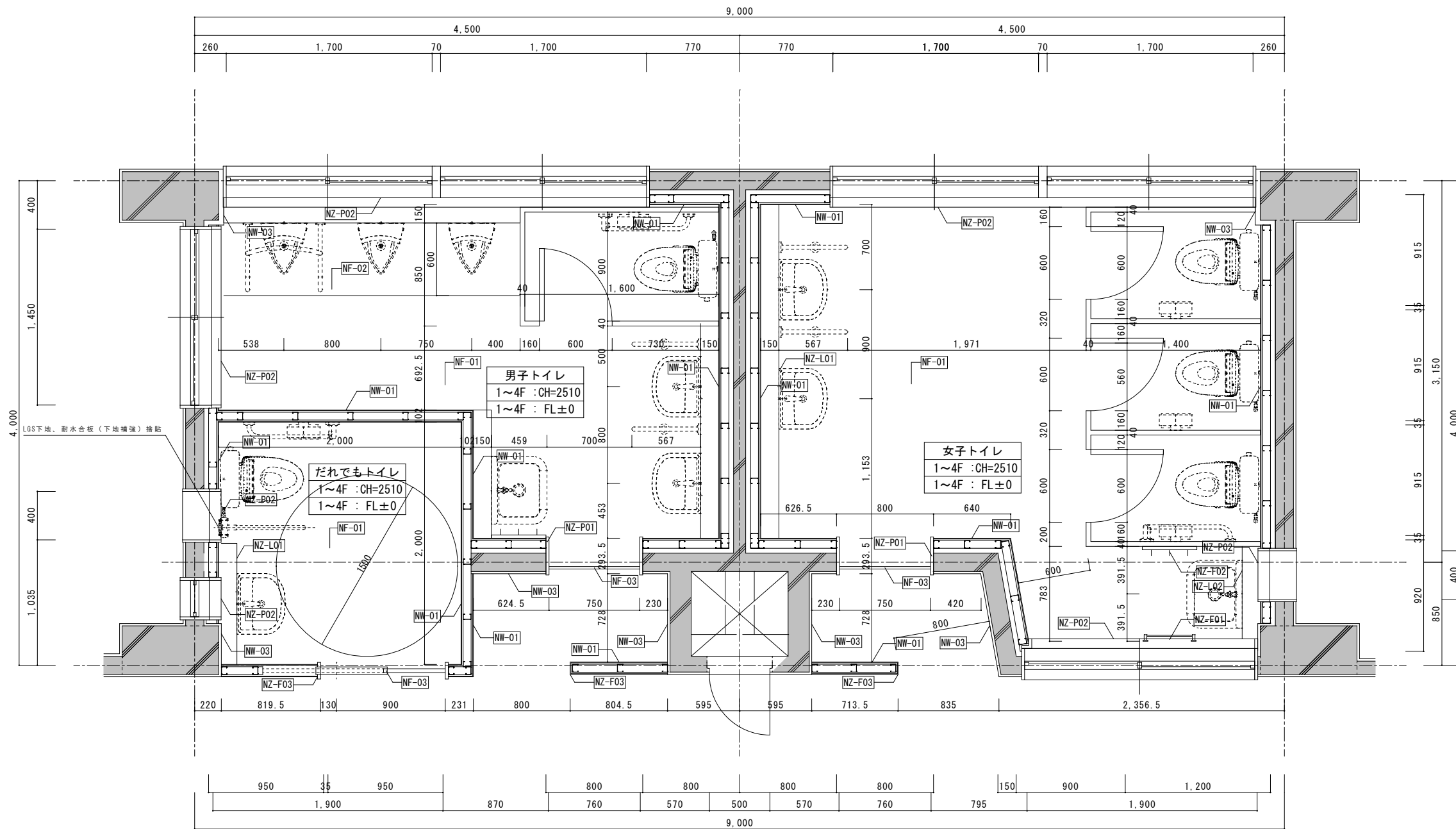
凡例

	コンタクト壁
	LGS下地壁
	廊下部トイレ改修工事範囲外を示す

トイレ 部屋名称を示す。
 CH=2,400 天井高さを示す。
 FL±100 FLからの高さを示す。

※廊下床見切り部撤去後: ビニル系タイル(t=2.0、既存同色)による復旧とする(300mm程度の範囲を見込む)
 ※男女とも入り口の開口が750となっているが、工事前に事前調査を行い800確保できるか担当監督員と協議すること

管理特別教室棟 1階トイレ平面詳細図 (改修後) S=1/20



床新設凡例	新設項目仕様
NF-01	ビニル床シート t=2.0
NF-02	トイレ専用防滑性ビニル床シート t=2.0
NF-03	床見切材 (ステンレス製)
特記事項	
床下地 2~3F:セメントリソラの上、置床	
※この図: 段差部ステンレス目地部分を示す。(2Fフロア部分のみ)	

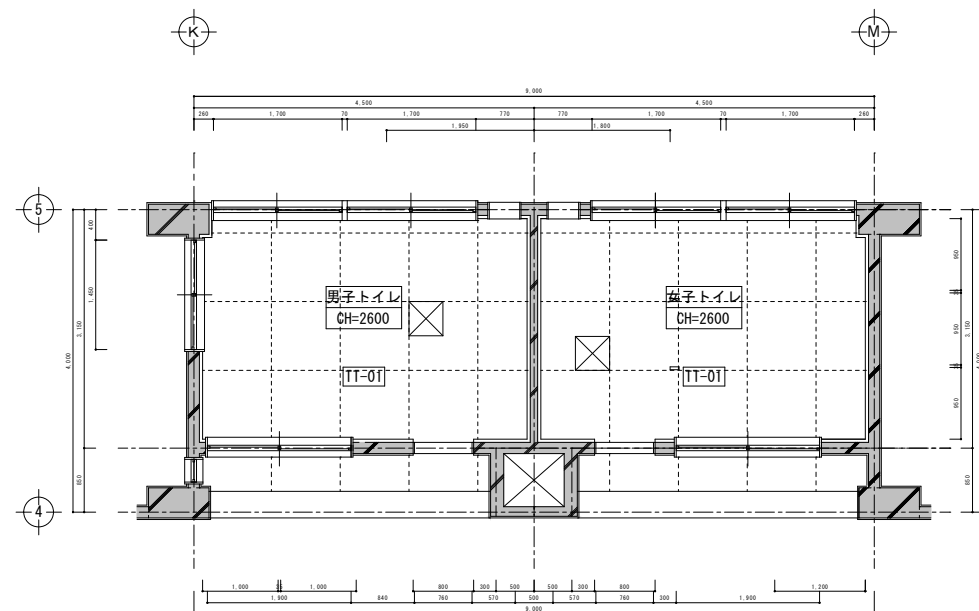
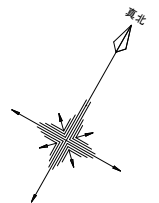
壁新設凡例	新設項目仕様
NW-01	耐水PB t=12.5+化粧珪酸カルシウム板 t=6.0
NW-02	
NW-03	既存壁下地処理の上、EP-G塗装 タイル部撤去もみれ補修の上EP-G塗装
特記事項	

建具・造作物新設凡例	新設項目仕様	
ライニング	NZ-L01	壁(洗面器部): LGS下地、耐水合板 t=24の上、 抗カビ性珪酸系珪酸化粧板 t=3.0 天板: 珪酸系珪酸フォーム t=20 端部R付
	NZ-L02	壁(手すり・SK部): LGS下地、耐水合板 t=18の上、 抗カビ性珪酸系珪酸化粧板 t=3.0 天板: 珪酸系珪酸フォーム t=20 端部R付
	NZ-L03	壁(小便器部): LGS下地、耐水合板 t=12の上、 抗カビ性珪酸系珪酸化粧板 t=3.0 天板: 珪酸系珪酸フォーム t=20 端部R付
家具その他	NZ-F01	マット掛け (位置が開口部に干渉の場合は木製額縁下に設置)
	NZ-F02	雑巾掛け (位置が開口部に干渉の場合は木製額縁下に設置)
	NZ-F03	ビタゲラ
建具	NZ-P01	三方枠: 亜鉛メッキ鋼板 EP-G塗装
	NZ-P02	木製額縁 EP-G塗装(新設)
	NZ-P03	ステンレス

凡例	
	コンクリート壁
	LGS下地壁
	廊下部トイレ改修工事範囲外を示す
	トイレ 部屋名を示す。
	CH=2.400 天井高を示す。
	+100 FLからの高さを示す。

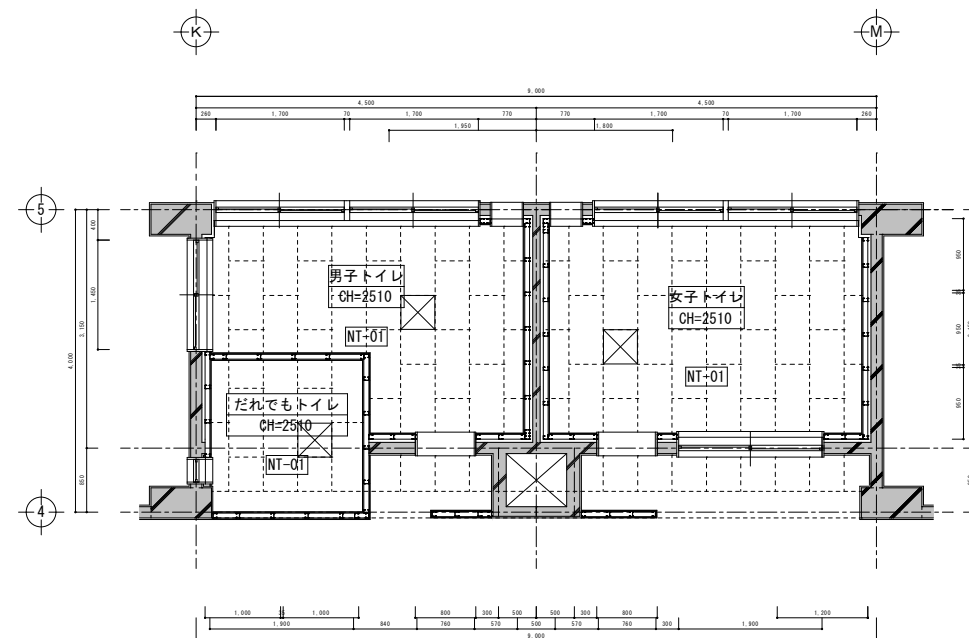
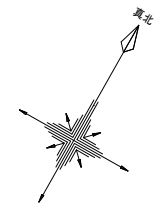
※廊下床見切り部撤去後: ビニル系タイル(t=2.0、既存同色)による復旧とする(300mm程度の範囲を見込む)
 ※男女とも入り口の開口が750となっているが、
 工事前に事前調査を行い800確保できるかどうか担当監督員と協議すること

管理特別教室棟 2、3階トイレ平面詳細図 (改修後) S=1/20



管理特別教室棟 1階トイレ天井伏図（改修前） S=1/50

天井撤去凡例	撤去項目仕様
TT-01	フレッシュ'ス'-'ド' t=4[軽量鉄骨下地、廻縁共]
☒	450角 天井点検口(7#枠)

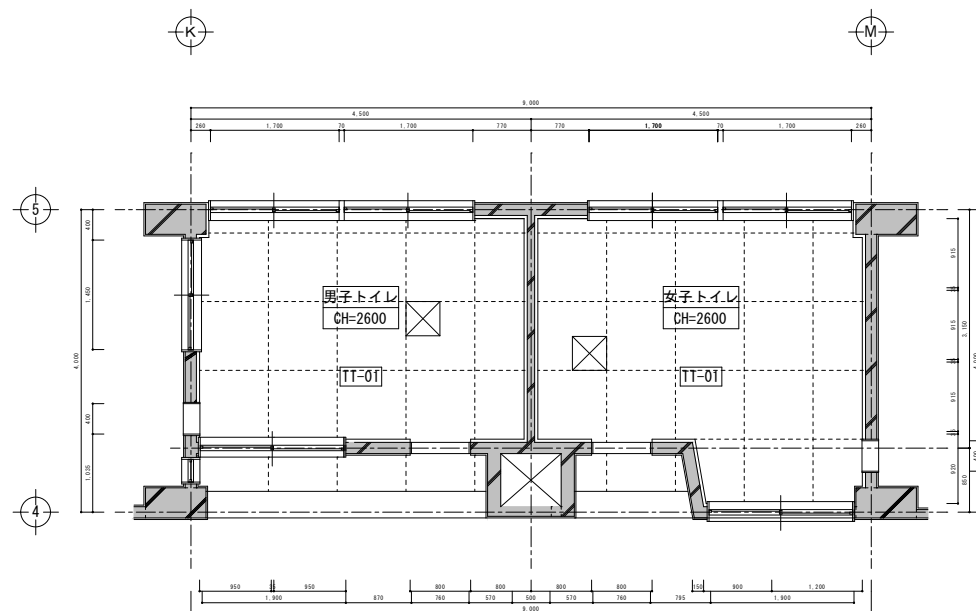
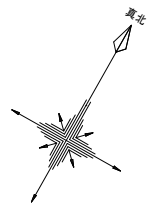


管理特別教室棟 1階トイレ天井伏図（改修後） S=1/50

天井新設凡例	新設項目仕様
NT-01	不燃化粧PB t=9.5[塩t'製廻縁、軽量鉄骨下地]
☒	450角 天井点検口(7#枠) ※設置位置は設備と調整

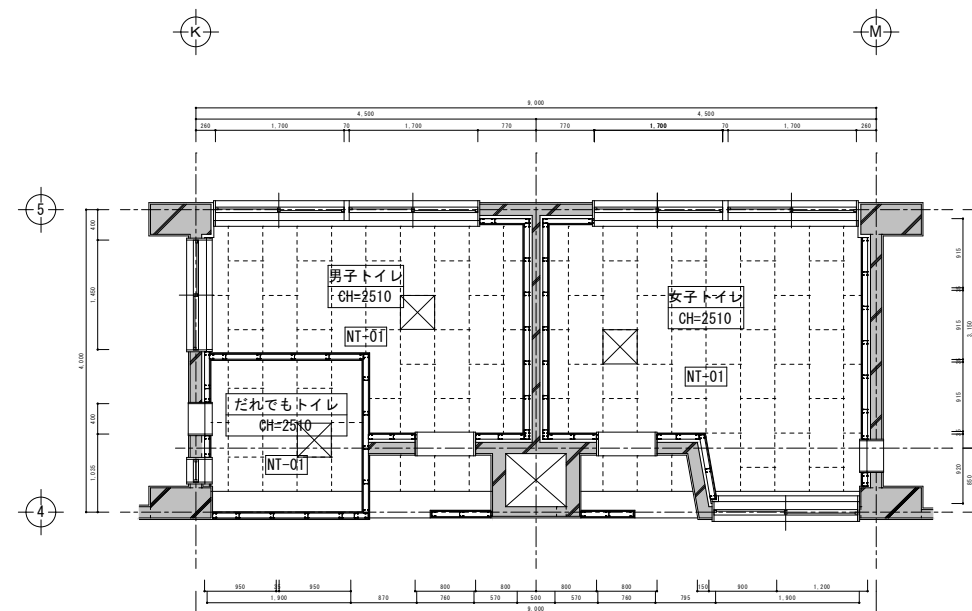
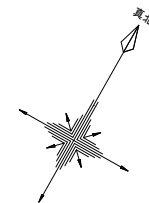
凡例

	コンクリート壁
	LGS下地壁
	事務室 部屋名称を示す。 CH=2,400 天井高さを示す。



管理特別教室棟 2、3階トイレ天井伏図（改修前） S=1/50

天井撤去凡例	撤去項目仕様
TT-01	フレッシュ'ス'-'ト' t=4[軽量鉄骨下地、廻縁共]
☒	450角 天井点検口 (7Aミ枠)



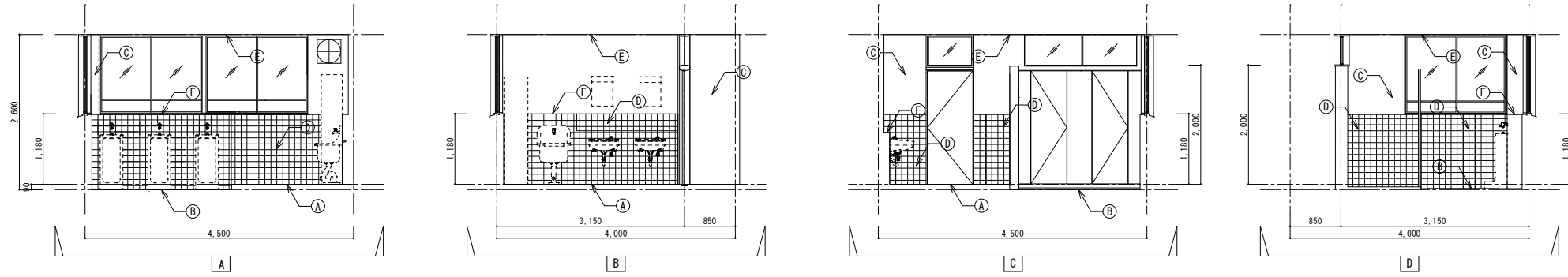
管理特別教室棟 2、3階トイレ天井伏図（改修後） S=1/50

天井新設凡例	新設項目仕様
NT-01	不燃化粧PB t=9.5[塩ビ製廻縁、軽量鉄骨下地]
☒	450角 天井点検口 (7Aミ枠) ※設置位置は設備と調整

凡例

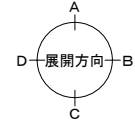
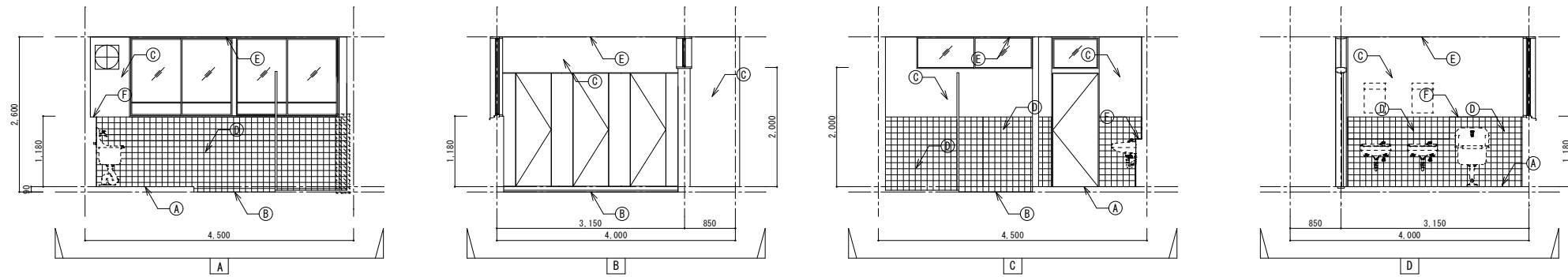
	コンクリート壁
	LGS下地壁
	事務室 部屋名称を示す。 CH=2,400 天井高さを示す。

男子トイレ

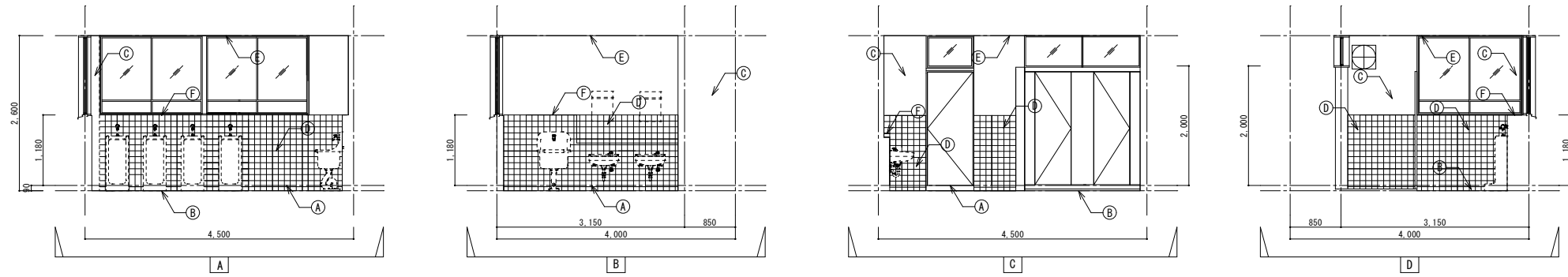


仕上凡例	仕様	取扱い	備考
床	ビニル系タイル貼 t=2 [タイル塗替え下地、軽量コンクリート床]	既存のまま	A
壁	24角磁器質タイル貼 [タイル塗替え下地共] タイル塗金線 EP塗装	既存のまま	B
腰壁	半磁器100角色タイル タイル貼付範囲を示す。	一部撤去	D
天井	フック付 t=3.2 VP塗装 [軽鉄下地共] (72x121含有材)	撤去	E
廻り縁	塩ビ製	撤去	
サッシ	立上り: OB下地、タイル張り 天板: 半磁器100角色タイル	撤去	F
備考	トイレ	撤去	
	木製建具	撤去	
	木製扉	撤去	
	欄干: 人研アロケ 100×100	撤去	
	欄干: 人研アロケ 45×45	既存のまま	
	床下点検口移設 (1階のみ)	撤去	
	掃除用具入れ	撤去	

女子トイレ

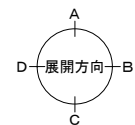
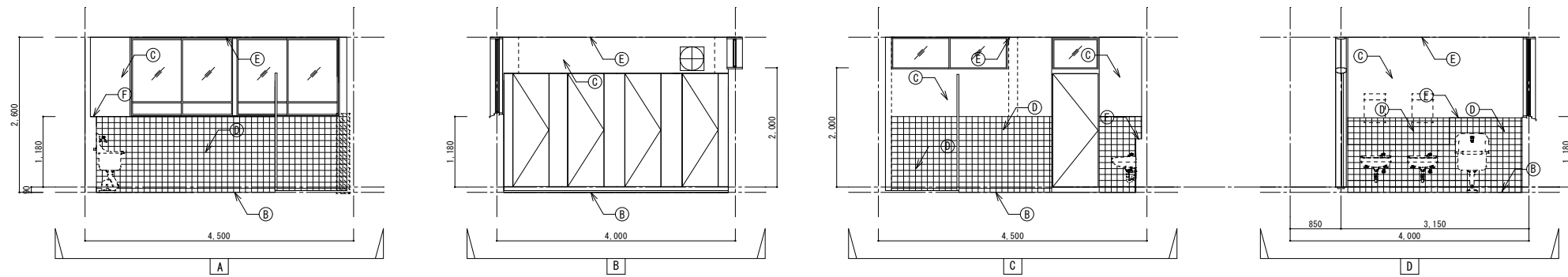


男子トイレ・だれでもトイレ



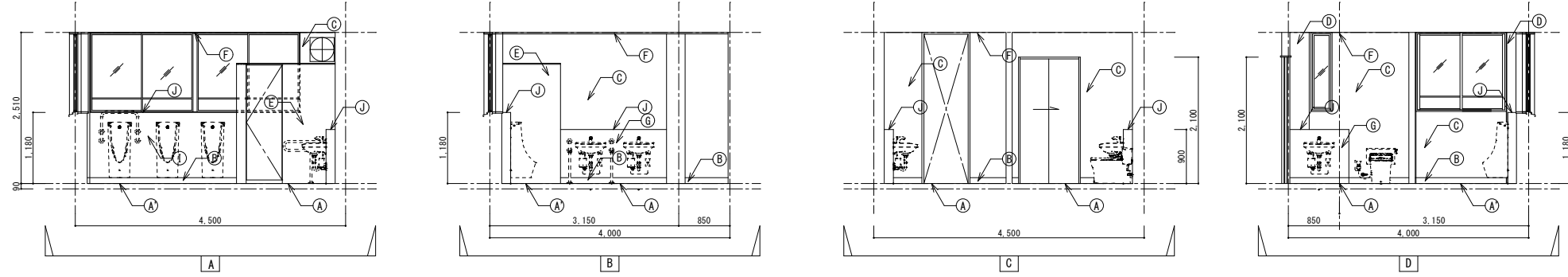
仕上凡例	仕様	取扱い	備考
床	ビニル系タイル貼 t=2 [タイル塗替え下地、軽量コンクリート床]	既存のまま	A
壁	24角磁器質タイル貼 [タイル塗替え下地共] タイル塗金線 EP塗装	既存のまま	B
腰壁	半磁器100角色タイル タイル貼付範囲を示す。	既存のまま	D
天井	フック付 t=3.2 VP塗装 [軽鉄下地共] (72x121含有材)	撤去	E
廻り縁	塩ビ製	撤去	
サッシ	立上り: OB下地、タイル張り 天板: 半磁器100角色タイル	撤去	F
備考	トイレ	撤去	
	木製建具	撤去	
	木製扉	撤去	
	欄干: 人研アロケ 100×100	撤去	
	欄干: 人研アロケ 45×45	既存のまま	
	掃除用具入れ	撤去	

女子トイレ

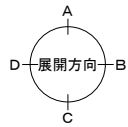
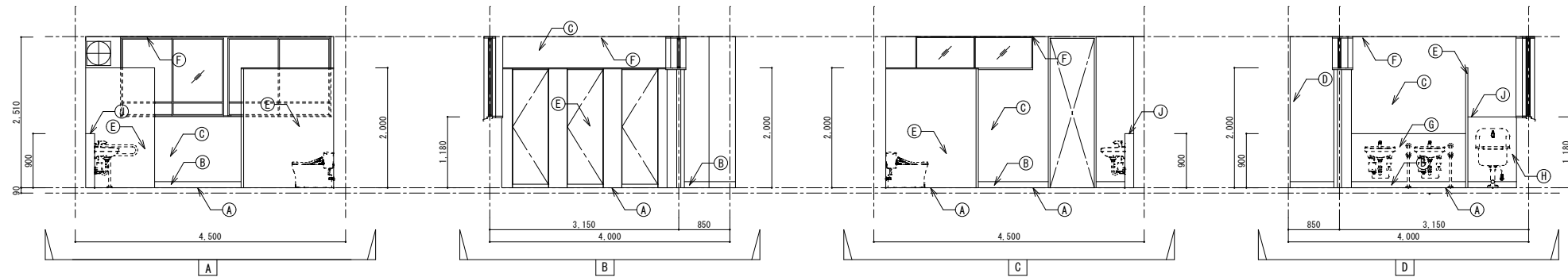


男子トイレ

仕上凡例		
床	既存9/16の上、4771ペリテ 乾式二重床：α-チタノド t=20 + 合板 t=15の上、ビニ床シート t=2.0	A
	既存9/16の上、4771ペリテ 乾式二重床：α-チタノド t=20 + 合板 t=15の上、H/W専用防滑性ビニ床シート t=2.0	A'
巾木	ビニ床シート巻上げ (壁見切り材押入) h=100	B
壁	LGS下地、耐水PB t=12.5の上、 化粧珪酸カルシウム板 t=6.0	C
	珪酸珪酸補修 + EP-G塗装 珪酸珪酸除去珪酸珪酸補修の上EP-G塗装	D
アーム材	高圧珪酸珪酸化粧板	E
天井	LGS下地、不燃化粧PB t=9.5	F
廻り縁	塩ビ製	
パイン材	壁(洗面器部)：LGS下地、耐水合板 t=24の上、 抗カビ珪酸珪酸不燃化粧板 t=3.0	G
	壁(手すり・SK部)：LGS下地、耐水合板 t=18の上、 抗カビ珪酸珪酸不燃化粧板 t=3.0	H
	壁(小便器部)：LGS下地、耐水合板 t=12の上、 抗カビ珪酸珪酸不燃化粧板 t=3.0	I
備考	天板：珪酸珪酸フォーム t=20 端部R付	J
	汚垂部：H/W用防滑性ビニ床シート t=2.0	
	モップ掛け・雑巾掛け	
	床下点検口(7号枠新設) (1階のみ)	
	天井点検口(新設)	
	木製廻り縁 EP-G塗装	
	三方枠・蓋板付化粧板 EP-G塗装	
	換気扇木枠(新設)	

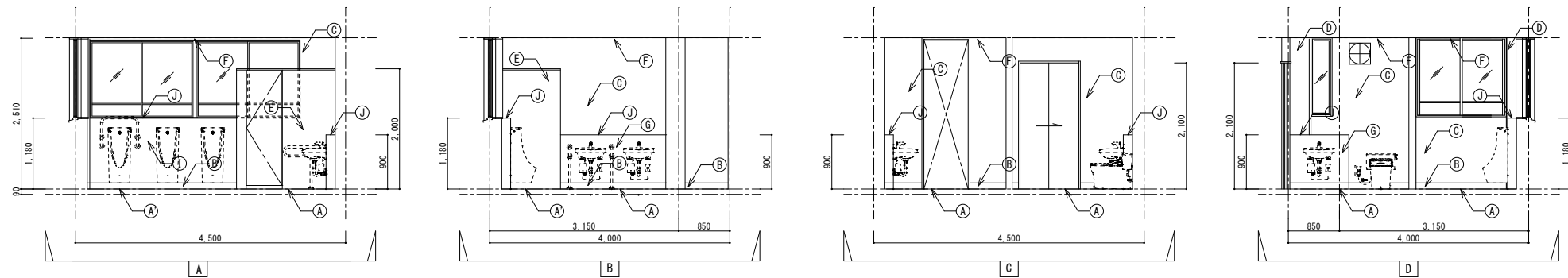


女子トイレ

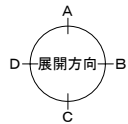
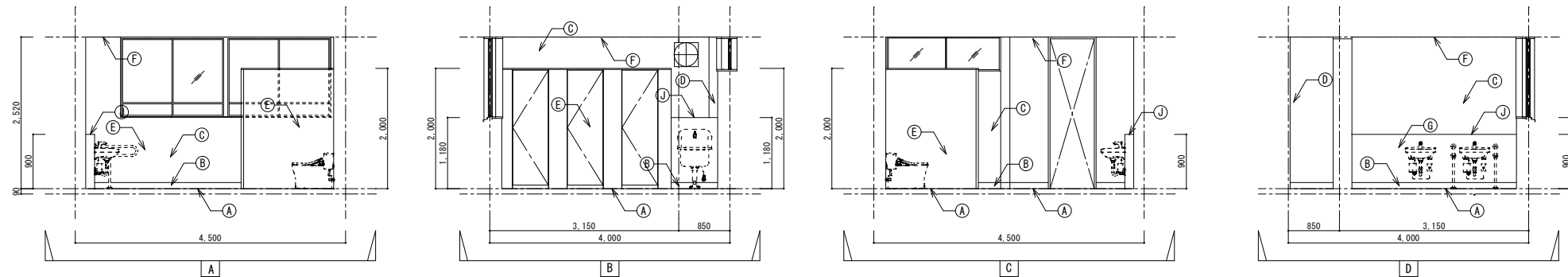



男子トイレ・だれでもトイレ

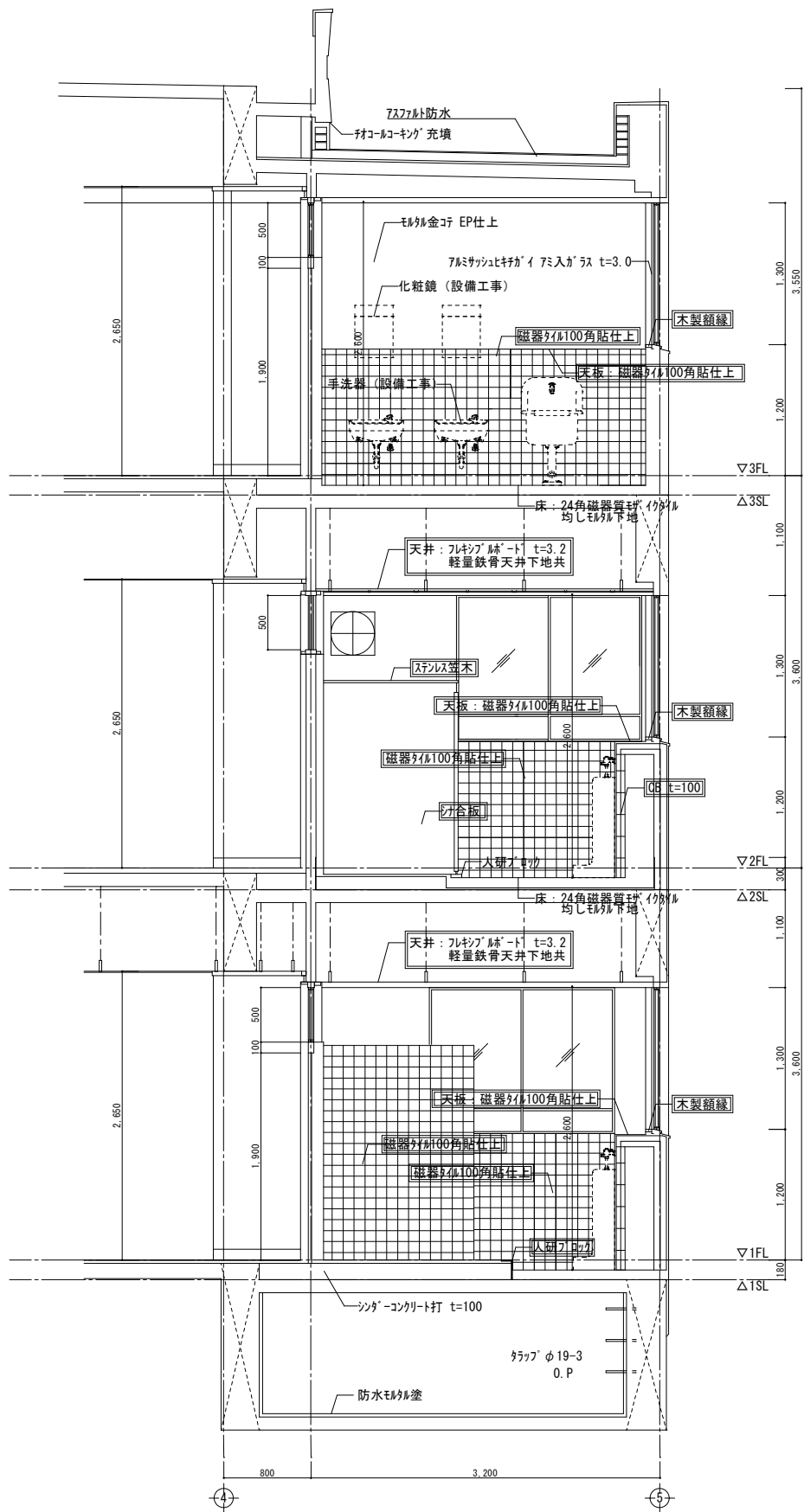
仕上凡例		
床	既存9/16の上、4771ペリテ 乾式二重床：α-チタノド t=20 + 合板 t=15の上、ビニ床シート t=2.0	A
	既存9/16の上、4771ペリテ 乾式二重床：α-チタノド t=20 + 合板 t=15の上、H/W専用防滑性ビニ床シート t=2.0	A'
巾木	ビニ床シート巻上げ (壁見切り材押入) h=100	B
壁	LGS下地、耐水PB t=12.5の上、 化粧珪酸カルシウム板 t=6.0	C
	珪酸珪酸補修 + EP-G塗装 珪酸珪酸除去珪酸珪酸補修の上EP-G塗装	D
アーム材	高圧珪酸珪酸化粧板	E
天井	LGS下地、不燃化粧PB t=9.5	F
廻り縁	塩ビ製	
パイン材	壁(洗面器部)：LGS下地、耐水合板 t=24の上、 抗カビ珪酸珪酸不燃化粧板 t=3.0	G
	壁(手すり・SK部)：LGS下地、耐水合板 t=18の上、 抗カビ珪酸珪酸不燃化粧板 t=3.0	H
	壁(小便器部)：LGS下地、耐水合板 t=12の上、 抗カビ珪酸珪酸不燃化粧板 t=3.0	I
備考	天板：珪酸珪酸フォーム t=20 端部R付	J
	汚垂部：H/W用防滑性ビニ床シート t=2.0	
	モップ掛け・雑巾掛け	
	床下点検口(7号枠新設) (1階のみ)	
	天井点検口(新設)	
	木製廻り縁 EP-G塗装	
	三方枠・蓋板付化粧板 EP-G塗装	
	換気扇木枠(新設)	



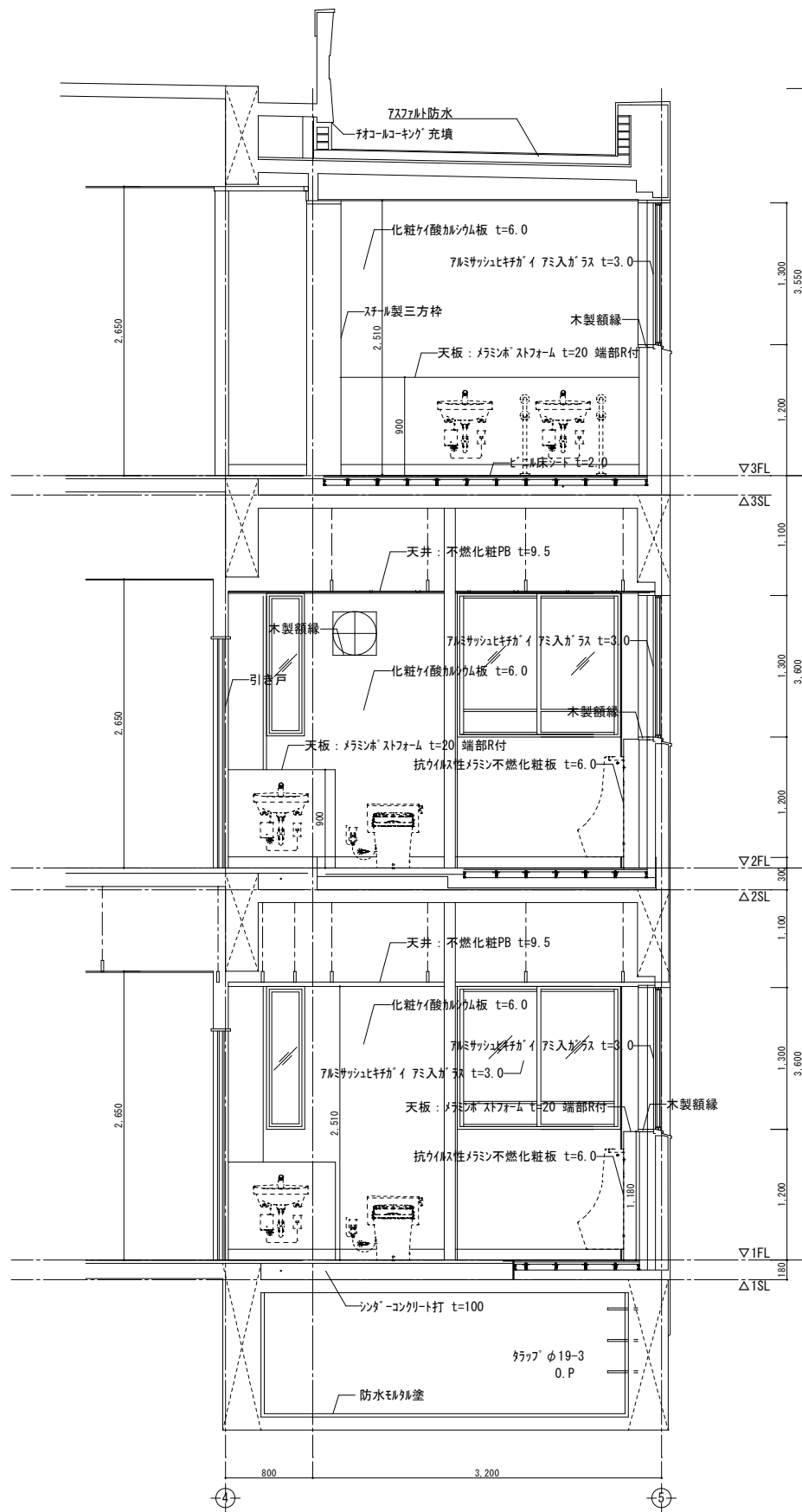
女子トイレ



凡例
 撤去

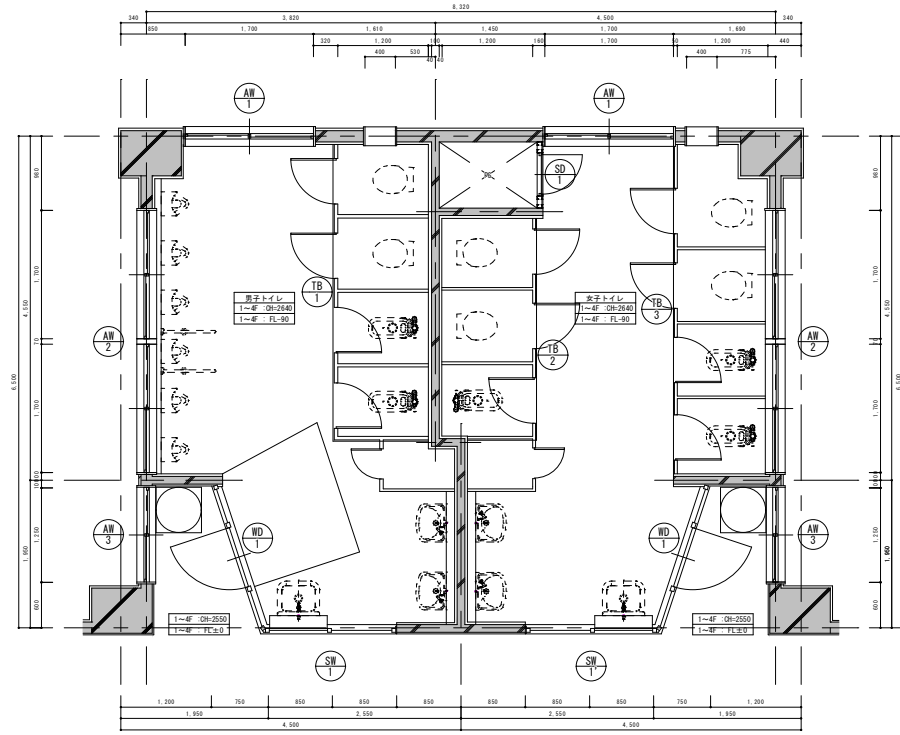


断面矩計図 (改修前) S=1/30

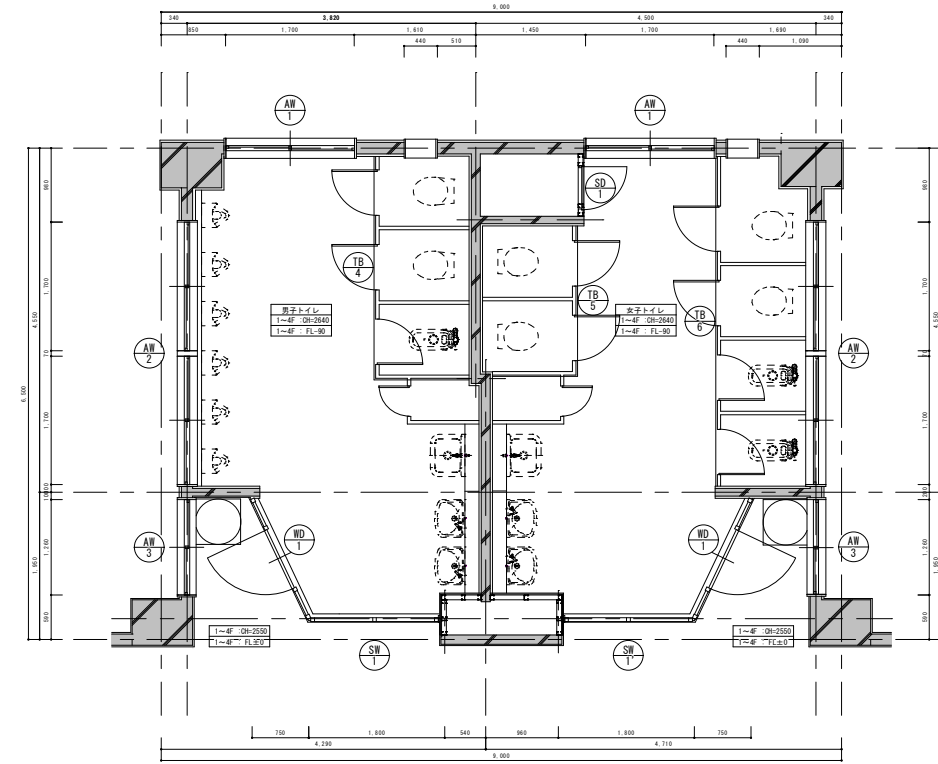


断面矩計図 (改修後) S=1/30

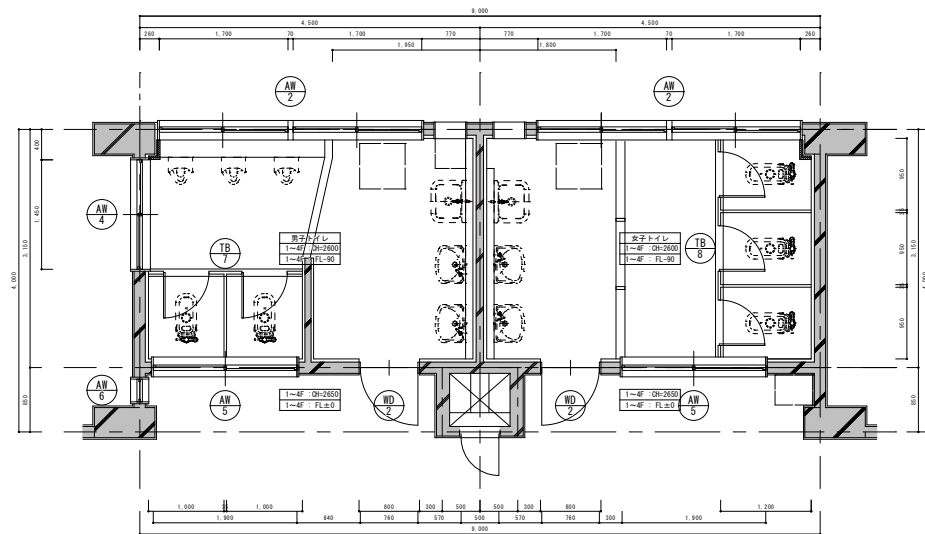
普通教室棟（西棟） 1~4階トイレ 建具キープラン（改修前）



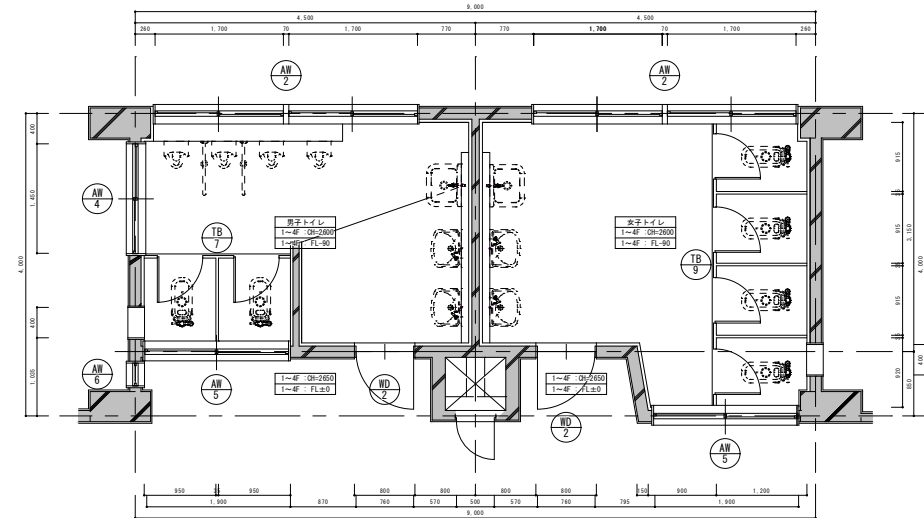
普通教室棟（東棟） 1~4階トイレ 建具キープラン（改修前）



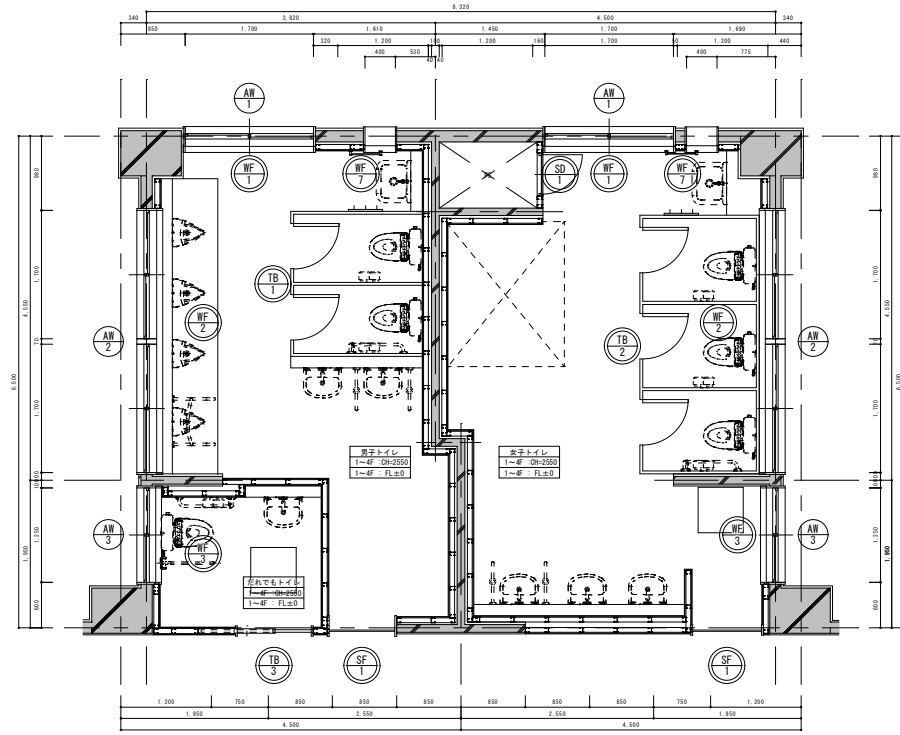
管理特別教室棟 1階トイレ 建具キープラン（改修前）



管理特別教室棟 2、3階トイレ 建具キープラン（改修前）

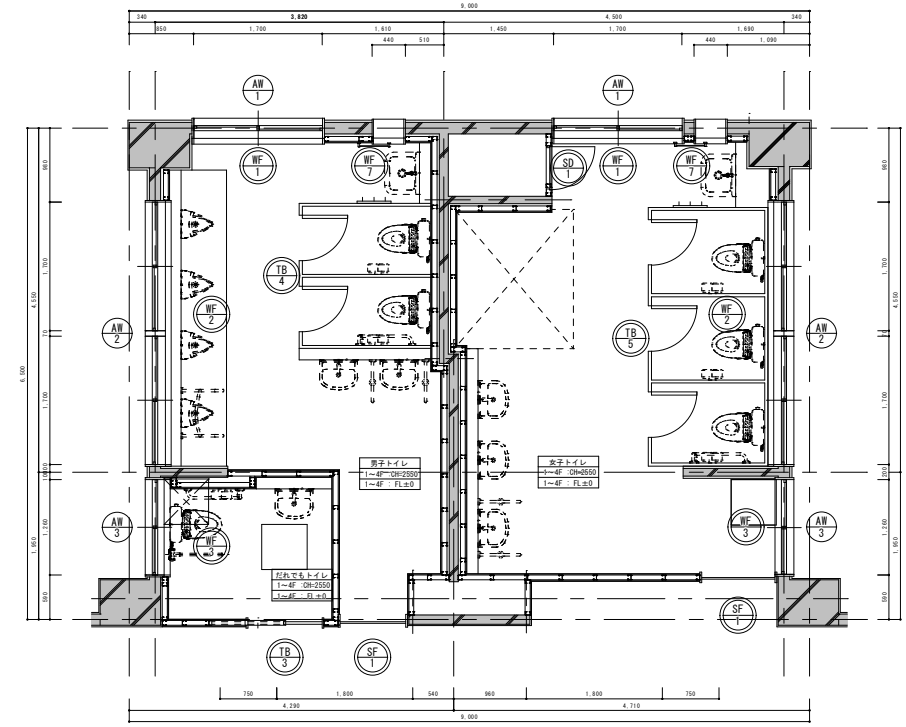


普通教室棟（西棟） 1~4階トイレ 建具キープラン（改修後）



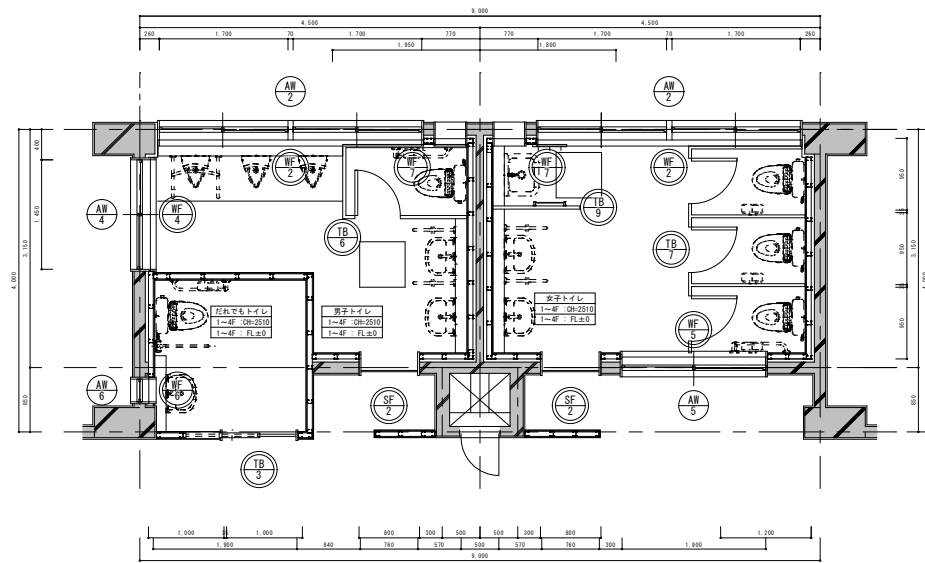
SFは現地解体状況による最大寸法とする

普通教室棟（東棟） 1~4階トイレ 建具キープラン（改修後）



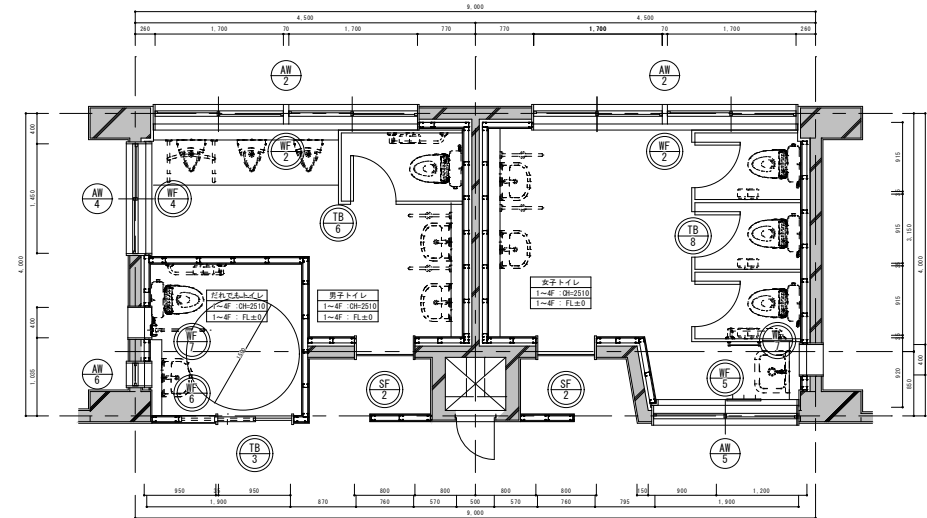
SFは現地解体状況による最大寸法とする

管理特別教室棟 1階トイレ 建具キープラン（改修後）



SFは現地解体状況による最大寸法とする

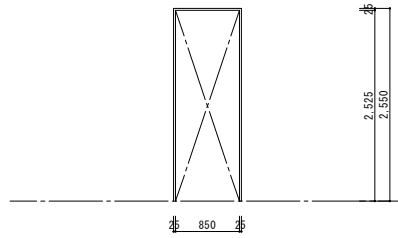
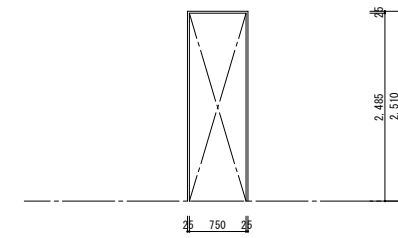
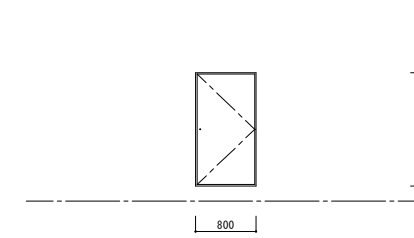
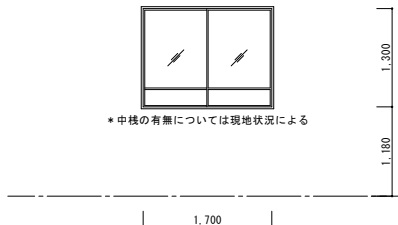
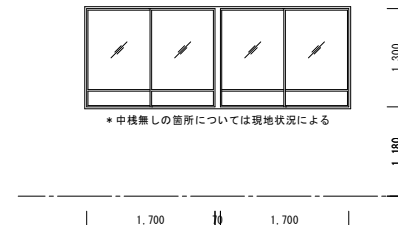

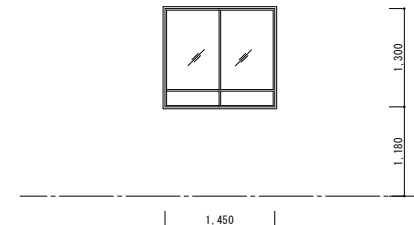
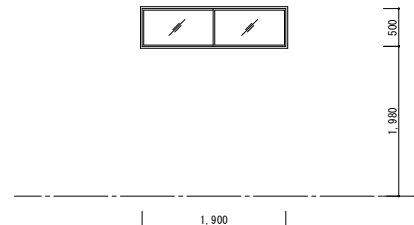
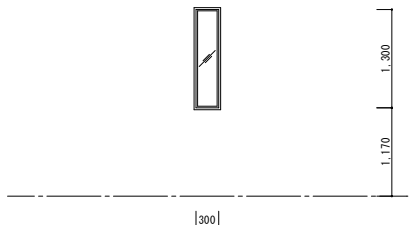
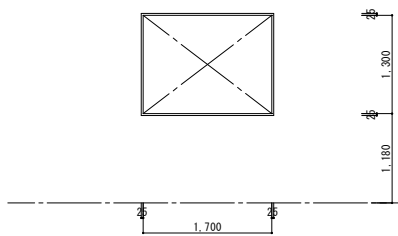
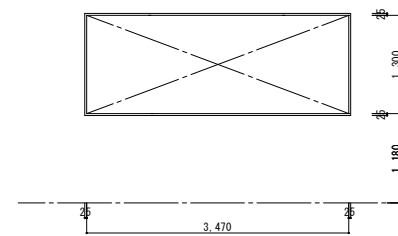
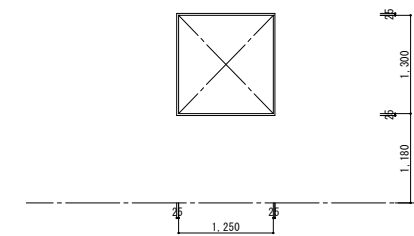
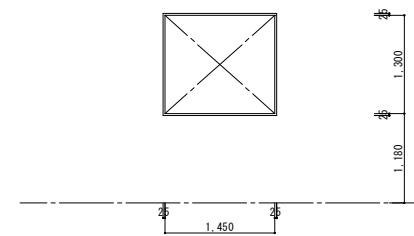
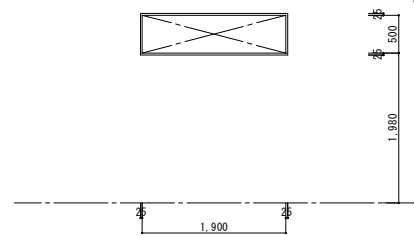
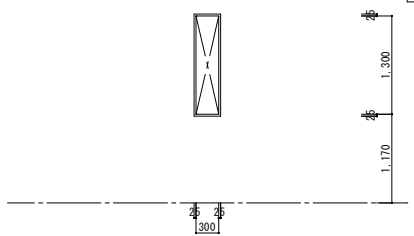
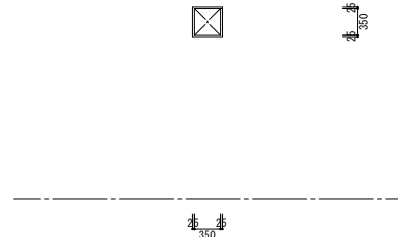
管理特別教室棟 2、3階トイレ 建具キープラン（改修後）



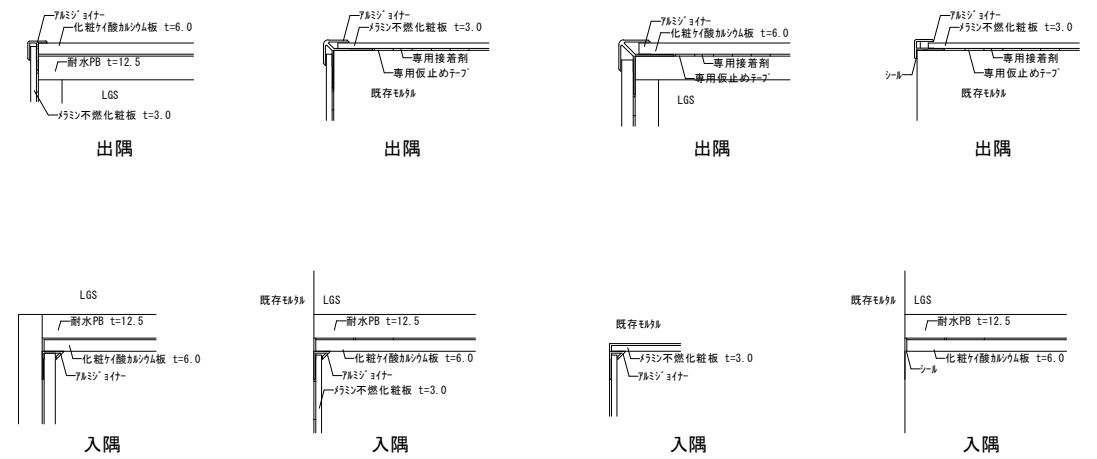
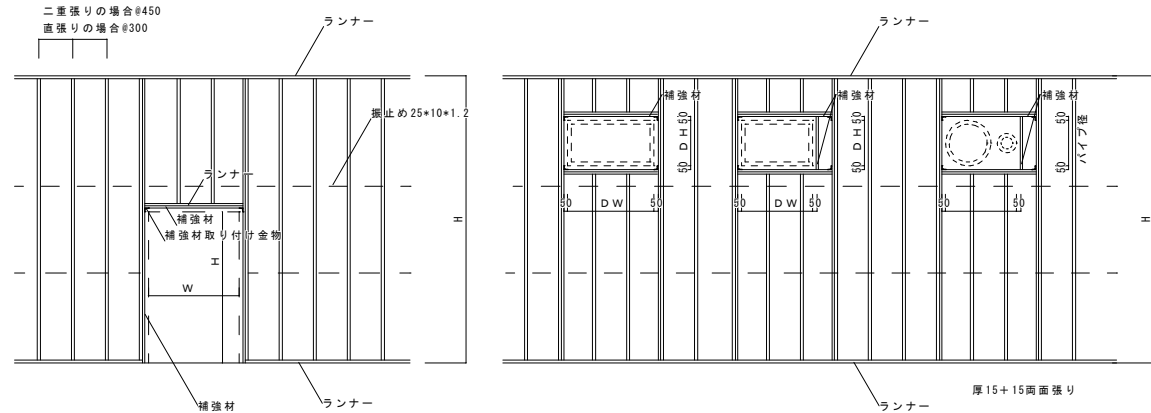
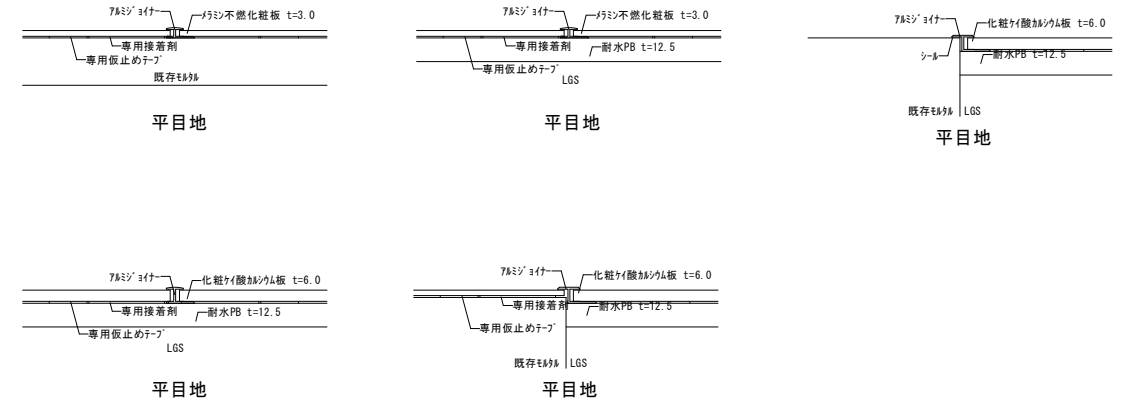
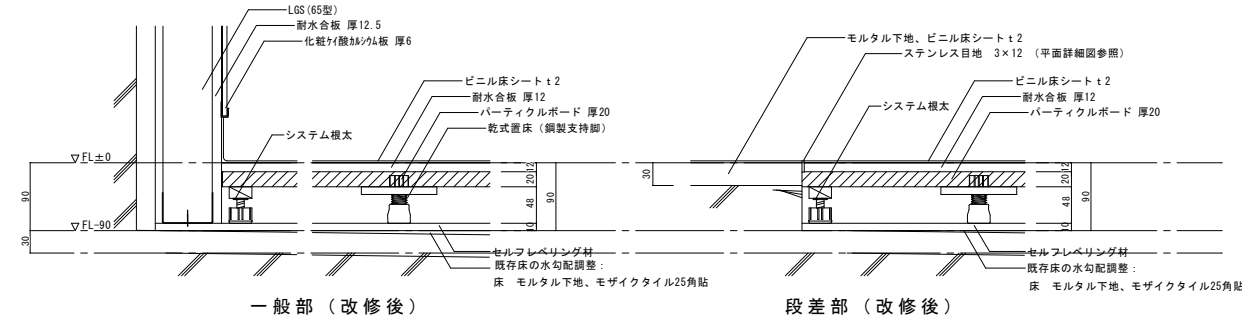
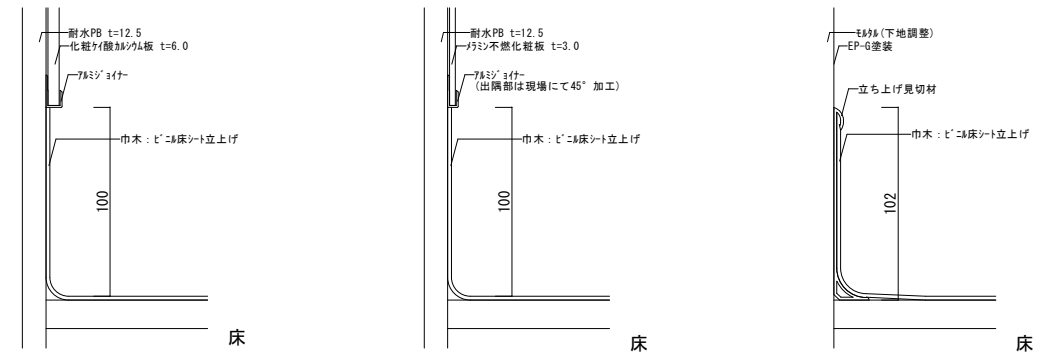
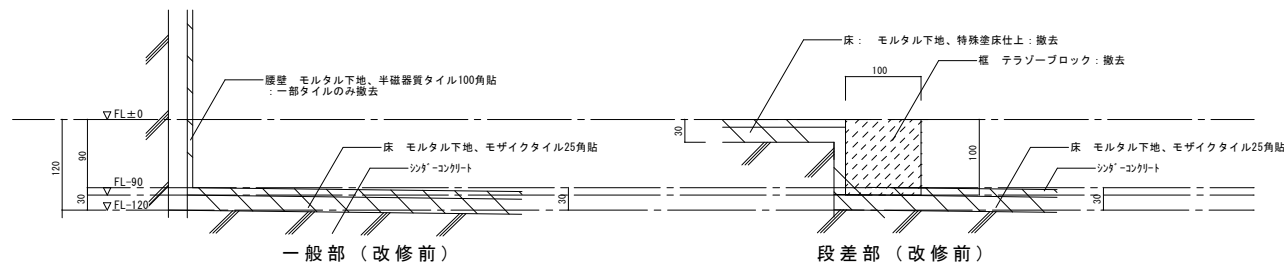
SFは現地解体状況による最大寸法とする

符号・使用場所・数量	WD 1 普通教室様 (西棟・東棟) 男子・女子 トイレ 6	WD 2 管理特別教室様 男子・女子 トイレ 16	SD 1 普通教室様 (西棟・東棟) 女子 トイレ 8		
形状					
型式・機種	はめ殺しランマ付片開きフラッシュ戸	はめ殺しランマ付片開きフラッシュ戸	片開片面フラッシュ戸		
枠見込	アルミ 70 数層アルミ	アルミ 70 数層アルミ	30		
防火・防音・仕様	-	-	-		
材質・仕様	-	-	スチール 60 SOP 2 1.6 片面		
ガラス種類	透明ガラス 3mm 両面ポリエステル化粧合板	透明ガラス 3mm 両面ポリエステル化粧合板	-		
建具金物	丁番、円筒空錠、ドアチェック	丁番、円筒空錠、ドアチェック	丁番、電気管用ハンドル錠 付属金物一式		
備考	便所、男女表示板、職員便所のみ型ガラス4mm *開く向きは現地状況による	便所、男女表示板、職員便所のみ型ガラス4mm *開く向きは現地状況による			
符号・使用場所・数量	AW 1 普通教室様 (西棟・東棟) 男子・女子 トイレ 16	AW 2 普通教室様 (西棟・東棟) 男子・女子 トイレ 管理特別教室様 男子・女子 トイレ 16	AW 3 普通教室様 (西棟・東棟) 男子・女子 トイレ 3	AW 4 管理特別教室様 男子 トイレ 16	AW 5 管理特別教室様 男子・女子 トイレ 6
形状					
型式・機種	引違いガラス窓	2連引違いガラス窓	引違いガラス窓	引違いガラス窓	嵌殺ランマ
枠見込	アルミ 70	アルミ 70	アルミ70	アルミ70	はめ殺しガラス窓
防火・防音・仕様	-	-	-	-	枠 杉
材質・仕様	-	-	-	-	-
ガラス種類	透明ガラス3mm 便所クモリガラス(3.4層 5mm)	透明ガラス3mm 便所クモリガラス3mm (3・4層は全て5mm)	透明ガラス (1.2層 3mm 3.4層 5mm)	透明ガラス (1.2層 3mm 3.4層 5mm)	クモリ 3mm
建具金物	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	-
備考	-	*3層中線無し	-	-	-
符号・使用場所・数量	SW 1 普通教室様 (西棟・東棟) 男子 トイレ 8	SW 1 普通教室様 (西棟・東棟) 女子 トイレ 8			
形状					
型式・機種	はめ殺しランマ袖付片開き戸	はめ殺しランマ袖付片開き戸			
枠見込	50	50			
防火・防音・仕様	-	-			
材質・仕様	アルミ アルマイト	アルミ アルマイト			
ガラス種類	型板ガラス T=4 ランマ透明ガラス T=3	型板ガラス T=4 ランマ透明ガラス T=3			
建具金物	丁番 ドアチェック (ストッパー付) 空錠	丁番 ドアチェック (ストッパー付) 空錠			
備考	腰-メラミン合板フラッシュ ドア-メラミン合板フラッシュ	腰-メラミン合板フラッシュ ドア-メラミン合板フラッシュ			
符号・使用場所・数量					
形状					
型式・機種					
枠見込					
防火・防音・仕様					
材質・仕様					
ガラス種類					
建具金物					
備考					
			春日部市 学校教育課 教育施設課	日付	工事名称 牛島小学校校舎トイレ改修工事
				縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100	図面名称 建具表1 (改修前)
					A - 4 1

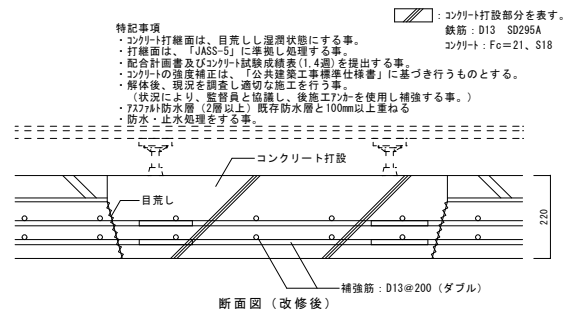
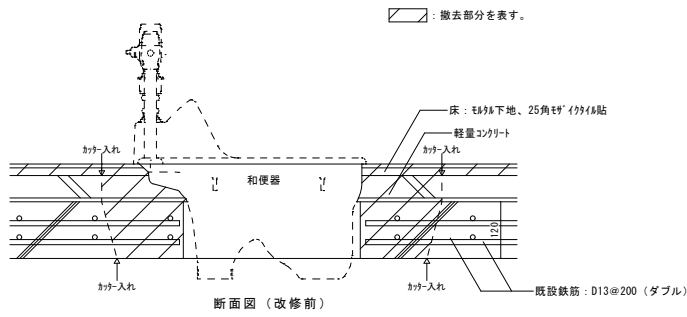
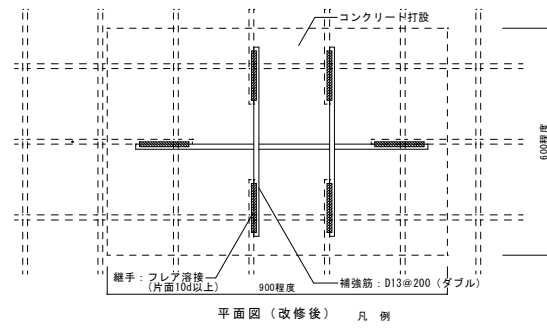
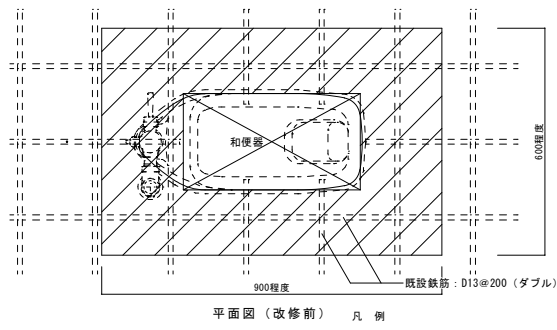
符号・使用場所・数量	①B 普通教室様(西様)男子トイレ 4	①B 普通教室様(西様)女子トイレ 4	①B 普通教室様(西様)女子トイレ 4
形状			
型式・機種	トイレブース	トイレブース	トイレブース
枠見込	40	40	40
防火・防音・仕様	-	-	-
材質・仕様	メラミン化粧板	メラミン化粧板	メラミン化粧板
ガラス種類	-	-	-
建具金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備考			
符号・使用場所・数量	①B 普通教室様(東様)男子トイレ 4	①B 普通教室様(東様)女子トイレ 4	①B 普通教室様(東様)女子トイレ 4
形状			
型式・機種	トイレブース	トイレブース	トイレブース
枠見込	40	40	40
防火・防音・仕様	-	-	-
材質・仕様	メラミン化粧板	メラミン化粧板	メラミン化粧板
ガラス種類	-	-	-
建具金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備考			
符号・使用場所・数量	①B 管理特別教室様(1~3階)男子トイレ 3	①B 管理特別教室様(1階)女子トイレ 1	①B 管理特別教室様(2~3階)女子トイレ 2
形状			
型式・機種	トイレブース	トイレブース	トイレブース
枠見込	40	40	40
防火・防音・仕様	-	-	-
材質・仕様	メラミン化粧板	メラミン化粧板	メラミン化粧板
ガラス種類	-	-	-
建具金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備考			
符号・使用場所・数量			
形状			
型式・機種			
枠見込			
防火・防音・仕様			
材質・仕様			
ガラス種類			
建具金物			
備考			

符号・使用場所・数量	SF 1 普通教室様 (西棟・東棟) 男子・女子 トイレ 6	SF 2 管理特別教室様 男子・女子 トイレ 16	SD 1 普通教室様 (西棟・東棟) 女子 トイレ 8						
形状									
型式・機種	鋼製軽量三方枠	鋼製軽量三方枠	片開フラッシュスチール戸						
枠見込	257	257	86						
防火・防音・仕様	-	-	-						
材質・仕様	亜鉛メッキ鋼板 EP-G塗装	亜鉛メッキ鋼板 EP-G塗装	スチール OP						
ガラス種類	-	-	-						
建具金物	-	-	点検口錠、丁番、4方アングル付 付属金物一式						
備考	EP-G塗装	EP-G塗装	EP-G塗装						
符号・使用場所・数量	AW 1 普通教室様 (西棟・東棟) 男子・女子 トイレ 16	AW 2 普通教室様 (西棟・東棟) 男子・女子 トイレ 管理特別教室様 男子・女子 トイレ 16	AW 3 普通教室様 (西棟・東棟) 女子・だれでも トイレ 3	AW 4 管理特別教室様 男子 トイレ 16	AW 5 管理特別教室様 男子・女子 トイレ 3	AW 6 管理特別教室様 男子・女子 トイレ 3			
形状									
型式・機種	引違いガラス窓	2連引違いガラス窓	引違いガラス窓	引違いガラス窓	嵌殺ランマ	嵌殺ランマ			
枠見込	アルミ 70	アルミ 70	アルミ70	アルミ70	枠 杉	枠 杉			
防火・防音・仕様	-	-	-	-	-	-			
材質・仕様	-	-	-	-	クモリ 3mm	クモリ 3mm			
ガラス種類	透明ガラス3mm トイレはクモリガラス(3.4層 5mm)	透明ガラス3mm トイレはクモリガラス3mm (3・4層は全て5mm)	透明ガラス (1.2層 3mm 3.4層 5mm)	透明ガラス (1.2層 3mm 3.4層 5mm)	-	-			
建具金物	クレセント	クレセント 付属金物一式	クレセント	クレセント 付属金物一式	-	-			
備考	-	*3層中線無し	-	-	-	-			
符号・使用場所・数量	WF 1 普通教室様 (西棟・東棟) 男子・女子 トイレ 16	WF 2 普通教室様 (西棟・東棟) 男子・女子 トイレ 管理特別教室様 男子・女子 トイレ 16	WF 3 普通教室様 (西棟・東棟) 男子・女子 トイレ 3	WF 4 管理特別教室様 男子 トイレ 16	WF 5 管理特別教室様 女子 トイレ 3	WF 6 管理特別教室様 だれでも トイレ 3			
形状									
型式・機種	木製四方枠	木製四方枠	木製四方枠	木製四方枠	木製四方枠	木製四方枠			
枠見込	83	83	83	83	83	83			
防火・防音・仕様	-	-	-	-	-	-			
材質・仕様	EP-G塗装	EP-G塗装	EP-G塗装	EP-G塗装	EP-G塗装	EP-G塗装			
ガラス種類	-	-	-	-	-	-			
建具金物	-	-	-	-	-	-			
備考	枠増設 EP-G塗装	枠増設 EP-G塗装	枠増設 EP-G塗装	枠増設 EP-G塗装	枠増設 EP-G塗装	枠増設 EP-G塗装			
符号・使用場所・数量	WF 7 普通教室様 (西棟・東棟) 男子・女子 トイレ 管理特別教室様 男子・女子 トイレ 22								
形状									
型式・機種	木製四方枠								
枠見込	83								
防火・防音・仕様	-								
材質・仕様	EP-G塗装								
ガラス種類	-								
建具金物	-								
備考	枠増設 EP-G塗装								
				春日部市 学校教育課 教育施設課	工事名称 牛島小学校校舎トイレ改修工事		日付		
					図面名称 建具表1 (改修後)		縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100	A - 4 3	

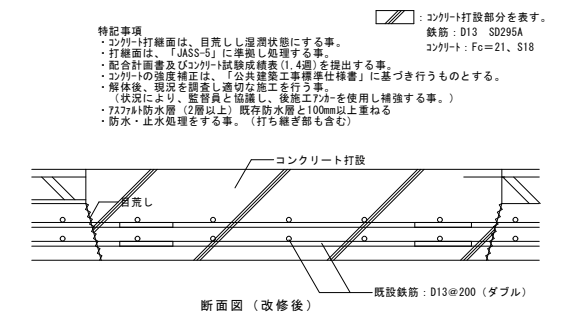
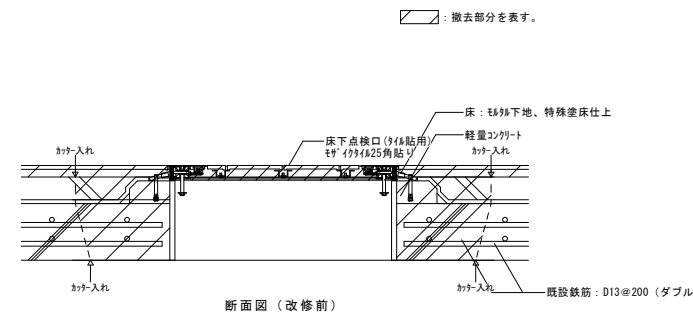
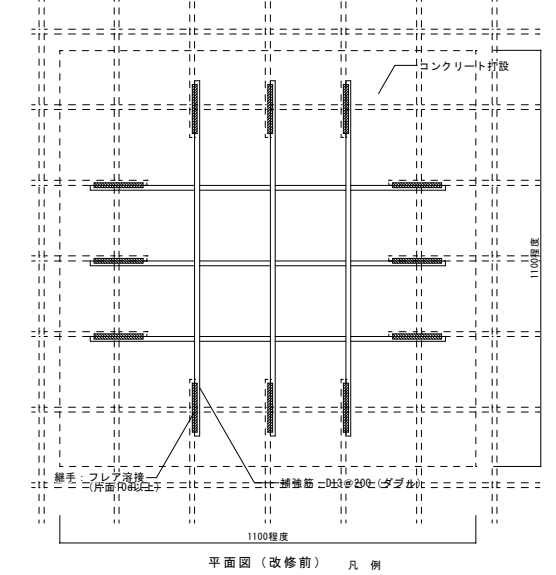
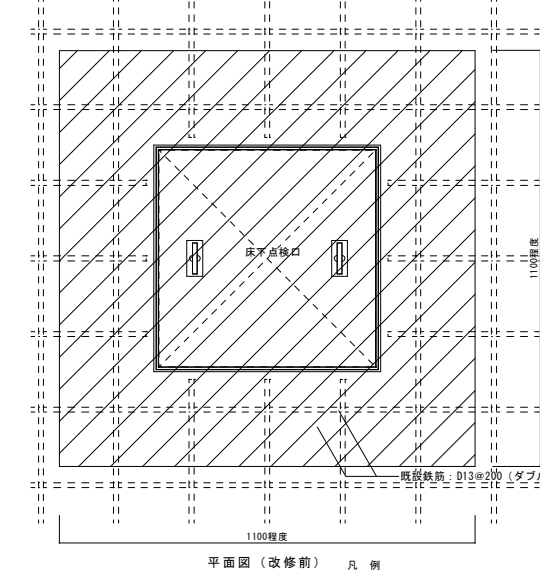
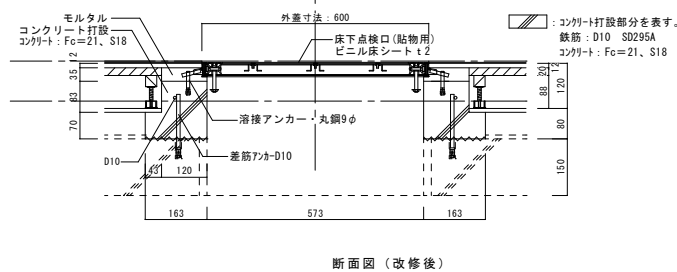
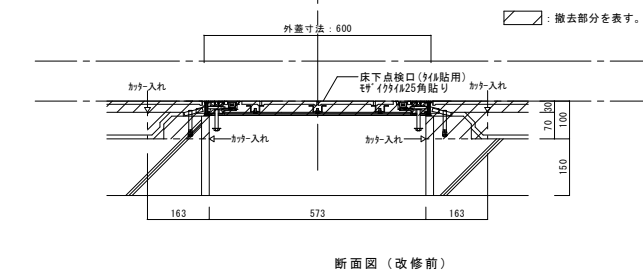
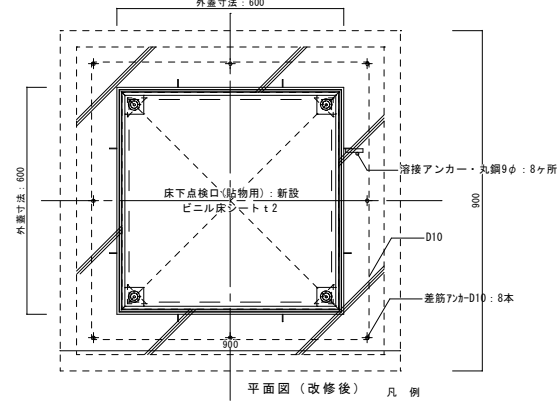
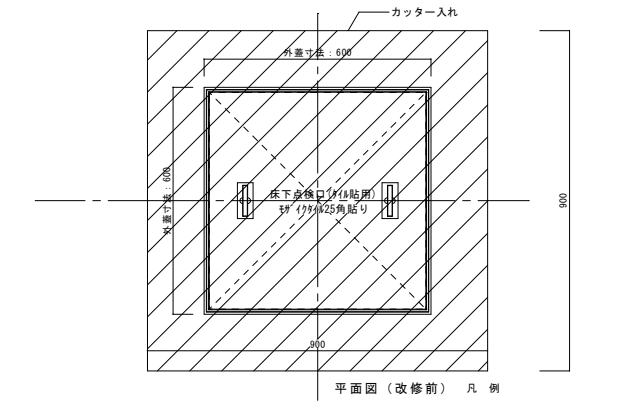
符号・使用場所・数量 TB1 普通教室棟（西棟）男子トイレ 4	TB2 普通教室棟（西棟）女子トイレ 4	TB3 普通教室棟（西棟・東棟）車椅子対応トイレ 管理特別教室棟 車椅子対応トイレ 11
形状 	形状 	形状
型式・機種 トイレブース（内開き戸） 枠見込 40 防火・防音仕様 - 材質仕様 高圧メラミン樹脂化粧板（下地MDF・芯材ベニヤ・合板） ガラス種類 - 建具金物 スリット付、中心吊金物、戸当り兼帽子掛け、付属金物一式 備考 Riッ、非常開錠機能付、指挟み防止、SUS巾木、7&3笠木	型式・機種 トイレブース（内開き戸） 枠見込 40 防火・防音仕様 - 材質仕様 高圧メラミン樹脂化粧板（下地MDF・芯材ベニヤ・合板） ガラス種類 - 建具金物 スリット付、中心吊金物、戸当り兼帽子掛け、付属金物一式 備考 Riッ、非常開錠機能付、指挟み防止、SUS巾木、7&3笠木	型式・機種 軽量鋼製自動閉鎖装置付引戸 枠見込 100 防火・防音仕様 - 材質仕様 枠：亜鉛めっき鋼板、扉：亜鉛めっき鋼板・ベニヤ・27・焼付塗装 ガラス種類 - 建具金物 自動閉鎖装置、スリット製戸当り・音響、表示錠（非常開錠表示付）、付属金物一式 備考 -
符号・使用場所・数量 TB4 普通教室棟（東棟）男子トイレ 4	符号・使用場所・数量 TB5 普通教室棟（東棟）女子トイレ 4	
形状 	形状 	
型式・機種 トイレブース（内開き戸） 枠見込 40 防火・防音仕様 - 材質仕様 高圧メラミン樹脂化粧板（下地MDF・芯材ベニヤ・合板） ガラス種類 - 建具金物 スリット付、中心吊金物、戸当り兼帽子掛け、付属金物一式 備考 Riッ、非常開錠機能付、指挟み防止、SUS巾木、7&3笠木	型式・機種 トイレブース（内開き戸） 枠見込 40 防火・防音仕様 - 材質仕様 高圧メラミン樹脂化粧板（下地MDF・芯材ベニヤ・合板） ガラス種類 - 建具金物 スリット付、中心吊金物、戸当り兼帽子掛け、付属金物一式 備考 Riッ、非常開錠機能付、指挟み防止、SUS巾木、7&3笠木	
符号・使用場所・数量 TB6 管理特別教室棟（1～3階）男子トイレ 3	符号・使用場所・数量 TB7 管理特別教室棟（1階）女子トイレ 1	符号・使用場所・数量 TB8 管理特別教室棟（2～3階）女子トイレ 2
形状 	形状 	形状
型式・機種 トイレブース（内開き戸） 枠見込 40 防火・防音仕様 - 材質仕様 高圧メラミン樹脂化粧板（下地MDF・芯材ベニヤ・合板） ガラス種類 - 建具金物 スリット付、中心吊金物、戸当り兼帽子掛け、付属金物一式 備考 Riッ、非常開錠機能付、指挟み防止、SUS巾木、7&3笠木	型式・機種 トイレブース（内開き戸） 枠見込 40 防火・防音仕様 - 材質仕様 高圧メラミン樹脂化粧板（下地MDF・芯材ベニヤ・合板） ガラス種類 - 建具金物 スリット付、中心吊金物、戸当り兼帽子掛け、付属金物一式 備考 Riッ、非常開錠機能付、指挟み防止、SUS巾木、7&3笠木	型式・機種 トイレブース（内開き戸） 枠見込 40 防火・防音仕様 - 材質仕様 高圧メラミン樹脂化粧板（下地MDF・芯材ベニヤ・合板） ガラス種類 - 建具金物 スリット付、中心吊金物、戸当り兼帽子掛け、付属金物一式 備考 Riッ、非常開錠機能付、指挟み防止、SUS巾木、7&3笠木
符号・使用場所・数量 TB9 管理特別教室棟（1階）女子トイレ 1		
形状 	特記事項 ・トイレブースは、必要に応じて手摺、紙巻器、モップ掛け、雑巾掛け等の 下地補強を行うこと。（メーカー仕様による。） （位置・高さは、施工時に確認すること。） △1：紙巻器下地補強 △2：紙巻器+手摺下地補強 △3：モップ掛け下地補強（モップハンガー L=500） △4：雑巾掛け下地補強（タオルバー L=450）	
型式・機種 トイレブース（内開き戸） 枠見込 40 防火・防音仕様 - 材質仕様 高圧メラミン樹脂化粧板（下地MDF・芯材ベニヤ・合板） ガラス種類 - 建具金物 付属金物一式 備考 Riッ、SUS巾木、7&3笠木		



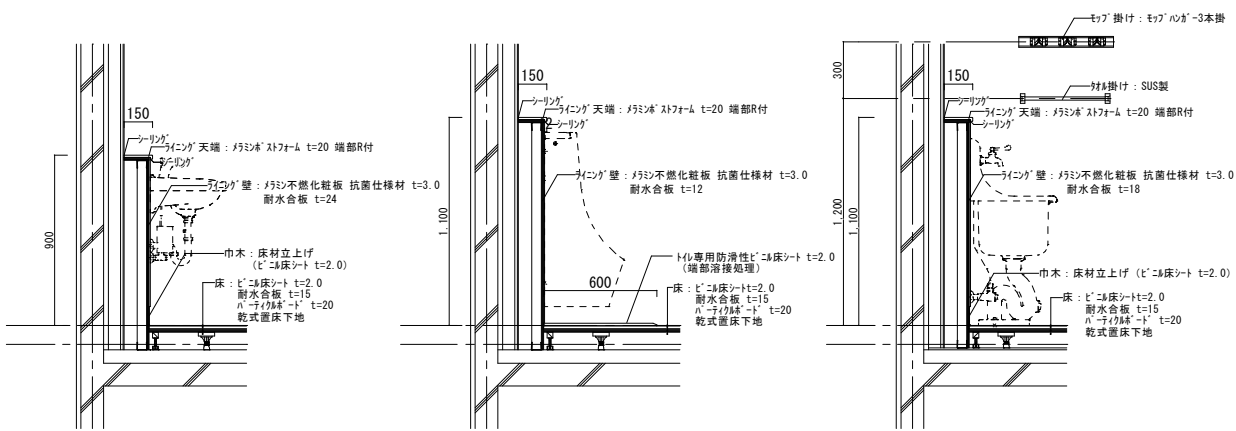
軽量鉄骨壁下地 開口補強材 補強材取り付け金物
 65形 C-60*30*10*2.3 L-30*30*3
 90形 C-75*45*15*2.3 L-50*50*4



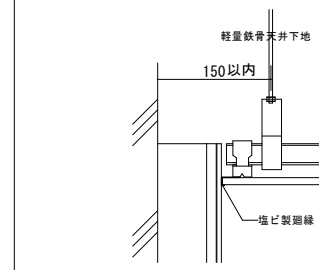
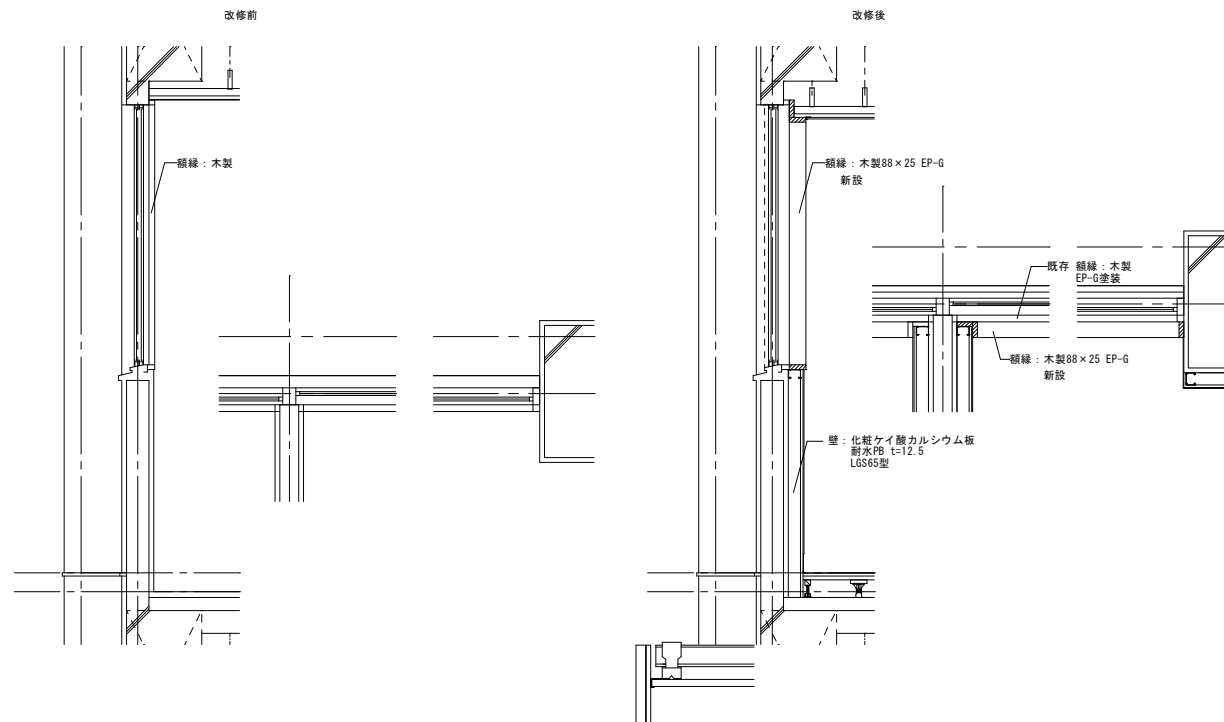
特記事項
 ・コンクリート打設面は、目荒しし湿潤状態にする事。
 ・打設面は、「JASS-5」に準拠し処理する事。
 ・配合計画書及びコンクリート試験成績表(1.4番)を提出する事。
 ・コンクリートの強度補正は、「公共建築工事標準仕様書」に基づき行うものとする。
 ・解体後、現況を調査し適切な施工を行う事。
 ・(状況により、監督員と協議し、後施工工程を使用し補強する事。)
 ・7.7.7.1防水層(2層以上) 既存防水層と100mm以上重ねる
 ・防水・止水処理をする事。



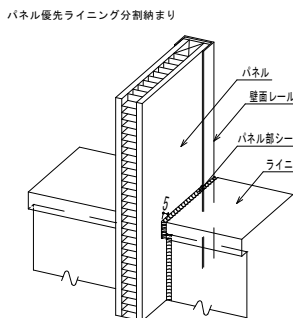
特記事項
 ・コンクリート打設面は、目荒しし湿潤状態にする事。
 ・打設面は、「JASS-5」に準拠し処理する事。
 ・配合計画書及びコンクリート試験成績表(1.4番)を提出する事。
 ・コンクリートの強度補正は、「公共建築工事標準仕様書」に基づき行うものとする。
 ・解体後、現況を調査し適切な施工を行う事。
 ・(状況により、監督員と協議し、後施工工程を使用し補強する事。)
 ・7.7.7.1防水層(2層以上) 既存防水層と100mm以上重ねる
 ・防水・止水処理をする事。(打ち継ぎ部も含む)



※モップ掛け・雑巾掛けの設置位置は、各平面詳細図による。
※モップ掛け・雑巾掛けの下地補強は、別図による。
(取付高さは、施工前に監督員及び学校に確認する事。)



ライニングとの納まり S=1/5

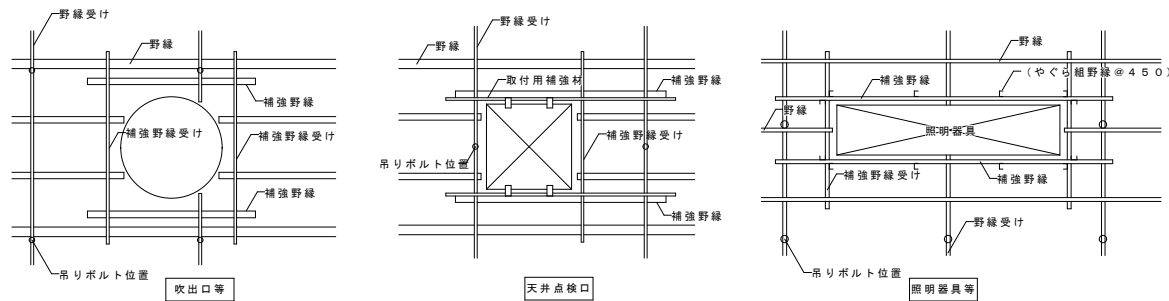


天井開口補強 詳細図 (国土交通省 建築工事標準詳細図による)

S=1/10

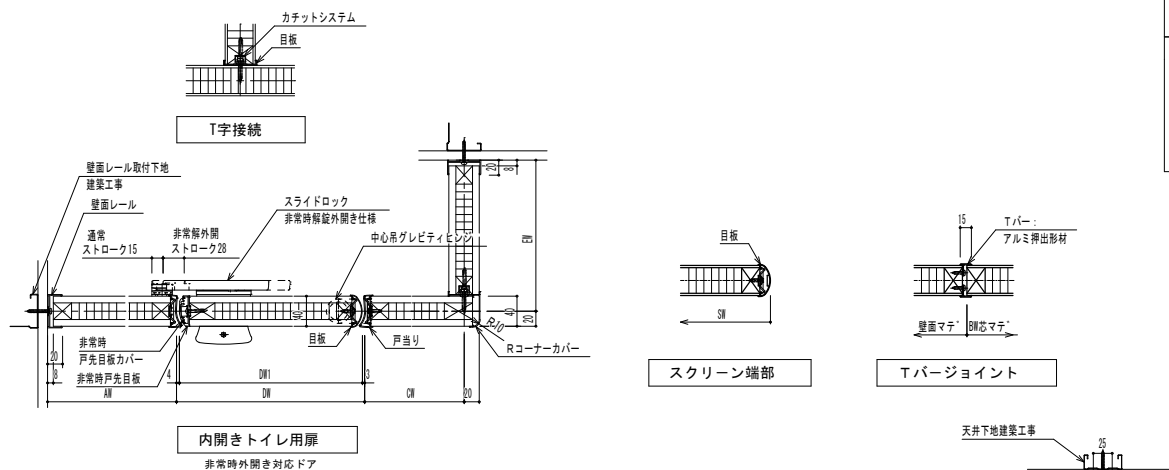
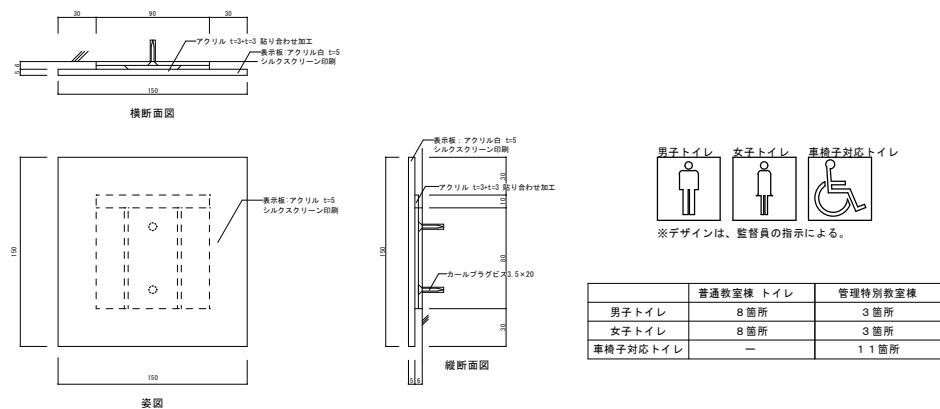
トイレブース詳細図 (参考図)

S=1/5



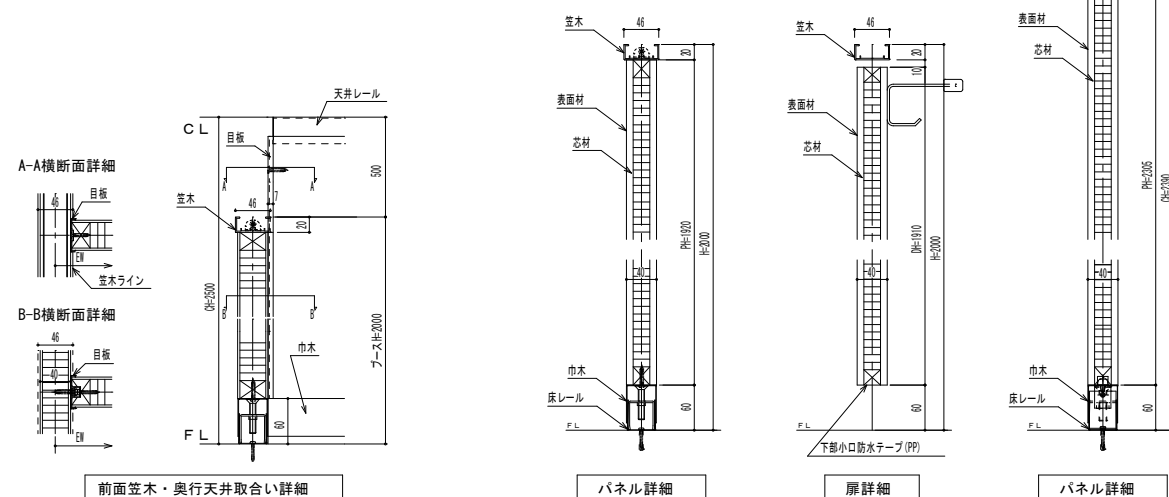
ピクトサイン詳細図

S=1/3

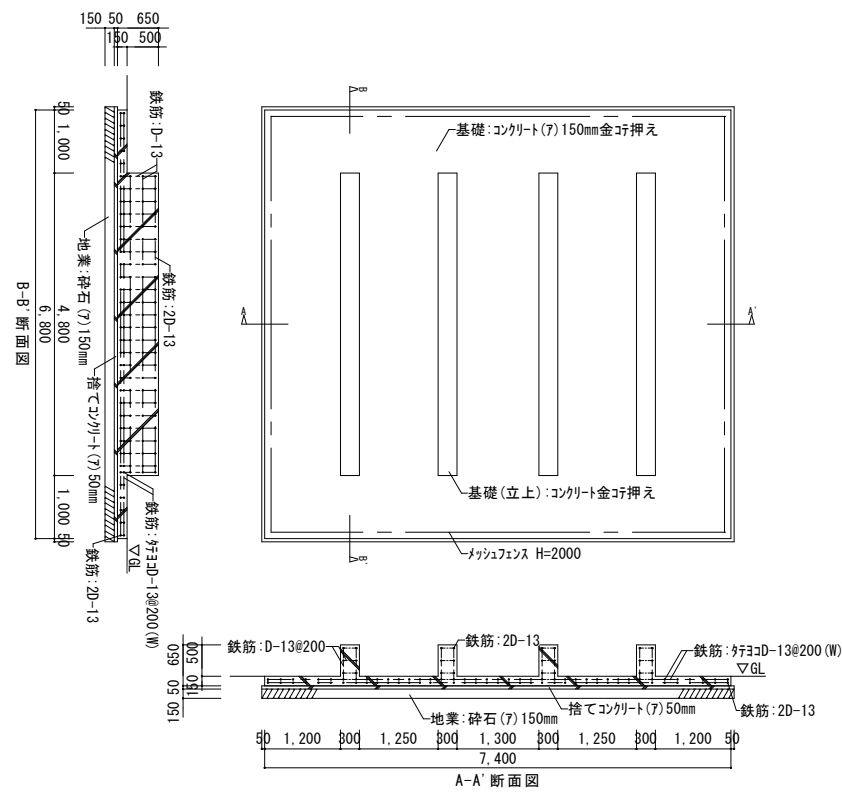


◇仕様表 ※メーカー仕様に準じる。

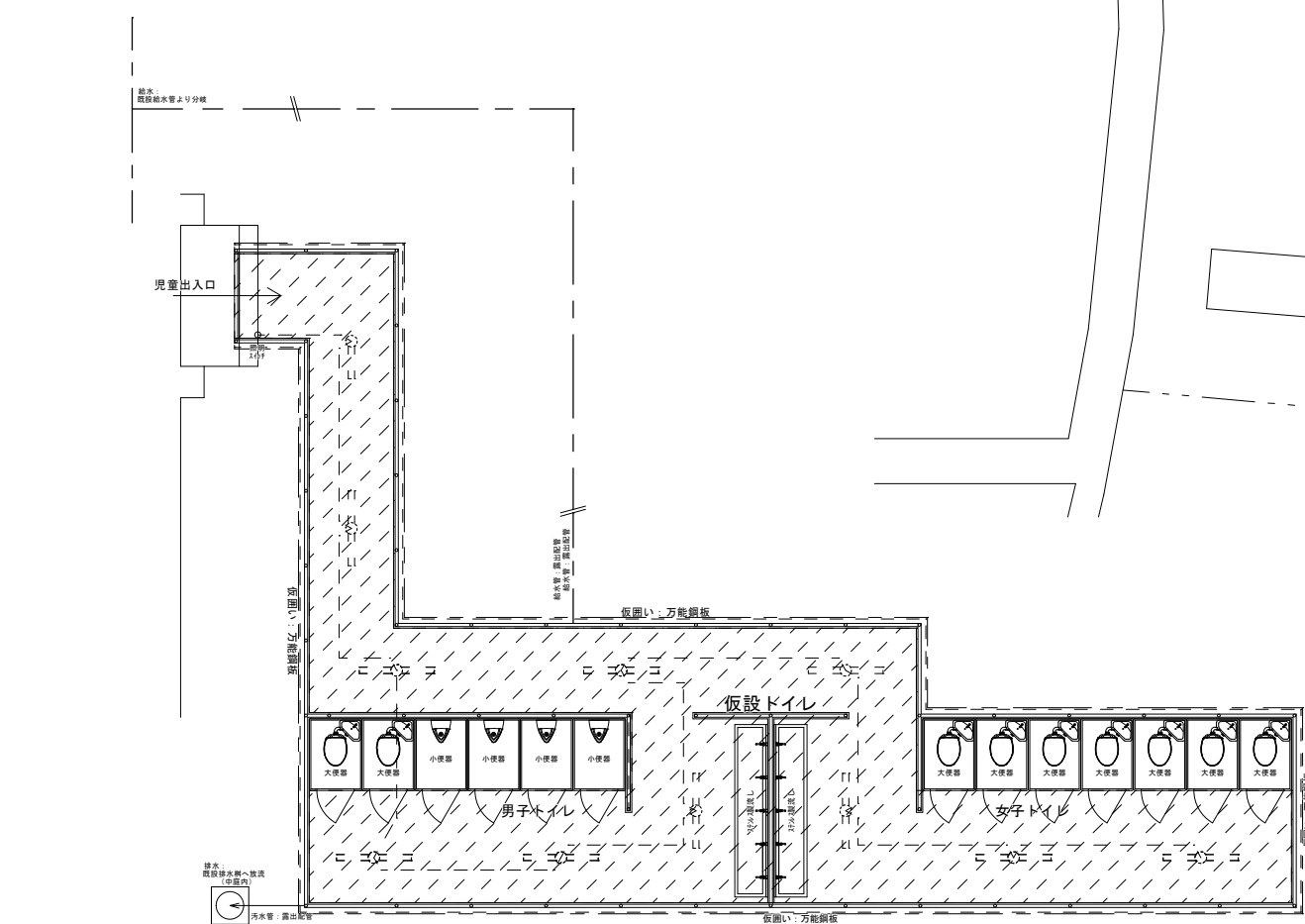
項目	部材	材 料 (板厚mm)
パネル	パネル表面材	高圧メラミン樹脂化粧板(下地材:パーティクル)
	芯 材	ペーパーコア
付属品	目板/戸当り	アルミ押出材材 (アルマイトクリア処理仕上)
	巾木/床レール	ステンレス 0.8mm (ヘアライン仕上)
	笠木	アルミ押出材材 (アルマイトクリア処理仕上)
	壁面レール/コーナーカバー	アルミ押出材材 (アルマイトクリア処理仕上)
	ヒンジ	中心見グレデビリティヒンジ
	ロック	スライドロック錠
その他金物	戸当り補強釘等	



※手摺・紙巻器等取り付けの際は、必要に応じて下地補強する事。

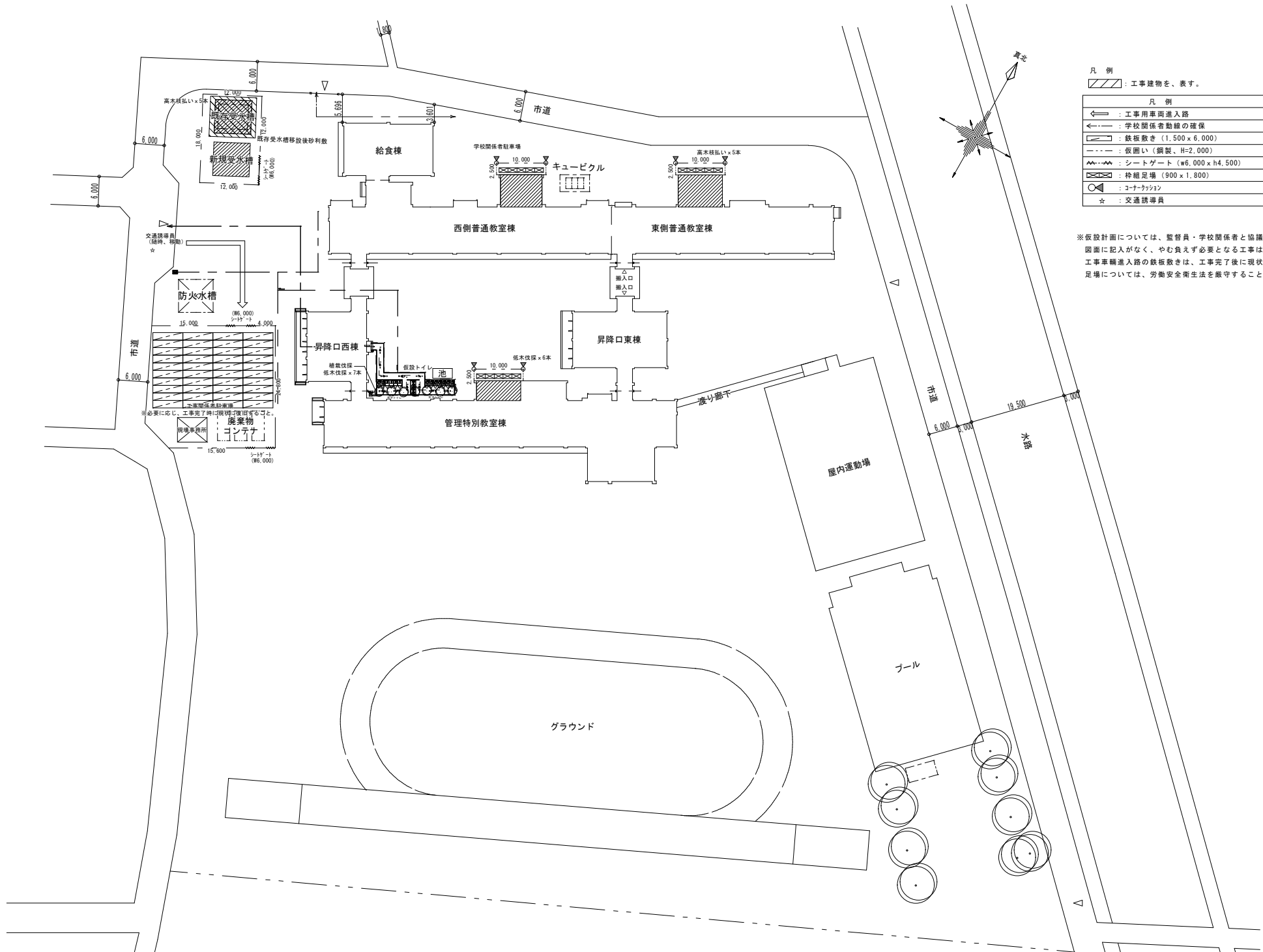


受水槽基礎図 S=1/60
※騒音対策として現地解体は最小限とすること。



仮設トイレ平面図 S=1/60

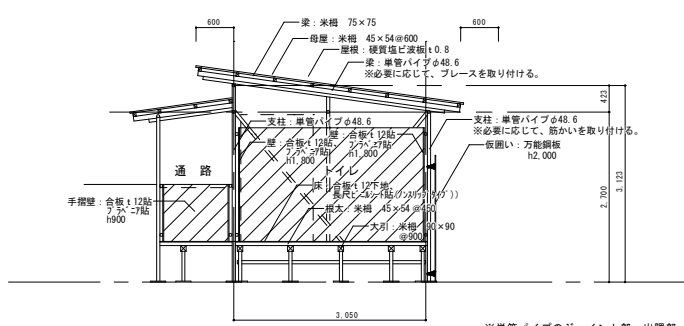
凡例
 [Hatched pattern] : 床張り部分を表す。(合板12下地、長尺ビニル貼(ノリタマシイ))
 [Square symbol] : 照明器具(40w×1 吊下げ)を表す。
 ※トイレユニットは、水洗式とする。
 雨に濡れずに使用出来るよう設置する事。
 既設樹木に配慮して設置する事。



凡例

[Hatched pattern]	: 工事建物を表す。
[Arrow]	: 工事用車両進入路
[Dashed line]	: 学校関係者動線の確保
[Solid line]	: 鉄板敷き (1,500×6,000)
[Dotted line]	: 仮囲い (鋼製、H=2,000)
[Wavy line]	: シートゲート (w6,000×h4,500)
[Cross-hatched pattern]	: 枠組足場 (900×1,800)
[Circle with cross]	: ユニタリ
[Star]	: 交通誘導員

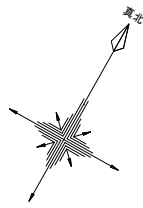
※仮設計画については、監督員・学校関係者と協議の上、適切に設置する事。
 図面に記入がなく、やむを得ず必要となる工事は、監督員と協議の上、施工を行う事。
 工事車両進入路の鉄板敷きは、工事完了後に現状に復旧させる事。
 足場については、労働安全衛生法を厳守すること。



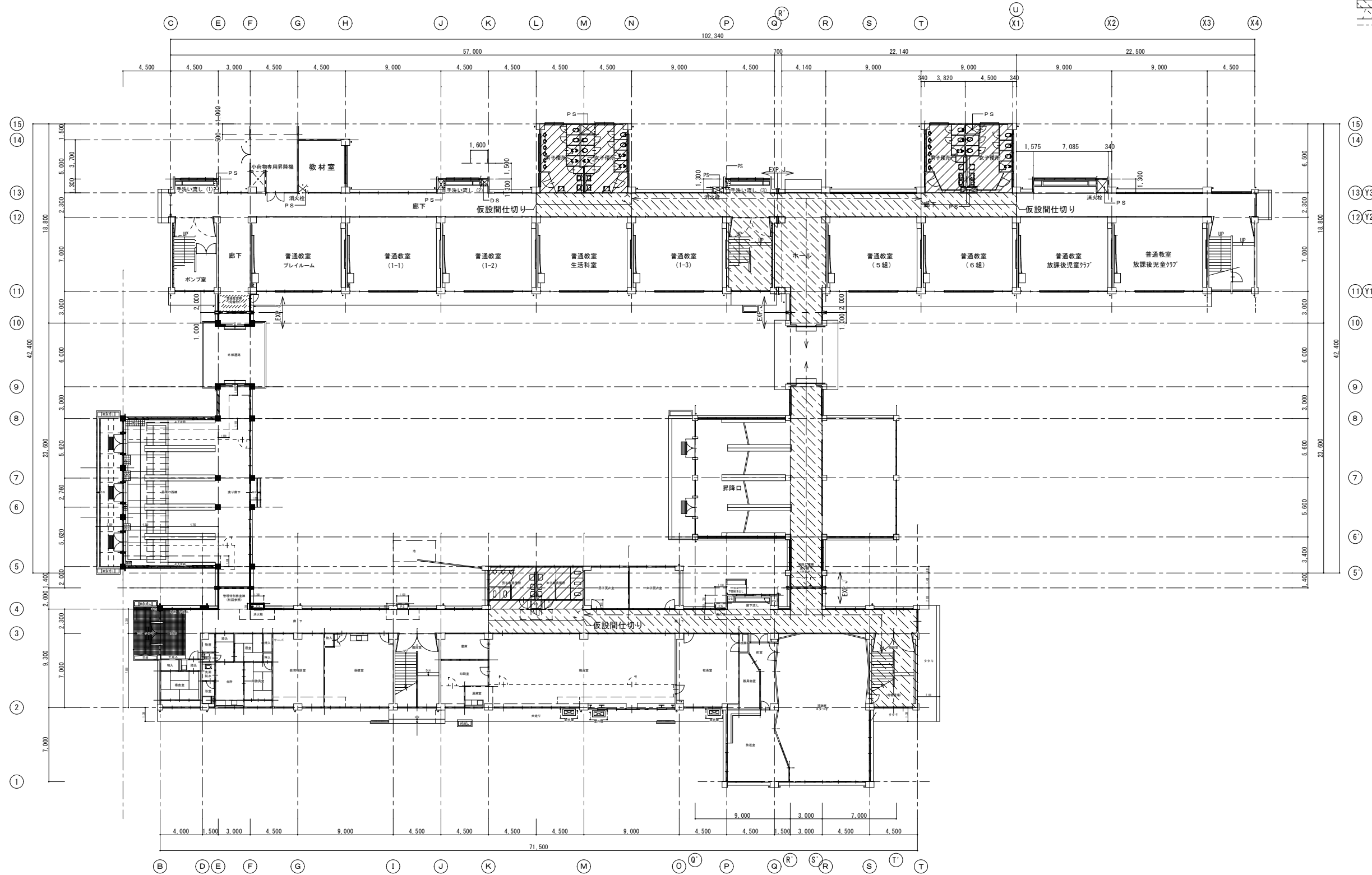
仮設トイレ断面図 S=1/60

※鋼管パイプのジョイント部・出隅部・端部(h1,800以下部分)は、防護カバーを取り付ける等の安全対策を行う事。
 雨天時の使用を考慮する事。

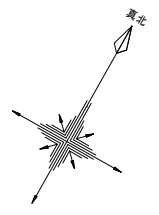
凡例
 [Hatched pattern] : 壁張り部分を表す。



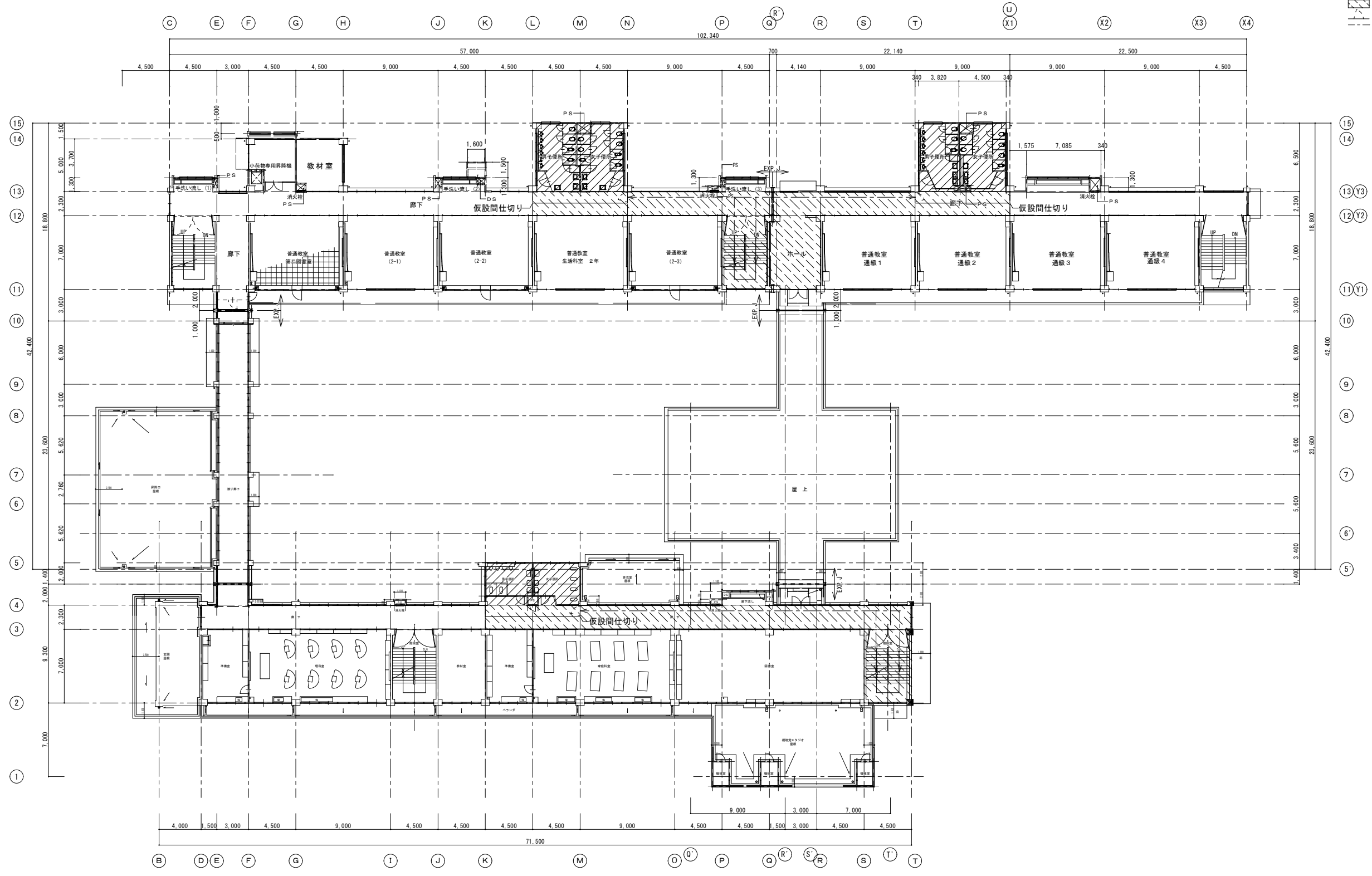
- 凡例
- : 今回改修工事範囲
 - : 搬出入養生範囲
 - : 仮設間仕切 (出入口付)
 - : 作業員動線



1階仮設計画図 (参考図) S=1/200



- 凡例
- : 今回改修工事範囲
 - : 搬出入養生範囲
 - : 仮設間仕切 (出入口付)
 - : 作業員動線



2~4階仮設計画図 (参考図) S=1/200